

令和8年

予算特別委員会

3月16日

豊明市議会

予 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和 8 年 3 月 16 日

午前 10 時 00 分 開議

午後 5 時 47 分 閉会

1. 出席委員

委員長	毛 受 明 宏	副委員長	三 浦 桂 司
委員	岡 島 ゆみこ	委員	青 木 けんじ
委員	鈴 木 智 和	委員	中 堀 りゅういち
委員	浅 井 たかお	委員	こんどう のぶお
委員	鵜 飼 貞 雄	委員	いとう ひろし
委員	服 部 龍 一	委員	武 谷 としお
委員	郷右近 修	委員	林 ゆきひろ
委員	一 色 美智子	委員	月 岡 修 一
委員	堀 内 ち ほ	委員	清 水 義 昭
委員	ふじえ 真理子		
議長	近 藤 ひろひで		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加 藤 健 治	議事課長	深 草 広 治
庶務担当係長	大 石 明 美	議事担当係長	矢 野 佑 輔
議事課主査	井 口 真奈美		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小 浮 正 典	副市長	小 串 真 美
教育長	藤 井 和 久	行政経営部長	伊 藤 正 弘
市民生活部長	川 島 康 孝	健康福祉部長	塚 本 由 佳
経済建設部長	星 子 恭 士	教育部長	浅 井 俊 一
秘書広報課長	伊 藤 克 代	財政課長	浦 倫 彰
総務課長	田 木 勇	防災防犯対策課長	中 野 忠 之
債権管理課長	高 垣 茂 晴	長寿課長	今 枝 翼

保 險 医 療 課 長	近 藤 有 紀 子	産 業 支 援 課 長	塚 谷 友 昭
農 業 政 策 課 長	加 藤 直 美	土 木 課 長	外 山 紀 元
都 市 計 画 課 長	中 田 勝 次	下 水 道 課 長	青 山 康 徳
環 境 課 長	松 本 裕 介	学 校 教 育 課 長	秋 永 亘 正
学 校 支 援 室 長	山 田 秋 男	生 涯 学 習 課 長	山 田 隆 貴
図 書 館 長	水 野 美 樹	学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	矢 野 優
秘 書 広 報 課 長 補 佐	西 森 裕 記	財 政 課 長 補 佐	後 藤 明 紀

5. 一般傍聴者

1 名

午前10時開議

○予算特別委員長（毛受明宏議員） おはようございます。

ただいまから本日の予算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴につきましては、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴の入室を許可します。

それでは会議に入ります。

議案第2号から議案第9号までを一括議題といたします。

本日は5款から始めます。

会議の進め方については、先日と同様に各会計の議案ごとに説明の後、質疑を行い、全ての質疑が終了した時点で討論は一括して行い、採決は、会計順に議案ごとに行います。円滑な議事進行に御協力ください。

それでは、5款 労働費について説明願います。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 予算書95ページをお願いいたします。

中段、5款1項1目 労働諸費は、前年度比3万4,000円の増額で、理由といたしましては、昨年度、令和7年度の移住支援金と就職活動にかかった交通費の一部を助成する地方就職支援金に加えまして、令和8年度については、地方就職支援金の交通費の一部助成に加え、移転費、引っ越し費用の助成が拡充されたことによるものです。

対象者は卒業見込みの学生で、助成額は、往復交通費の2分の1以内の経費で、上限額1万2,000円、引っ越し費用、移転費は、上限額が8万1,500円です。

次に、歳入の説明をさせていただきます。

34ページをお願いいたします。

最下段、15款2項4目 労働費県補助金、首都圏人材確保支援事業費補助金は、先ほどの歳出、移住支援金及び地方就職支援金に対する県からの補助金でございます。

以上で労働費の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

5款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 施政方針のほうに、愛知労働局との雇用対策協定によって行うって書いてあるんですけど、協定はどのような内容で、どういう支援を行うようになってるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 愛知労働局と協定を結んでいるもので、例えば、予算上はちょっと出てこないんですが、産業支援課でいえば、愛知労働局と共同主催している毎年文化会館のほうで行っている就職フェア i n とよあけ、こういったところが、まず協定の中身でして、あとは、地域福祉課であったりだとか、あと、子育て支援課、共生社会課などでも、就労になじめない方への就労支援であるだとか、障がい者への就労支援だとか、そういったところは市全体として実施をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 移住支援金が309万で、いつも……。

（ページ数、どこの声あり）

○こんどうのぶお委員 95ページです。

移住支援金が309万で、毎年毎年来ないわけなんですけど、市長が言ってましたけど、あの移住のお試しでU R っていう話があったんですけど、これ、一軒家とかそういうので考えたらどうなんでしょうかね。結局、そういったお試しがないと、移住のお試しがないと、なかなか決まるっていうか、そういうのも分からないと思うんですけど、その辺はどう……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 予算について質疑してくださいね。

○こんどうのぶお委員 支援金について。いいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） もう一回、ちょっとお願いします、まとめて。

○こんどうのぶお委員 お試し移住のほうを、この一軒家とかで契約したらどうでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、東京圏からの移住支援金ですので、全国からの移住ということで考えるなら、こんどう委員のおっしゃることも分からないでもないんですが、あくまで予算審議ですので、そういったところまで、ちょっと答弁は差し控えたいと思います。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく、95ページの移住支援金ですけども、移転費ですかね、引っ越しの費用が、今回、加わっているというようなことなんですけども、これ、国費が多分当たってるかと思えますけど、引っ越しのほうは何パーぐらい当たるとか、何かその割合、分かかりますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 移住支援金も地方就職支援金も、県費が2分の1で国費は4分の1充たるんですが、そういった回答……。

（国費がの声あり）

○産業支援課長（塚谷友昭君） 国費が……。

（国費が2分の1での声あり）

○産業支援課長（塚谷友昭君） ごめんなさい、失礼しました。国費が2分の1で県費が4分の1で、一般財源が4分の1になります。

以上です。申し訳ありません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 同じ95ページ、移住支援金ですけど、ごめんなさい、まず、1点が、引っ越し代1万2,000円の移転費と、聞こえたんですけど、もう一つのほうが聞こえなかったんで、その金額と、あと、もう一つ、これ、支援金は、何か条件があるのであれば、それを教えてください。お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 少し説明が不足してて申し訳ございませんでした。地方就職支援金につきましては、交通費ですね、交通費と、あと、引っ越し費用の2つございます。交通費については、往復交通費の2分の1で、上限が1万2,000円、引っ越し費用は、2分の1とかではなくて、上限が8万1,500円ということになっております。

対象としましては、東京圏からの学部生ですね、卒業年度の学部生が豊明市内の企業に、中小企業に就職すれば対象となります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 となると、1件当たり約10万円ぐらい、こういう計算になると思うんですけど、そうすると、この今回の積算根拠で行くと、大体30件分ぐらいなんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 今回、移住金の歳出としては309万4,000円計上してまして、従前の移住支援金300万円がそこに入ってますので、実質、地方就職支援金としましては、1人分の計上というような形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じところですが、これ、例年、年度末補正で減額が続いているわけですが、令和8年度、この新たな何かアプローチっていうのを考えておられるでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 特段、新たなアプローチというものは現時点では考えておりません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて5款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6款 農林水産業費について、順次説明を願います。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤直美君） それでは、農業政策課所管分について、主なものを歳出から御説明します。

予算説明書95ページを御覧ください。

下段、6款1項1目 農業委員会費は、前年度比35万7,000円の増額です。増額理由は、令和8年7月に農業委員会の改選を迎えるための関連費用でございます。

99ページを御覧ください。

上から2段目、6款1項6目 地域農政推進対策事業費は、前年度比83万円の増額です。主な増額理由は、令和7年度から9年度の3か年をかけて実施します農業振興地域整備計画策定業務に伴うものでございます。

続きまして、歳入を御説明しますので、35ページを御覧ください。

最上段、15款2項5目 農林水産業費県補助金の右側説明欄、農地利用最適化交付金は、農業委員会委員等報酬のうち、年額加算分報酬をはじめとした農地利用最適化活動の財源

となるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） 続きまして、土木課が所管するものにつきまして、主なものを歳出から御説明いたします。

予算書98ページをお開きください。

6款1項5目 農地費、土地改良事業の右側説明欄、中ほどの排水機場管理委託料888万9,000円は、阿野、大脇排水機場、根崎除塵機の監視操作業務などを計上しております。

その2項目下、農業土木工事費は、土地改良施設維持管理適正化事業の大脇排水機場遊水地浚渫工事などの実施により4,898万3,000円を計上しております。

説明欄、5項目下になりますが、県営土地改良施設耐震対策事業等負担金815万円、こちらは、皿池、洞洼洞池、大原池の愛知県が実施するため池改修に対する負担金です。

説明欄、最下段の県営たん水防除事業負担金2,652万円、こちらは、大久伝排水機場の更新事業に伴う愛知県への負担金を計上しております。

次に、歳入の主なものを御説明いたします。

予算書35ページをお開きください。

15款2項5目 農林水産業費県補助金、農業費補助金の土地改良事業費補助金558万2,000円、こちらは、排水機場の点検や維持管理費に対する県からの補助金です。

説明欄5行目、農業農村多面的機能支払事業補助金478万1,000円は、農業、農村の有する多面的機能の維持発揮を図るため、地域の共同活動を実施している勅使水系環境保全の会への市からの補助金、こちらに対して県から補助される金額であります。

続いて、予算書47ページをお開きください。

最上段の土地改良施設適正化事業工事費収入、1,530万円、こちらは、農業土木工事費の大脇排水機場遊水地浚渫工事に充当される収入です。

続いて、49ページをお開きください。

21款 市債の1項2目 農林水産債、土地改良事業債の右側説明欄、土地改良施設耐震対策事業710万円。こちらは、県営事業による、皿池、洞洼洞池、大原池の耐震対策等事業に伴う負担金に充当する市債です。

その下の湛水防除事業2,380万円は、県営事業による大久伝排水機場更新に伴う負担金に充当する市債です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

6 款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の95ページ、農業委員会関係です。95ですね。先ほど、農業委員会の増額が、今年7月の改選で、それにかかる費用の増ということなんですが、今までのその事業評価書の中で見てくと、タブレット端末利用で、そういう遊休農地を早期発見っていうことで、農地バンクとか充実させて、遊んでる遊休農地の有効活用を目指すということがあったんですが、令和7年度の有効活用事例があったかということと、令和8年度、その遊休農地を減らすための具体策ってというのは、どういうふうに描いてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

（関係ないじゃん。関係あるの声あり）

○農業政策課長（加藤直美君） まず、7年度の遊休農地の活用っていうことでよろしかったですか。

（ちょっと委員長、報酬の話でしょうの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 報酬の話、予算の話。予算の関係で。

（報酬の話は関係ないよの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 農業委員会の活動として、タブレット端末購入して、いろいろ遊休農地の早期発見だとかっていうことがきちっと書いてあるわけですよ。なので、今回の増額は、改選の事務手続っていう説明はあったんですけども、この来年度、この982万円の農業委員会の事業で使う費用の中で、その遊休農地のことをどういうふうに……。その有効活用を目指すって書いてあるので。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ちょっと予算から外れてますので、次。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうしたら、要は、その農業委員会の活動としてのその指標があるじゃないですか。遊休農地を減らすための具体策があるのかないのか、あるのであればお答えをお願いしたいです。事業に向かったの活動をされるので。農業委員会の活動。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 活動の内容ですか。

○ふじえ真理子委員 内容。982万円の1年間の活動費が挙がってるじゃないですか。

（報酬の金額を何に使うかの質問ならええけど、総括の質問じゃないの、その声あり）

○ふじえ真理子委員 総括です……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 予算に対してお願いしますね。

○ふじえ真理子委員 総括でお答えいただけますか、そうしたら。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 総括で、はい。

○ふじえ真理子委員 じゃ、総括でいいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書95ページの今の農業委員会、農業委員等報酬の、この等っているのが入ってるんですけど、この等っているのは、何が含まれて、何を指してるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 農業委員会の委員さんと農地利用最適化推進委員さんがお見えですので、それで等というふうにつけてあります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 98ページの下のほうになるのかな、県営土地改良施設耐震対策事業等負担金815万円。ここでよかったのかな……。あれ、大原の、耐震のっていうふうに、どういったことをやるのか教えてもらっていいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 耐震対策事業等で大原池に関しましては、豪雨対策としまして、余水吐の部分の改修を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

関連、林委員。

○林 ゆきひろ委員 ため池の改修ということですけど、まず、対象の池は、大原池、洞洼池、皿池の3つですかね。ほか、ありますか、3点。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） この本予算につきましては、3件です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回、その耐震で工事をするんですけども、ため池の容量、貯留量ってというのは、何か変更というか増えたりとかあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 基本的な池の容量というのは変わらないんですけども、切り欠けを下げることとか、豪雨対策は、水量、水位を下げること、普段の水位、今、地震対策につきましては容量は変わらないですけども、堤体とか施設、取水施設等の耐震対策を行う、こういった工事の負担金でございます。

（変わらないの声あり）

○土木課長（外山紀元君） 変わりません。すみません。

以上です。

（変わらないの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 97ページの農業振興事業の真ん中ら辺の米生産調整推進対策費、こちらなんですけど、昨年より20万円減ってます。これ、今、米が高くなってる中で、なぜ補助金が減らされてるんでしょうか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、こちらのほうは、主食用米、その年に作られたお米を食べるお米以外に作られたものに対してお支払いする奨励金となっております。それで、委員のおっしゃられるとおり、今、米価が上がっておりまして、農業者の方は、どちらかというと主食用米にシフトしている状況もございます。ただし、麦作を作られる方が面積を増やす予定でございますので、そちらも加味して若干少なくなっているものの、そこまで減っているという状況ではございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書98ページの……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、マイクに近づけてください。

○いとうひろし委員 はい。予算書98ページの土地改良事業費の右側説明欄の樹木剪定と

草刈委託料、これは、どちらの地域のどの部分をやってるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 基本的に、土地改良施設、ため池、農業系のため池の周りの樹木を刈る予定してます。1つは、間米町にある小さい池とか、あと、大峡間池等を予定しております。

以上です。

（いとうさんのやるやつじゃないんだの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

青木委員。

（いとうさんが草刈りやるやつじゃないの声あり）

○青木けんじ委員 予算書の97ページで……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、ちょっとついてないんで。

（ついてないの声あり）

（あれ、今、入っておったよの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 接触不良。ついた。

○青木けんじ委員 大丈夫でしょうか。予算書97ページの農業振興事業の下から3分の1ぐらいでしょうか、病虫害防除対策費補助金が昨年に比べると約3倍ぐらいになってるんですけども、こちらのほうは、どのような理由から増やしてあるんでしょうか、お願いいたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、令和7年当初予算は100万円計上させていただいて、病虫害の防除を皆様がしっかりやっていただいているという現状から、令和7年9月補正で190万の補正をお認めいただきました。当初予算と令和7年の補正額を合わせた290万を令和8年の当初予算で計上しているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じく97ページの病虫害よりも10個ぐらい上かな、有害鳥獣駆除委託料65万5,000円ですけども、これも少しだけ増えてる、16万ぐらい増えてるんですけど、これは、どうして増やしたんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、豊明猟友会さんに農作物被害防止のために、4、5月と9月と10月にやっていたものと、環境課と同じく単価契約でわなの設置等をお願いしている分になるんですけれども、まず、最初のところが、25年間、四半世紀ちょっと同額であったってということで、実働に合わせた形で契約の見直しをしたいと思ひまして、ちょっとアップしております。

あと、単価契約のほうにつきましては、わなの設置だけではなくて、捕まえるまでに何回かわなの場所を変更したりだとか餌を変えたりだとかそういったものも加味した形でこのような増額で計上しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のとこなんですけど、これ、捕まえたものは全部駆除、殺しちゃうものなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） もちろん駆除対象以外のものは処分にはならないもんですから、駆除される対象のものにつきましては、適正に処分させていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その農業振興事業、97ページの真ん中から下かな、豊明産農産物重点品目支援補助金ですけど、これの条件とか、あと、重点品目は増えたのかなって、その辺、教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、重点品目につきましては、令和8年度に入ってから決めますので、まだ品目の数とかは決まっておりません。

じゃ、何を目的としているのかというと、市場出荷及び特産品として力を入れている品目となります。JAさんと協議の上、品目については決まると思ひますけれども、今年度で行きますと、8品目で重点品目というふうに指定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算の概要のほうです。18ページの56番、土地改良施設の維持管理なんですけど、ここ、大脇排水機場遊水浚渫となっておりますが、これですと、増水のときに沈没させるという機能があると思うんですが、場所はどこになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 場所としましては、大脇排水機場の場内にあります遊水池、すぐ隣に。

（場内にの声あり）

○土木課長（外山紀元君） あります。遊水池です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書97ページの農業振興事業の一番下の農業者育成支援補助金、たしか、これ、令和7年度から始めてると思うんですけども、7年度の実績と、今回8年度は、どのような内容になってますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 7年度につきましては、もともと田んぼであったところだったものですから、それを畑地に変えるために肥料を入れたりだとか土を入れたりっていうことが一番苦労しているところございまして、7年度につきましては、ほかに親子農業塾をやったりだとか、収穫体験をされたりだとか、緑肥の目的でヒマワリを植えたりという形でやっております。

8年度につきましては、それに加えて、農学校、初心者の方がそこで勉強をされて就農につながるような学校の開設だとか、新規野菜だとか、栽培時期をずらすような目的の試験補助をやったりっていう形を考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 関連でお伺いするんですけど、予算書は97ページの一番下、今の農業者

育成支援補助金の関連なんですけども、今、御答弁があったのは、農学校の開設なんかをして新規就農者を育成するみたいな話がありました。資料の6の4を見ると……。6の4の、これ、何ページ目なんだ……。6款のところで、何枚目なんだ……。ちょっと待ってください。1、2、3、4枚目ぐらいになるのかな、の6款の、この4枚目の下から十二、三行目に当たると思うんですけども、新規就農者育成総合対策経営開始資金補助金とかがついているのが昨年度150万上がってて、今年度は上がってないんですけども、これはどうしてなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは、3年間に限定した補助金でございます。国の補助金のメニューでございまして、令和5、6、7っていうことで、それで、その3年間限定で、8年度以降は、そういう対象者の方がお見えじゃないもんですから、8年度の予算書には計上されておりません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

関連。

（はいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 国のほうの制度はあるけども、その対象の方が見えないからっていうことですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 委員のおっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書97ページの先ほどの有害鳥獣駆除委託料のところ、さっき、先ほど、駆除するものとししないものがあるっておっしゃってたんですけど、駆除するものとししないものを、その動物というか、その名前をちょっと教えてください。駆除しないもの。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 駆除しないものというよりは、駆除するものっていうことで御回答させていただきます。年度契約で駆除対象になっているものにつきましては、12種類の鳥獣でございます。カラバト、ハシブトカラス、ハシボソカラス、カルガモ、キジバト、キジ、カワウ、ヌートリア、ハクビシン、アライグマ、タヌキ、イノシシでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

関連ですか。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、ちょっと質問のし方がちょっと悪かったんで、すみません。殺してしまうものと、その逃がす、よそへ逃がすっていうものの、この違い。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 先ほど申し上げたとおり、駆除外のものは猟友会の方はしっかり見分けがついてますので、取らないし打たないというふうに伺っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の96ページの農業環境改善センター管理事業に関するところです。資料、ありがとうございました。資料ナンバー1の④です。ありがとうございます。このセンターのいろんな稼働率とか見ていったんですけれども、この改善センターの件で、老朽化が進んで、存続期間を考慮した適切な修繕工事云々というふうな評価書にあるんですけれども、その存続期間っていうのは、今、どのぐらいっていうふうに捉えて、令和8年度は、こういった513万1,000円の予算を上げていらっしゃるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、こちらは、国の補助金を使って建築しておりますので、償還期間が50年あります。昭和53年7月に開設しておりますので、少なくとも令和9年度末までは取壊しが不可となっております。

そのほかに公共施設適正配置計画で位置づけられておりますのは、現在の施設の配置状況や他の施設の更新時期等を踏まえ、建築後65年を経過する令和23年から令和32年に他の施設の更新に合わせて機能を移転し、複合化を検討することとされています。市の計画の中での今後の利活用を検討していく形になるかと思われます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料にもあるんですけれども、その稼働率が平均で10%前後になっ

てるわけです。令和7年度の稼働率の見込みを知りたいのと、令和8年度は、どのぐらいの目標値で立てられているのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 改善センターは、場所が場所だけに、そんなにたくさん倍増するっていうふうには想定してなくて、例年どおりの稼働率に落ち着いていくのかなというふうには想定されます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうしますと、10%ぐらいで行くのかなっていうふうなんです、今年度、学習スペースということで、学生さんにも開放して、でも、思ったより利用がなく、その対象者を広げる、広げて実施っていうことだったんですが、今年度、どんなふうなんですか。それでも、その利用されてるっていう、その今年度と、あと、来年度の見込み。

（今年度はちょっと分かんないですけど、昨年度だったらの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） それは、ちょっと予算から外れるんで。

次に、次。

（次ですかの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の改善センターのところですけど、その稼働率の中でも、小会議室の2階の北のところが、結構30%ぐらい稼働率が高いんですけど、これは、先ほどあった学習スペースとしてということなのか、何か特定のそういう団体が結構頻繁に使われているのか、どういう状況なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの小会議室につきましては、二重窓になっておりまして、一応、厳密に言えるかどうか分かりませんが、防音施設っていう位置づけなものですから、音が出る団体、太鼓の団体が御利用されてるという形で利用率が上がっているものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連、林委員。

○林 ゆきひろ委員 ある程度、特定の団体が頻繁に使われてるのかなと思うんですけど、先ほど、9年度以降、その廃止というか統合もあるというところなんですけども、その移動とか、それも可能なのか、どういう話をされてるんですか。

(関係ない、関係ないの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） それはまた今後の話で……。

(そう、今後の話の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 今回の予算には入ってませんので。

次に、こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 これ、令和7年度、8年度も利用率、同じぐらい、10%ぐらいなんですってということなんですけど、実績のある利用料って、幾らなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

(令和7年度の声あり)

○農業政策課長（加藤直美君） 実績ですと、令和6年度が最終確定値でございますので、こちらのほうでお答えさせていただきます。改善センターの純粋な使用料としましては、令和6年度の決算で76万4,690円でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書97ページの中段からちょっと下の農業施設管理事業補助金50万円、こちらは研修農園の予算だと思うんですけども、昨年同様ということは、成果としては、どうだったんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの農業施設管理事業補助金の50万円でございますが、こちらは、JAさんが管理しております花苗栽培施設の電気だとか修繕だとか、施設維持管理に必要なための補助金となっておりますので、花苗生産組合の方が皆さん御利用される施設のための補助金でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 だとしたら、その研修農園の費用は、どちらに入ってるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君）　こちらは、予算書の97ページの農業振興事業の一番下の農業者育成支援補助金、こちらのほうになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員　予算書98ページの大府市排水機負担金のところですか。令和6年は387万円、令和7年度854万円で、令和8年度予算1,575万円、これ、倍々に増えてる。何か取決めていうのは、どのようになっているんでしょうか。お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君）　大府市が維持管理する排水機場の負担金を払うものでございますが、豊明市が約3分の1、33.12%お支払いするものでございます。

8年度につきましては、通常の維持管理に加えまして、ポンプの改修、吐出弁のオーバーホール等も入っております、そういった費用の負担もしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかに。

いとうひろし委員。

○いとうひろし委員　すみません、予算書97ページの先ほどのところなんですけど、この農業者育成支援補助金が、あれなのね、何だ……。

（そうだの声あり）

○いとうひろし委員　研修農園だよ。去年も研修農園で50万だったんだけど、これ、同額ってことは、成果的にはどうだったんでしょうか。

（決算で言ったよの声あり）

○農業政策課長（加藤直美君）　こちらは、補助金の交付要綱で、対象事業費、研修農園の管理費の20%以内というふうで策定しておりますので、成果に対して出す補助金ではございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員　予算書97ページの説明欄の一番上の転作事務等ってあるんですが、これは、何名で、どこでやっているのか、あと、この等というのも説明をお願いいたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、こちらは、農業政策課の事務室の中で働いてみえる会計年度任用職員の方、お一人でございます。

内容につきましては、最初は、転作事務等っていうふうにつけてあるっていう、おっしゃられたんですけど、主に転作事務であったり、あとは、農地利用最適化事業、農業委員会のほうの事業であったりだとか、そのほかに、農業政策課で窓口だとか電話とかの対応、補助的な要素の職員の方でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書98ページの土地改良事業の光熱水費、この514万9,000円、これは、どこの光熱水費かというと、あとは、主なものは、これ、こういったものなんですよ、この光熱水費の中の。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、排水機場、市内に3つある排水機場の光熱水費でございます。大久保排水機場が、今回、本格稼働しておりますので、若干、上昇しております。電気代が主ではあります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書99ページの真ん中の農業振興地域整備計画策定委託料というところで、これは、9年度まで委託して計画を策定するということなんですけども、現状の進捗状況で、8年度がどういう内容になりそうか、あと、都市計画マスタープラン、今、進めてると思うんですけども、それとも関係すると思うんですけど、そのあたりの関連性、ちょっと説明していただきたいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、7年度につきましては、農業者の方へアンケートを実施いたしました。こちらの計画を見直しをするのに、基礎資料というものと、農振整備計画の案、もう既に検討している状況でございます。

あと、8年度につきましては、その基礎資料と農振整備計画がもうほぼ出来上がった段

階で、夏ぐらいから県との事前調整に入ってまいります。最終的に県の協議のほう令和9年の1月、2月にかけて行っていく形になります。所定の手続を経て、令和9年度に完成するという形になります。

あと、第4次都市マスタープランとの調整でございますけれど、まず、第6次総合計画の土地利用に基づいて、第4次都市マスタープランと私どもの農業振興地域整備計画というのは同列の計画でございますので、そちらの地域計画、地域利用、そういったことの整合はもちろん図っておりますし、第4次都市マスタープランの、私、メンバーに入っておりますので、そうした中で調整を取っていくものとしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 7年度、アンケートをいろいろ実施して、これ、最終的に、地域保全のいろいろ、農地の地域のゾーニングとかそういうことも関係してくると思うんですけど、具体的に何かそういった地域の中で除外したりとか編入するとか、大きく変わることないっていうことなんでしょうか。その総合計画と合わせるので、あまり関係、大きく変わることはないっていう状況ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 今、ちょっと委員がおっしゃられた質問に関しましては、今現在、策定途中でございますので、お答えは差し控えさせていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書98ページ、県営土地改良施策耐震対策事業等の負担金、これ、昨年も2,100万ほど使ってると思うんですが、今年も、これ、815万使われると思うんですけど、これは、前年度で終わらなかったから、今年度も引き続き行うということでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

（さっき言ったの声あり）

○土木課長（外山紀元君） 県の実施する単年度で終わらない計画的な……。

（もういいよの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書98ページの排水機場管理委託料で、これ、先ほどこっちと説明がありましたけど、監視操作業務とあったんですが、ここは、常に誰かがいるのか、どういうことでしょうか。98ページの。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、大脇排水機場と阿野排水機場になるんですけども、委託業者が警報が出ると必ず来ます。豊明の本部が来る、出ると必ず来ます。あとは、通常の点検等です。だから、常駐してるわけではございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今、点検とおっしゃったんですけど、点検は、どれぐらいの頻度でやっているのでしょうか。これだけちょっと大きい金額なので。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 基本的には、月に1回の点検になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 97ページの農業振興事業の下から2つ目の豊明産農産物の地産地消推進補助金ですけども、まず、令和7年度の実績と、令和8年度は、学校給食への活用とか、給食センターとの連携とか、そういったことは考えているのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、7年度の実績ですけども、まだ実績報告が上がってないものですから、この場でお答えすることはできません。

給食とかの取扱いにつきましては、年2回、JAさんと給食センター、こども保育課、農業政策課で関係者の会議を開いておりますので、来年度もそういったことは継続してやっていって、取扱量を増やしていただいたりだとか、新規野菜の取組だとか、どうしたら給食に活用してもらえるかということを話し合っていきたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて6款 農林水産業費の質疑を終わります。

続いて、7款 商工費について説明願います。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） それでは、7款です。

予算書100ページをお願いいたします。

7款1項1目 商工総務費は、前年度比1,073万1,000円の増額で、主な理由は、ふるさと納税事務事業、説明欄の一番下、大学等連携事業補助金として、ふるさと納税制度を活用した補助金が計上されていることによるものです。

このふるさと納税制度を活用した大学等連携事業補助金の事業概要といたしましては、ふるさと納税の寄附メニューに大学支援事業という返礼品のないメニューを追加します。そして、寄附を受け付けます。市は受け入れた寄附額のうち、7割を大学への補助金として交付し、残りの3割を本市への寄附として受け入れ、中間業者への支払いに充てる仕組みでございます。

続きまして、最下段、2目 商工振興費は、前年度比74万2,000円の増額で、主な理由は、次のページ、商工業振興補助事業、説明欄の一番下、創業支援補助金として、小規模企業振興基本条例に基づく創業者支援のための新規の補助制度として100万円が計上されていることによるものです。

3目 観光費は、前年度とほぼ同額です。

次の102ページ、上段、4目 消費者行政推進費は、前年度比56万6,000円の減額で、主な理由は、啓発用品等の事業費を精査したことによるものです。

次に、主な歳入でございます。

40ページをお願いいたします。

最下段、17款 寄附金、1項 寄附金、1目 一般寄附金のうち、ふるさと豊明応援寄附金は、ふるさと納税制度を活用した先ほどの大学への補助金の財源となる寄附額を含む3,400万円を見込みます。

以上で、7款 商工費の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

たけ……。

(違う、中堀の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 失礼、中堀委員。

○中堀りゅういち委員 忘れる前に、先ほどの100ページです。

すみません、私も、今、開きます。お待ちください。

この一番下のから2番目で、ふるさと納税の部分ですけど、大学等のこの補助金980万円ですが、これ、対象大学とかそういうのは、まず、あるのかが1つで、あと、財源がその他になっております。これ、ふるさと納税からという意味で、その他から来るのかっていうのと、この2つ、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、ふるさと納税制度ですので、豊明市にキャンパスのある大学というところから、藤田医科大学、桜花学園大学、名古屋短期大学の3校が対象となっております。

財源としましては、先ほどの説明の中で申し上げましたとおり、寄附金が当たります、直接特定財源として当たりますので、その他として財源が計上してございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の101ページの先ほど御説明がありました真ん中辺の創業支援補助金100万円ですけども、対象となる創業の内容と、想定している補助件数を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 補助対象経費につきましては、店舗等の新築、増改築、改装等の費用、それから、賃借にかかる費用、また、キッチンカー、移動販売車の購入、改造にかかる費用が対象となっております。

件数としましては、一旦、予算上としましては5件分。上限が20万円ですので、5件分を計上してございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 同じところで関連です。そうすると、今まで、豊明市、いろんなところ、出向いて、そういった創業支援とかの話とかも動かれてたと思うんですけども、実際、こ

れのPRの方法というのは、もうホームページのみになるのか、もしくは、こっちから、ある程度、そういった関係したところに出してくのか、どうなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） まずは、鶴飼委員がおっしゃったとおり、ホームページもさることながら、これは、毎年4市町合同で特定創業支援事業としまして創業セミナーを開催いたしております。そこの開催に当たりまして、8月、夏場に図書館とかで創業の本を集約しまして、創業に関心のあるコーナーということで啓発もしておりますので、そういったところで創業の補助金があるということを啓発したりだとか、あとは、毎年、事業者支援ガイドというのを市内の業者に発行しておりますので、こちらのほうにも掲載をしていきたいと、そのように考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 先ほどの100ページ、大学支援事業のほうでございます。こちら、他市町、他府県の方が、このさっきの3大学に来る場合も対象となるのか、このふるさと納税の。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 他府県の方が来ると……。

中堀委員、もう一度願いたい……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 よろしいでしょうか。さっきの3大学は、全ての入学される方に対して、その大学の補助金っていうのが充てられるというか。3つの大学、さっき、桜花……。

（勘違いされてるんでの声あり）

○中堀りゅういち委員 勘違いしてる……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 申し訳ない、私の多分説明が、不足してるんだと思うんですが、ふるさと納税の制度ですので、全国の寄附者から寄附をしたいという、大学を応援したいという寄附者の思いを活用する制度ですので、全国の寄附者が、例えば、藤田医科大学に寄附をしていただく、その寄附金が財源として7割が補助金として充たると、補

助金として交付するというような事業になっております。

以上です。

(理解しましたの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

(関連の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀、関連。

(関連ですの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） はい。

○中堀りゅういち委員 そうすると、これ、事業内容は、もう全て大学さんに任せるとい
う形でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 補助対象事業といたしましては、やはり市と大学のほう
は包括連携協定を結んでおりますので、そういった市の人の連携協定に、協定書に載って
おる事業だとか、あとは、もう、大学の……。大学で実施する学生支援に関する事業であ
るだとか、教育研究活動の事業、もうある意味、もう大学で行う学生指導のための事業が、
もう全般にわたるといような内容になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ100ページの大学等連携事業補助金ですけれども、資料4の8を見
させていただきました。これが何だったかな……。交付要綱の案ですね。今、御答弁され
たことは全てここに書かれているわけですが、まず、この大学等連携事業補助金をや
ろうと思った理由をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 御質問ありがとうございます。これは、大学が安定した
教育研究活動を実施することができるよう自治体と大学が連携して、ふるさと納税制度
を活用した寄附の受け付け制度の整備を進めている自治体が徐々に広がりつつあると、文
科省のほうで、これを、奨めておるんですが、そういった背景がありまして、さらに、ふ
るさと納税……。ごめんなさい、かねてより藤田学園とは、PET-CT検診などの返礼
品をはじめ、新たな返礼品の開拓に向けて協議を行っておりましたので、こうした全国の
事例を踏まえ、豊明市でも導入できないかというところから、今回、採用に至った
というところでございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 先ほど説明があったと思いますけども、7割が上限として大学のほうに交付する。要は、豊明市のほうに、その納税で納めていただいた額の7割上限で大学に行くというようなことで御答弁ありましたけども、これ、7割を上限にした理由をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これ、実は7割という割合は、特に決まっているわけではないんですが、全国的に7割としている自治体が多いというところで、まず、御理解いただきたいと。

じゃ、なぜ7割が多いということかといいますと、7割は、例えば、1万円寄附が入りました。7,000円は、大学の補助金に行きます。あと、3,000円が市の収入になるんですが、当然のことながら、中間業者、ポータルサイトの委託料だとか手数料等の支払いがございしますので、そのところの経費が約13%ぐらいかかります。ですから、1割、3割の13%ぐらいですね。

（4パーの声あり）

○産業支援課長（塚谷友昭君） そうですね。ですので、少し豊明市に残るような形で市に少し一般財源として残るような形にすると、大体7割ぐらいが相場じゃないかというところで、7割というところで設定をしております。

ですから、市には1割、17%ぐらいですか、寄附額の17%ぐらいが純粋な一般財源として残るような形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

関連、清水さん。

○清水義昭委員 仕組みとして、ふるさと納税は、返礼品のところの上限が、たしか定められていると思うんですけども、この大学のやつは大丈夫ですか、7割にして。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、返礼品のない返礼品。ごめんなさい、ちょっとややこしいんですけど、通常、ポータルサイトに載ってるのは、返礼品が載ってるんですね。例えば、ラーメンとかで、寄附額1万円とか載ってるんですけど、この大学のこの寄

附金は、返礼品のない返礼品なし大学支援事業（藤田医科大学）というようなメニューが載るんです。ですので、返礼品がないもんですから、その補助金については経費という扱いにはなりませんので、5割ルールについては適用がないということになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の大学向けのそのふるさと納税のところですけども、そのふるさと納税を選ぶときに、各大学でメニューが出てくると思うんですけども、それに対しての寄附が、じゃ、逆になれば、補助はないということですか。一般で自由に使ってもいいよってというようなふるさと納税のものもあると思うんですけど、そういうものが、これは補助に与えられるということは、ないんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 今の林委員の質問なんですが、これは、寄附が、極端なことを言いますと、寄附が入らなければゼロです。補助金としては出しません。あくまで実績、寄附額のそれぞれの大学に入ってきた寄附額に対して、その寄附額の70%を出します。寄附がなければ、当然のことながら、補助金もゼロということになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、歳入のほうの見込みで、もともと2,000万だったふるさと納税が、3,400万と1,400万も増えているって、これは、この大学でということなのか、ほかに何か策があつてということなのか、どうなのでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、今、審査していただいているこのふるさと納税制度を活用したこの目標額、これをそれぞれの大学のほうに、目標額、寄附金の目標額をどのくらいですかということでお伺いを立てまして、藤田医科大学は1,000万円を目標にしたいと、桜花学園と、それから、名古屋短期大学については、それぞれ200万円ということで目標にしたいという申出がございましたので、合計1,400万が通常の2,000万にプラスされてるといった積算になってございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（もう一つ言っていていいですかの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じところで、資料ナンバー４の８の要綱の中で、補助対象事業で、（１）の本市の課題解決に資する事業というのは、非常に市としてもメリットあるかなと思うんですけど、この（２）（３）については、あんまり市側のメリットが感じられないような気がするんですけど、これ、大学の事業だと思うんですけども、そのあたりは、どういうふうに考えてます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、一言でいうならば、未来を担う人材育成というところが、まず大きな目標としてございますので、やはり大学っていうのは地域社会の発展に不可欠な存在でございますので、そういったところから直接的な効果というところではないかもしれませんが、優秀な人材が豊明市のキャンパスで育ったということも豊明市が名をはせるようにもなりますし、例えば、今、林委員がおっしゃられたんですけど、豊明市においても、70%は出ていってしまうんですが、寄附額の向上にはつながります。今、言ったような地域活性化、それから、まちのにぎわいの創出とか、そういったところにやっぱり大学ってかなり関わっていただいておりますので、そういったところから、この制度を導入するということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ大学等の寄附の話で関連なんですけども、今、その所得控除の話がされました。多分、寄附をすることによって所得から控除されるみたいな感じのやつだと思うんですけど、ふるさと納税をこの活用して大学側に寄附をするっていうような今回イメージだと思うんですけど、それを使った場合と、大学に直接寄附をするっていうのも寄附の控除のほうになると思うんですけども、その辺の有利、不利というのは出ないんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 当然、大学に直接行く寄附金も、当然、寄附金のその税上の控除がありますので、そこは、すみ分けといいますか、あくまで、豊明市、ふるさと納税のほうが、当然、有利ではあるとは思いますが、ただ、そこは、大学とも協議はしたんですけど、従前から大学も直接寄附は受けてますので、そこはそこで受けて、さらに、ふるさと納税を活用した市と連携するそのふるさと納税の枠組みを使うのも並行してやろうというところで話ができておりますので、ちょっとその税上の有利、不利というところは、また税金上のお話になるので、一応、そういった大学との話合いの中で並行してやろうということにはなってます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書の100ページの今の大学連携の補助金の980万円という金額と、あとは、資料の第10条のところで、こんなケースがないだろうとは思いますが、趣旨には賛同して拠出もするっていう方がいたけど、特に特定の大学を指定しないから、市のほうで考えてくれみたいな人が受け付けるような仕組みって、この980万円の中の幾らかで均等分散みたいなことって、することになるんすかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、寄附のメニューが、もうその大学限定、その3つの大学で分かれてるもんですから、ちょっとそういった想定はしておりません。

以上です。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） そろそろ1時間たちますけど、まだありますか。

（もう一個だけ、関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連、じゃ、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ大学のところです。同じく10条のところで、上限が10分の7ということなんですけども、どういうふうにその上限を決めるんでしょうか。その寄附された額の7割が大学に行くわけですけれども、例えば、何でしょう、10万、どっかから寄附されました。そうすると、7万が大学に行きます、上限が。ただ、その大学が、そのやろうとしていることが、何ですか、全部その大学がやろうとしていることの全額を充てるわけですか。その上限7割って言われてるんですけども。分かりますかね。

（どういう意味ですか。もうちょっとはつきり言わな声あり）

○ふじえ真理子委員 そう、5割のときもあるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 何か出たような気もしますが。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 一応、上限7割なんですけど、10分の7を、一応、補助金として出すんですが、基本的には、もう大学の既存の事業に当たるようなイメージを持っていたらと思います。というのは、あくまで全国の大学を応援したいという、例えば、卒業生であるだとか関係者の方、こういった思いをくみ上げるというか、制度になりますので、ですので、その金額に見合うような事業を申請していただくようなイメージになるのかなと。

以上です。

（進行の声あり）

（最後の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連。

（これで最後の声あり）

（最後じゃない、最後は一色委員ですの声あり）

（関連の声あり）

（関連です、すみませんの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 あと、この事業を始めた場合、どんな指標でその事業効果っていうのは図って予定ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 今、ごめんなさい、指標とおっしゃいましたかね。何分にも初めての事業でございますので、まずは大学に対して多くの寄附が集まればというところで、目標額は先ほど申したように1,400万を目標になってますので、そういったところになるのかなと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（これで最後の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 一色委員。

（最後じゃないねの声あり）

○一色美智子委員 101ページ、最後です。先ほどの創業支援補助金の1つ上のとよあけ事業者応援選べる補助金なんですけども、これ、たしか2年目になりますが、1年目の状況を踏まえて、どのように取り組むことを考えているのか、見通しをお聞かせください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 選べる補助金につきましては、今年度、2回ほど、100万円ずつの補正予算をお認めいただきまして、現在のところ、300万円を超えるような状況…。ごめんなさい、執行額が300万円を超えるような状況でございまして、残り3週間程度となっておりますが、さらに問合せが多くて、ちょっとまだ見込みとしては立たないんですが、やはり好評であるなという印象は持ってますし、効果等もこの場で聞かれておりますが、一定の効果はあるというふうに認識をしておりますので、引き続き、200万円ですが計上しまして、8年度についても適切に対応していきたいと、そのように考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） まだあります。

（もうあんまりないと思つての声あり）

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） まだあります。

じゃ、ここで、1時間休憩……。1時間じゃない、10分間休憩といたします。

午前 11時5分休憩

午前 11時15分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

ほかに質疑のある方、挙手願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 101ページの上から3番目かな、地域経済活性化事業費補助金で、これの事業の内容と費用の内訳、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、軽トラ市であるだとか、商工会の委託事業になるんですけど、軽トラ市、あとは、年末謝恩事業、それから、雇用対策として職業紹介を行っていただいたりしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 具体的に軽トラ市は、幾らの予算ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 軽トラ市の予算は、40万円となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じページの新しい創業支援補助金100万円で、私、これを何かで見たんですけど、これ、3年間限定でしょうか。とよあけ事業者応援選べる補助金は、たしか3年やってみてっていうふうだったんですが、創業支援のほうはどうでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 創業支援補助金についても3年間の時限立法となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 100ページです。大学……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイクを使ってくださいね。

○中堀りゅういち委員 100ページ、大学支援事業でございます。先ほどもちょっと聞いたんですが、多分、一般財源からではなく、その他の財源から980万円入っているんですけども、ふるさと納税でも寄附金が入ってくれば、一般財源に組み込まれると認識してたんですが、これが、あえてこの分かれて、980万でふるさと納税から直出しっていう形なんです。これ、理由だけお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） ふるさと豊明応援寄附金については、一般財源扱いになっておりますが、先ほどの大学等への支援補助金については、こちらは、もう直接、補助金として予算を出しますので、これは、あくまで、この1,400万に関しては特定財源というような扱いにしております。そこは、補助金に充たれるということから、特定財源になっております。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 それでは、確認ですけど、今後、いろんな形で入ってくるふるさと納税では、一般財源からという場合も出てくるということでよろしいですね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 一般財源としてになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今、その御答弁があった1,400万円が全て特財に入るということの答弁というふうに聞こえましたけども、残りの部分が、多分、一財に溶け込むんじゃないかなと思うんですけど、980万以外のところ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） すみません、訂正いたします。1,400万のうち、980万円が特定財源という扱いになります。残りの3割は、一般財源になります。

以上です。申し訳ありません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところの上のふるさと応援寄附関係委託料、これも、かなり200万ほど増額してるんですけども、この内容を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） このふるさと応援関係寄附委託料が大幅に増額になっているのは、これは、まさに大学等この補助金を計上したことによるもので、なぜかという、今、ポータルサイトを幾つか、例えば、さとふるとか、ふるナビとか、楽天とかあるんですけど、このシステムの関係上、この大学の補助金を受けることができるポータルサイトというのが、さとふるとふるナビという2つしかちょっと対応ができないということが分かりまして、ただ、圧倒的にさとふるを委託料で計上させていただいているポータルサイトが利用率が高いものですから、ここの影響から委託料が伸びております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の100ページの一番下、説明欄の一番下、小規模事業指導費補助金2,000万円、これの内訳と、それから、今後、この……。今後というか、今までやってきたと思うんですけど、その内容を御説明をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらは、商工会の職員の人件費でございますので、あ

くまで商工会でやっていただいている小規模事業者の支援の事業に当たっておりますので、そういった説明になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 100ページ、お願いします。とよあけ花マルシェプロジェクト委託金、こちら、毎回人気で、来場者も多いと思うんですけど、年々内容なんかも変わってるし、もう本当に職員さん、毎回御苦労さまですって言いたくなるんですけど、今年度のPRなどあれば教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） ありがとうございます。とよあけ花マルシェ事業は、毎年、委託料300万円を頂いておりまして、花き市場の永田理事長の下に毎年やっておるんですが、常に新しい顧客、新しいお客様目線の事業内容を心がけておりますので、令和8年度についても、花の文化講演会第2弾として、また5月に開催を予定してまいりますので、花の文化についても普及啓発を図ってまいりたいなど。ちょっとうまく答弁できませんが、そのように考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどの小規模事業指導費補助金について、100ページのところ、先ほど、商工会の人件費ってということで御説明いただいたんですが、人数というのは分かりますでしょうかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） これは、経営指導員の方、3名とか、補助員の方、2名といったところに当たっておると聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、ふるさと納税のところの消耗品費のほうが減ってるのは、これは、多分、返礼品だと思うんですけども、大学連携以外の部分っていうのは、ちょっと減少するような見込みなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） この消耗品の減については、委託料で提供する返礼品等、物ですね、商品として提供するものがありますので、今年度の実績を基に算出をしておりますが、今年度の実績という見込みからすると、若干寄附額は減少するという見込み、想定としては、令和6年度より令和7年度のほうが寄附額は少し減るという見込みを立てております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 7款 商工費の質疑を終わります。

続いて、8款 土木費について、順次説明願います。

外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） それでは、8款 土木費のうち、土木課が所管する内容について、主なものを歳出から説明いたします。

予算書104ページをお開きください。

2項1目 道路維持費、道路維持事業の右側説明欄6行目、道路等維持作業委託料1億4,941万3,000円は、草刈り作業、街路樹の維持管理、側溝清掃、土砂回収など、道路の維持に係る委託料を計上しています。

その下の調査測量設計等委託料1,911万6,000円は、橋梁定期点検や定期点検に伴う橋梁の補修設計にかかる費用を計上しています。

その2行下、道路等維持修繕工事費は1億1,766万9,000円を計上しており、側溝、舗装などの緊急を要する維持修繕工事に加えて、舗裝修繕個別施設計画に基づく道路舗裝修繕事業などを実施いたします。

1つ下の段の道路管理事業、右側説明欄の2行目、道路用地購入費5,000万円は、主要地方道名古屋岡崎線豊明中央工区の整備事業に伴い、市道用地を購入するために計上しています。

中段の2目 道路新設改良費のうち、道路新設改良事業、右側説明欄3行目の道路新設改良舗装工事費は、区長要望及び管理者施工に係る工事費の1億7,000万円に大原池堤防に歩道を設置する国庫補助事業道路改良工事の費用を加えて計上しています。

最下段の3目 交通安全施設費、交通安全施設整備事業は、工事費として、区画線、防護柵、カーブミラー等の設置及び通学路の安全対策施設を整備するため、3,300万円を計上しています。

次に、105ページを御覧ください。

3 項 1 目 河川新設改良費の河川改修事業、説明欄 2 行目、田んぼダム治水対策事業補助金は、95万4,000円を計上しています。

続いて、歳入について主なものを説明いたします。

予算書26ページをお開きください。

14款 2 項 5 目 土木費国庫補助金の道路橋梁費補助金、説明欄の 2 行目、道路局所管補助金935万円は、道路維持事業の橋梁定期点検及び境川側道橋補修設計に充当する国庫補助金として計上しています。

続いて、28ページをお開きください。

最下段の14款 4 項 4 目 土木費国庫交付金、道路橋梁費交付金は、道路新設改良舗装交通安全施設整備などに対して、社会資本整備総合交付金として5,323万5,000円を計上しています。

次に、47ページをお開きください。

20款 5 項 3 目 雑入の上から 3 行目、県公共補償金5,405万円は、主要地方道名古屋岡崎線の整備に伴う市道用地購入に対する県からの公共補償金として計上しています。

続いて、49ページをお開きください。

21款 市債、1 項 3 目 土木債の道路新設改良事業債920万円は、大原池歩道設置事業に充当する市債です。

以上で、土木課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田都市計画課長。

○都市計画課長（中田勝次君） では、続けて、都市計画課所管分の説明に入ります。

まず、歳出より、主な項目のみ説明させていただきます。

また、歳入についても併せて御説明をさせていただきたいと思っております。

では、まず、予算書106ページをお開きください。

下の表、都市計画総務費は、都市下水路費を含め、1 億6,188万3,000円で、2,077万7,000円の増額となります。

なお、都市計画調査事業におきましては、令和 8 年度より都市計画事務事業に統合しております。

同じページの右側の下段、都市計画事務事業6,704万8,000円のうち、説明欄の下から 4 行目、木造住宅耐震診断委託料288万円は、無料耐震診断に要する費用で、35件分となります。

また、令和 8 年度より診断対象範囲を、1981年、昭和56年 5 月31日より、2000年、平成12年 5 月31日までに建築された木造住宅に拡大をするものでございます。

歳入は、国庫補助金 2 分の 1、県補助金 4 分の 1 が充当されます。

同じく、同じ表の下から 2 行目です。空家等対策関連委託料 1,209 万 3,000 円は、空き家の実態を把握するための調査業務を委託するものであり、皆増でございます。

歳入は、国庫補助金 2 分の 1 が充当されます。

引き続き 107 ページをお開きください。

右の説明欄 2 行目、街区境界調査業務委託料 919 万 6,000 円は、道路や水路等と接する土地について、所有者と地番の調査や測量を行う新たな取組であり、皆増でございます。

歳入は、県の補助金として 4 分の 3、内訳は、国が 2 分の 1、県が 4 分の 1、これが充当されます。

同じページの 5 行目になります。住宅・建築物安全ストック形成事業補助金 2,000 万円は、木造住宅耐震改修工事費、耐震性のない木造住宅除去費及びシェルター設置に対する補助費用です。令和 8 年度より耐震シェルター設置補助上限を 30 万円より 50 万円とし、かつ、補助世帯を 65 歳、いわゆる高齢者、障がい者世帯から全世帯とし、かつ、耐震診断判定値を 0.4 未満を 1.0 未満に引き上げるものとします。

歳入は、国庫補助金 2 分の 1、県補助金は、一部を除き 4 分の 1 が充当されます。

続きまして、その同じページの最下段です。街路事業費 2 億 8,004 万 3,200 円は、2 億 5,632 万 8,000 円の増額となります。右側、街路事務事業のうち、説明欄の真ん中辺りです、調査測量設計等委託料 6,608 万 9,000 円は、主に平手豊明線、大根若王子線の未着手区間に係る道路予備設計業務委託料でございます。

同じく、下から 2 行目、街路用地購入費 1 億 3,420 万及び次のページの 1 行目、移転補償費 7,953 万円は、都市計画道路桜か丘沓掛線の沓掛町内延伸区間に係る用地取得費及び建物の移転補償費で、いずれも皆増です。

歳入は、国庫補助金 2 分の 1 が充当されます。

引き続き、108 ページをお願いいたします。

下の段の公園事業費 1 億 9,647 万 6,000 円は、8,779 万 3,000 円の減額となります。右側の下から 3 段目、公園施設改修事業は、6,106 万円のうち、右側の説明欄の 2 行目になります、公園施設改修工事費 5,909 万 8,000 円は、主に石塚公園のリノベーション整備工事、公園遊具長寿命化対策工事並びに坂畑公園の人道橋撤去工事になります。

歳入は、公園遊具長寿命化対策工事においては、補助対象事業費に対して市町村土木補助事業補助金が 10 分の 3 充当されます。

また、人道橋撤去工事に対しては、公共施設建設及び整備基金繰入金へ充当されます。

その下の段です。公園施設維持管理事業 1 億 3,057 万 4,000 円のうち、説明欄、下から 2

行目、指定管理料 1 億 1,595 万円は、都市公園に係る維持管理保全修繕に要する指定管理料であり、5 年間の管理期間における最終年度となります。

最後に、歳入について御説明をいたします。失礼しました、最後に、地方債について御説明をいたします。

7 ページをお開きください。

下の表、真ん中辺りの段、公園整備事業 1,310 万円は、公園整備事業のうち、公園遊具長寿命化対策事業に充当するもので、充当率 90% でございます。

その下の段、桜ヶ丘沓掛線改良事業 2,880 万円は、充当率 90% のものでございます。

以上で、都市計画課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 青山下水道課長。

○下水道課長（青山康德君） 下水道課所管分について御説明いたします。

予算書の 109 ページを御覧ください。

5 目 都市下水路費、下水道事業会計繰出事業は、2 億 2,959 万 4,000 円で、前年度比 2 億 4,911 万 6,000 円の減です。その内訳は、説明欄、他会計負担金 1 億 4,102 万 5,000 円が基準内繰出で、下水道事業会計の 3 条予算と 4 条予算へ繰り出します。

他会計補助金 8,856 万 9,000 円は、3 条予算へ繰り出すものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

8 款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 予算書 104 ページ、真ん中よりちょい下、道路新設改良舗装工事費、この中に大原池の歩道ということでありました。あと、資料 3 の 7、ありがとうございます。額も額なんですけども、これを歩道を設置するに至ったそのいきさつ、並びに、どういった形で工事されるのか、お願いいたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） もともと区長要望で、車道が狭い、歩道がないということで、ここ、通学路にもなっておりまして、整備をとということで地元要望いただきました。

池の耐震工事などでお待たせしましたけども、鵜飼委員をはじめまして、地元の方から御尽力いただきまして、ちょっと待っていただいて、今回、事業化できましたけども、まず、8 年度は、南のほうから歩道を設置してまいります。資料の図面、小さくて分かりに

くいんですけども、池側のほうに2.5メートルほどの幅の歩道を張り出しで設置する予定をしております。8年、9年度で完了する予定をしております。

以上です。

(分かりました、よく分かりましたの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、令和8年度が2,466万2,000円というところで、それが、この8年度実施部分だと思うんですけど、9年度以降もあるんですよね。これ、総額では、どれぐらいになるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 重点事業として実施計画で上げておりますけども、8年度で約6割を終わる、完了させる予定をしております。残りの4割、額でいうと、そうですね、9年度にも予算を、実施計画を見ていただくと、9年度の予算で上がっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 同じく、予算書の104ページの道路管理事業の3つ目の物件移転等補償費200万ですけども、この補償対象となる物件の内容と補償件数を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これは、その1段上の用地購入費にもかかるんですけども、名古屋岡崎線の用地を取得した場合、補償しなきゃいけないものに対する予算であります。概算でございまして、具体的な見積りというかそういうものはありませんが、土地に対する、この二本立てで補償費と予算を上げさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書、同じく104ページの上から6段目、道路等維持作業委託料1億4,900万。これっていうのは、先ほどの説明で樹木の伐採だとか草刈りと言っていたんですが、昨年よりも700万ぐらい上がってると思うんですけども、草刈り王子としては、これの上がってる理由を聞きたいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 率で行くと5%上昇しておりますが、人件費、委託料ですの
で主に人件費でございますので、そういった上昇分でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございません。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 市民の方でね、これ、草刈りを結構一生懸命頑張ってる人がいると
思うんですけども。

（自分のことなんじゃないの声あり）

○いとうひろし委員 おると思うんですけども、その辺は、少しは金額は押さえられてる
んでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） いとう委員をはじめまして、大変ということかと思えますけ
ど、予算としては、昨年度、草刈り、1億4,000万、4,900万あるうちの5,700万ぐらいが草
刈りの費用として見てるんですけども、年3回やるとも含めて、昨年より、これ自体も
5%ぐらい増えた見積りなんですけども、予算としては、やっていただいてあるのを減ら
したとかそういうところは見えてないんですけど、今後はちょっと精査して、もう王子さん
のボランティアでやっていただくようなところは省けて、予算の削減できたらと考えてお
ります。

以上です。

（ありがとうございますの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 いいですか、予算書106ページです。木造住宅耐震診断委託料、これ、先
ほどの説明だと、新耐震基準から2000年基準の手前ですか、それが追加されたということ
なんですけども、これは何かそういった指導とかがあったからこういうふうに、要は、つ
けたのか、どうなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 愛知県のほうより各市町村に、愛知県が考えていますという中で、導入しませんかということが、まず、ありました。我々のほうにも窓口にそういうお声も少しありますので、そのあたり含めて考えたものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の木造耐震の委託料のところですけども、旧耐震から2000年基準も含めてということなんですけども、対象となる物件の件数とかっていうのは分かりますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） この件数、分かります。

答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先般、対象の件数が耐震化されてるか、されてないかは分からないんですが、先般、一般質問で出たときに、年代別の件数は、お答えをさせていただいたという認識をしております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 すみません、先ほどの私の聞いた関連で、104ページの道路管理事業の補償費200万ですけど、先ほど、名古屋岡崎線ということですけども、具体的に、そのエリアと、そのできれば面積ですとか取得予定件数がもし分かれば、お願いいたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） エリアとしましては、名古屋岡崎線のあと残り僅かとなっておりますけど、豊明中央工区といいまして、沓掛地区、上高根地区から勅使につながる路線、予定路線でございます。筆数とか面積というのも、まだ全くの概算で、予算として計上させていただいただけで、はっきりは分かっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の104ページの道路維持管理事業の一番下の諸負担金というの

が3,878万か、あるんです。これの内訳とか、教えていただきたい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ごめんなさい、104ページ、頭、中段の諸負担金ですか。

○こんどうのぶお委員 道路維持管理事業の一番下の諸負担金。

（道路維持事業、これだねの声あり）

○こんどうのぶお委員 道路維持事業だね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 分かりますか。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと待ってくださいよ……。

（一番上のここだの声あり）

○土木課長（外山紀元君） そうですね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） もう一回、こんどう委員。

いい、分かりました。

（ちょっと待ってくださいね。ちょっと字が小さくて見えんの声あり）

（事業1の声あり）

（これはですねの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これは、ごめんなさい、実計事業でもありますけど、橋梁修繕の工事の刈谷市と境川に架かる橋は、共同で維持管理、工事をしておりまして、今回、刈谷市にお支払いする負担金、これが3,800万円ほどで、あとは、橋梁の点検講習等の負担金を加えたものが、ここに上げさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 同じ104ページの道路新設改良舗装工事1億9,400万円のうち、区長要望工事の充てられてる割合と、要望件数とか、積み残しとか、件数、分かればお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 資料としては、資料ナンバー2、⑭で発注予定の一覧を載せさせていただきました……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） よろしいですか。

○土木課長（外山紀元君） 8年度については、区長要望と管理者施工の割合、資料のとおりにんですが、管理者施工も、もともとは区長要望でございまして、残りというのが、6年度要望ぐらいまでは、もう全て終わっております。直近3年ぐらいのものを管理者施工としたり、区長要望の残りとしたりして、ちょっと数については、申し訳ありません、ほかの資料で、ちょっと手元にございませぬ。失礼します。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

郷右近 修議員。

○郷右近 修委員 予算の概要の18ページの62番、平手豊明線改良事業の6,000万円を算出するに当たって、確認をしたくて、都市計画道路の位置づけを確認したくて、都市計画道路の建設実施から除外する区間については、都市計画そのものからは消えてないけど、実施はしないというそういう考えで、この金額を算出するっていうことでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認で、今のところの概要の18ページの61、62で桜ヶ丘沓掛線と平手豊明線で、これは、予算書でいうと107ページの下の調査測量のところが、この中に平手豊明線だとか全部入っているのかということと、あと、この桜ヶ丘沓掛線のほうが、この2億1,900万というのが、結構あっちこっちに飛んでるような気がするのですが、これが、どこに、入っているのかというのをちょっと確認させてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 1点目につきましては、委員のおっしゃるとおりでございます。

2点目の御質問、少し意味を私のほうが受け止め切れてないんですが、桜ヶ丘、2億1,000万というのは、桜ヶ丘沓掛線の名古屋岡崎線までの沓掛町内の延伸区間、320メートル分のところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員　そういうことではなくて、この2億1,900万というのが、この予算書の中のどれで構成されてるのかっていうのを、ちょっと確認したいんですけど。

(これ、さっき説明したと思ったんだけどの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　2億1,000万が。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　よろしいでしょうか。

先ほど、少し御説明をしたと思うんですが、すみません、もう一度説明いたします。

107ページが一番下から2行目、街路の用地購入費1億3,420万、それと、次のページ、108ページの1行目の建物移転補償費7,953万円、この2つで構成されておるものでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかに。

青木委員。

○青木けんじ委員　いいですかね。

当初予算の概要の18ページの項目で68、人道橋撤去事業ということで、坂畑公園の人道橋が、坂畑公園の横にある皆瀬川のところの人道橋撤去と思うんですが、これは、完全にもうなくなるという撤去工事なんですか。そのほか、附帯する工事はあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　委員のおっしゃるとおり、完全になくなる撤去工事でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　予算書の104ページの……。

(マイクはマイクはの声あり)

○ふじえ真理子委員　7番。

(さっき説明したなの声あり)

(7番もしたねの声あり)

(してますの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、ついた。

○ふじえ真理子委員 ついた。ありがとうございます。

予算書の104ページの一番下、交通安全施設整備工事費3,300万で、資料ありがとうございます。その中の通学路交通安全プログラムということで、資料ナンバー1の⑤を見ているわけですが、まず、ここで見てくと、令和8年度、小学校5つの学校が挙がっているんですけども、これ、ほかの小学校は、もう既に、そのプログラムに従って完了してるという理解でいいんでしょうかということと、この表の合同点検出席者っていうところで、学校教育課、防災防犯対策課、土木課、愛知警察署とあるんですが、これ、学校の関係者、先生だとか保護者だとか、子どもだとかっていうところからは、点検は加わっていないんでしょうか、すみません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、1点目、対策が済んでるかというところは、資料の対策の検討というところに、緊急で、例えば、照明が切れてるとかそういうものは対応したものがございます。8年度内、9年度内、対策予定時期というのが欄があると思うんですけども、この中、8年度内で二村台小学校の対策、この予算を充てるのは、ここになるんですけども、こちらは二村台小学校付近を予定しております。

2点目が何だったかな……。2点目が……。

（点検の声あり）

○土木課長（外山紀元君） 点検、そうですね、学校教育課の職員さんと、もともとは学校からの要望、通学路、生徒、本を正せば、生徒から、親御さんからの要望なんですけども、学校からの要望をリストに挙げて、こういった学校教育課ですとか、土木課で、警察も交えて一緒に点検しております。

以上です。

（確認だけの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 そうしますと、この確認で、令和8年度は二村台小、令和9年度で全て完了する、もちろん突発的な緊急のはあるんですが、こういったその計画的にというのは、令和9年度で一応終了するっていう理解でいいんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） この令和7年度に点検した結果に対する対策というのは終わるんですけども、絶えず違う小学校、また、毎年点検に入ってきますので、ずっと続きま

す。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算104ページの道路維持事業の右側説明欄の道路等維持修繕工事費、この中に橋梁点検が含まれてると先ほど説明があったんですが、橋梁点検の部分は、幾らで、どれぐらい、何か所やってるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 今、すみません、橋梁点検……、調査測量設計等委託料に入ってよろしかった……。

（そっちです、すみませんの声あり）

○土木課長（外山紀元君） 調査測量設計等委託料1,911万のうち、橋梁点検、今年は5橋を予定……。今年といいますか8年度は5か所、1,242万8,000円ほどを見込んでおります。

橋の橋梁の補修設計というのが6,700万円ほど予定しておりますので、ほぼ、そうですね、これだけです。このための予算でございます。

（このための予算ねの声あり）

○土木課長（外山紀元君） はい。

（分かりましたの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今と同じところが多分資料3の4で出ていると思うんですけども、新正戸橋ほかっていうようなことで、この橋、5つ、どの橋なのかというのを教えていただければ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ごめんなさいね。この5橋、5個の橋ですけども、ちょっと待って……。まず、新正戸橋、正戸川に架かる橋ですけども、あと、新左山跨道橋、あと、大代の上橋と下橋があるんですけど、大代のその2橋でございます。あと、泉橋といいまして沓掛にある橋でございます。ほぼ同規模のものを選定してるということになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 104ページの真ん中の道路新設改良事業の先ほどの資料2の14なんですけど、その中の12番から25番が区長要望ということなんですけど……。

よろしいですか。

(はいの声あり)

○こんどうのぶお委員 その中で区長要望、これって、どういった順番でやるのか。上からやるのか、その辺の順番って、どういうふうに考えてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） どれからというのはないんですけども、地元要望に対して、一応、官民境界確認とか工事説明を地元にして設計を固めてまいりますので、それまで終わってるものも数点ありますので、1年間、何ですかね、分散して発注できるようにはやっていきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと都市計画のほうに。

資料のナンバー6の⑤、ありがとうございました。公園のリノベーションの関係で、予算書で行くと108ページの真ん中辺りの公園施設改修工事費になるかと思えますけども、資料を見て、よく分かったんですけども、石塚公園を今回リノベーションとして選ぶ理由を聞いたかったんですが、多分、今までやってないからかなと思うんですが、あと、今回で、たしかリノベーションが終了するというようなことを、たしか公言されてたと思うんですけど、これまでにそのリノベーションをできなかったところ、してなかったところ、要件としては、設置後30年経過してるとか、街区公園だっという要件がありますけど、できなかったところをお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 御質問のほう、まず、ごめんなさい、もう一度、2問目、2問あるということですよ。

(そうですの声あり)

○都市計画課長（中田勝次君） ごめんなさい、もう一度、1問目と2問目、ごめんなさい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 1問目は、石塚公園を選んだ理由っていうようなことで。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） もともと石塚公園を順番として予定をしていたということでございます。

次、2番目、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 2番目は、今まで、今回でリノベーション工事は最終年にするというようなことを公言されていまして、リノベーションができなかった公園、この用途に当てはまるけども、できなかったところがあれば、教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ちょっと、どこの公園っていうのは承知はしてないんですが、資料請求で出させていただいた表以外で区画整理で設けた公園がまだされてないところがございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の108ページです。2番目の公園施設改修事業の上段、調査測量設計等委託料196万2,000円の対象となる公園と委託の内容、業務委託の内容をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） こちらは、坂畑公園の人道橋撤去工事の関連のものでございます。

関連のもので何をしますかっていうのは、県に、これからの協議用の資料を作成していく中で、こちらの協議用の資料を作成する業務委託をする費用でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、概要の18ページ、62番の平手豊明線のところですけども、これは、6,000万の予備設計というのは、今、途中の平手豊明線のところから名古屋市のところに入るまでの全てのところで、大根若王子線との交差点とか、そういうのも含めて、

まず、設計するという考えですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 内容は、資料の1の6の2番を御覧いただければと思いますが、今、お話があったとおり、平手豊明線は、名古屋市境から、この二村台小学校の未整備区間で大根若王子は、今、ある救急車の出入り口になっているところから、この交差点までということになっております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 大根若王子線の北側のほうは廃止でT字路にするということなんですけど、これは、以前、交通量の調査をされてたと思うんですけども、どういうその調査結果で、結局、ここ、廃止にするということは、あんまり通る交通量がないという判断なのか、どういうふうに出てますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今年度、交通量の解析をいたしまして、その中で、今、委員からおっしゃられた区間につきましては、1日3,000台、約3,000台ですという結果が出ておる。これ、多いか少ないかは見る向きはいろいろあるんですが、この造る事業費やいろんな要素からすると、設けてまで、造ってまでというのはどうかという判断でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 107ページの上の段ですけど、8個目ぐらいですかね、親との同居・近居購入費補助金ってあるんですが、これは半減してると思うんですけど、今回、何件分ぐらいの予定でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 親との同居・近居ですね、令和8年度で事業は終了いたしますので、予算としては、この額でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 で、その終わりにする理由は何でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 終わりにする理由なのですが、以前も予算特別委員会、昨年も答弁はさせていただいたという記憶はしているんですが、豊明市への転出抑制や他の自治体からの転入の促進ということを目的に、開始以降、やってきました。平成28年以降。一定の目的の効果はあったと認識はしておりますが、実際、豊明市以外から転入されてこられる方の数も、パーセンテージとしてかなり落ちてきたということでございます。その中で、新たなまちづくりを、やることをやっていこうということで、今回、終了させていただくということでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書109ページ、緑化対策事業のところでございます。ここの下から2番目、都市緑化推進事業補助金100万円ですけど、これ、前回より半減してると思うんですが、何か御協力いただける方が、そんなに芳しくなかったとか、そういった理由でございましょうか。お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先般の補正予算のときも2件相当で申請ありませんでしたということでございましたので、まずは、今年度は1件からということにさせていただきました。

以上です。

（了解ですの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、訂正させてください。武谷委員から御質問いただきました区長要望の積み残しはというところで、私、6年度までの要望はほぼ済んでるということをお答えしたと思うんですけども、4年度、5年度の事業の区長要望については、この8年度予算でもう終わらせる予定をしておりますして、6年度につきましては、まだ数か所残りますが、この区長要望を増額いただいて、6年度もほぼ終わらせれるような形で工事を出していきたいと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の109ページの真ん中のところで、地域花いっぱい運動補助金、今、何団体になるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 大丈夫ですか、中田課長、聞こえてた。

（はいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 少しお待ちください。

よろしいでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 計9区、9団体でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） そろそろいい時間になりますけど、まだありますか。まだまだありますか。

それでは、ここで午後1時まで、昼食のため休憩といたします。

午後零時休憩

午後1時再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

8款 土木費について質疑のある方、挙手願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、3点、不足というかを補足させてください。不足ありましたので、補足をさせていただきます。

まず、1点目なんですが、先ほどの林委員からだったと思うんですが、桜ヶ丘沓掛線の事業費の中にどれとどれとどれが含まれてますかっていうことで、私は用地費と土地、建物補償費だけを述べてしまったんですが、委託料の中にも、約600万円、3件ほどが含まれておりました。申し訳ございません。これが1点目です。

よろしいでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） はい。

○都市計画課長（中田勝次君） 2点目です。2点目は、清水委員から御質問があったリノベーションができていなかった公園なんですけど、これ、都市計画決定された都市公園かつ設置後30年経過したもののくくりの中で、今から5公園、読み上げます。郷中公園、

えびす公園、西川公園、横井公園及び笹原公園。以上の5公園でございます。

もう一点、よろしいでしょうか。3点目行きます。

林委員から御質問があった木造住宅の耐震性のない住宅がどういうくくりで何件ぐらいあるかという御質問だったと思うんですが、まず、旧耐震、昭和56年以前の旧耐震は、耐震性のないものは、木造住宅で約1,500件ほど、推計で想定をしております。

新耐震のくくりでは、ちょっと件数を出しておりませんで、こちらは不明でございます。

失礼しました。3点でございます。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 質疑のある方、挙手願います。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて……。

(はいの声)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の107ページの上から2つ目の街区境界調査業務委託料で、これ、新規で上がってということで説明あったんですけど、道路とか水路等に接する部分というような話がありましたけど、これ、なぜ新規でこうやって上げてきてるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） こちらは、最終的には災害時とかに利用したいということでございますが、この街区調査区間、地籍調査などが全く進んでいないところ、なおかつ、道路だとか狭隘道路だとか水路が混在しているところというのが実際あります。なおかつ、愛知県が、この地籍調査とかこういう調査物が全国最下位ということで県のほうからも進めていってほしいというアナウンスが再三再四ありまして、今回、新規で進めていきたいとこちらとも思いまして予算を計上した次第でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと分かりにくかったんですけど、具体的に例えばどういうところを想定されてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 場所のまず調査範囲を先に述べさせていただきたいと思えます。阿野町林ノ内の一部及び西ノ海戸の一部でございます。

エリア選定の理由としましては、水害のハザードマップにおける浸水深3メートル以上だとか、緊急輸送道路、1号線沿いなんですけど、このエリアのうちに建物が密集していて道路の面整備がされていなく狭隘道路が多く存在するエリアということで、まず、ここ、選定をした次第でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは、その境界をそういうふうにして明確に調査をして、どうするんですか。調査、区画整理された形で出ますよね、境界の調査結果が、その後、どうされるんです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 本件は、あくまでも街区境界調査ということで、道路、水路や民地のところの境界の調査でございます。目的としまして、最終的には災害時における土地利用や防災復旧計画、道路のインフラ整備とか狭隘道路の解消に活用することを期待して計上しております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 103ページの道路台帳管理、道路台帳修正業務委託料ですか、960万ほど、これの委託先と、あと、どういったところを台帳修正してくっていうか、その辺をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） どういうことというか、今後、入札によって、こういった作業ができる業者を指名選定して発注する予定です。

内容としましては、道路台帳、紙での台帳もありますし、カウンターにある電子的な台帳もございます。その台帳図面を改修したり、あと、路線網図といいまして認定路線等を描いた網図を修正する、そういった内容となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の109ページの一番下、有料駐車場維持管理事業のところです。去年のよりちょっただけ増えてはいるんですけども、これ、調べていったら、そ

の月極の駐車場で稼働率が100%ぐらいに近いのかなっていうのがあるんですが、これ、もうすごくその駅前ってことで、ずっとその新規で借りてるっていう場合はあるんで、もうずっと過去のずっと継続で、その空きを待ってる状態っていうふうですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委員おっしゃるとおり、空きを待ってる状態で、たまに空きますので、そこへ優先で待ってる方を当てはめていってってということで、今、100%充足してるという状態でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

局長。

○議会事務局長（加藤健治君） ごめんなさい、事務局から、1点、訂正と資料追加のお知らせです。

資料ナンバーの1の6の2というものを、Side Booksにアップし忘れておりました。大変申し訳ございません。令和8年調査測量設計等委託料のうち、平手豊明線道路改良事業関係、道路予備設計業務委託の資料を、今、アップしましたので、大変申し訳ございませんでした。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） もう今、アップされてるんですか。

○議会事務局長（加藤健治君） アップしてます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 今、アップされてるということですので、御確認ください。

（はいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 105ページの真ん中辺の河川新設改良事務事業の雨水貯水施設設置補助金、これは何件分でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 実績等から5件ほどの予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 終わりました。

○土木課長（外山紀元君） はい。以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど追加された資料ナンバー１の⑥の２、大根平手豊明線の予備設計の6,000万、これ、今、地図を開いてるんですけども、要は、ここに書いてあるブルーの擁壁予備設計、茶色の地質調査、あと、緑の測量業務、これを３つ……。あと、何だ……。交差点の予備設計、これ、合わせて6,000万っていうふうでいいんですかね。ごめんなさい、確認です。まだあるか。調整池。調整池の予備設計も書いてあるか。この6,000万の委託料のその内訳で資料を出していただいたブルーの擁壁予備設計、茶色の地質調査、緑色の交差点予備設計、赤いのは道路か、あと、調整池も何かできるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） え……。

○ふじえ真理子委員 確認です。

（教えてくださいでいいんだの声あり）

○ふじえ真理子委員 その6,000万の。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答えられますか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今、お話がありましたとおり、すみません、私、先ほど、ちょっと資料がない中でお話しをしまして失礼いたしました。

今、お話があったような形で、ここに図面に表記させていただく業務の積上げで6,000万ということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございますか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 103ページの一番下の道路賠償金なんですけど、これは、どういったもので、使用したこととかあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 道路の瑕疵によって事故が起きたりして道路管理者が賠償金払う場合のための予算でございますが、ここ数年は、使用した実績はございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの資料ナンバー１の６の２で平手豊明線のところですけど

も、まず、平手豊明線の、何ていうんですかね、南側のところは、ちょっと一部緑地帯もあったような気がするんですけど、そこを削ってくようなイメージなのかということと、あと、これ、結構傾斜があるような気がするんですけども、二村山側のほうには何か擁壁とかそういうふうなイメージをされてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今回は、あくまで道路予備設計でございまして、まだこれから続く詳細設計ではございませんので、どこに擁壁ができるとかいうことはございませんが、のり面にしろ、擁壁にしろ、何か限定するものじゃなく、いろんな可能性を考えて進めていきたいと思っています。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） まだはっきり言えないということですね。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ただ、この西側のほうの藤田学園のほう、こっちは、もう擁壁ができるっていうふうに書いてあるんですよ。そこは、もう予想してできると。南側のほうもそうなのかなと思ったんですけど、そこは、できるかもしれないし、できないかもしれないっていう、そんな、今、状況っていう、理解すればいいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答えられますかね。もし想定だったら想定で。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） あくまで想定で進めさせていただいております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の105ページの河川新設改良事務事業の一番下の雨水貯留施設設置補助金20万5,000円ですが、これは、どういったものかというのと、あとは、何件分、これ……。

（それ、さっき聞いたの声あり）

○浅井たかお委員 失礼しました。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと先ほどの平手豊明線の回答がちょっと分からなかったんで

すけども、結局、二村山のほうは、まだ分からないということですかね、というふうに、
で理解していいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　そういうことです。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　委員の今の御見識のとおりでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　違うところ、予算書の107ページの住宅建設のストック形成の補助金で、先ほど、その木造住宅のところで旧耐震が1,500件ほどということで、これは、2000年基準を含んでないようなというふうに理解しましたけども、ただ、この耐震診断のほうは2000年基準を含めてできるんですけど、こっちの耐震化のほうは、それは対象になってないんですか。

それと、何か説明の中で、耐震基準が、その枠がちょっと広がったといいますか、数値がちょっと対象が広がったっていうふうに聞いたんですけど、そのあたり、ちょっと説明、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　答弁願います。

（1点の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君）　失礼しました。

1点目の件に、これは恐らく耐震化というのは、耐震改修のほうは、1981年以降、2000年まではどうなのかという御質問でよろしかったでしょうか。

（はいの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君）　これにつきましては、県のほうも進めていたようなんですけど、最終的に現時点では耐震診断だけという形になって、改修は、その分の県の補助がなかったので、こちらとしても、まだ取り組んでないということでございます。

すみません、2点目の件は、どのように……。もう一度、ちょっと、すみません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　ほかにございませんか。

（今の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　ただ、対象の基準が少し変わったというような話もあったんですけども、それは、どういうふうに変ったんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、耐震の基準というのが、どのことが……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） どういうこと。

林委員。

さっきの、なしでね。今、答えてる最中だったんで。

（すみませんの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 耐震の基準というのは、耐震診断のことなのか、シェルターのことなのか。

（シェルターのほうですねの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） シェルターのことでよろしいですね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） シェルターの件につきましては、今回、例えば、金額も上げました、上限も上げました。高齢者や障がい者というくくりはなく全世帯対象で、もう一つは、0.4未満という基準を1.0未満というものに引き上げました。このあたりは、耐震化がなかなか、ここまでなってくると進みにくいということもあると同時に、減災化を進めたいというところもありまして、今回、引上げをさせていただいたということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっともしかしたら聞き逃しちゃったかもしれないんですけど、その耐震化は、これ、何件分で上がってるのかということと、先ほど、1,500件、そういった旧耐震があるという、言ってたんですけども、今回の、どのぐらい進む考えなんでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 耐震改修補助費が何件かっていうことでいいですか。

（はいの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） これは、今年度の実績にも鑑みて、8年度は10件、計上しております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどは失礼しました。

105ページの雨水の貯留施設の件で、この20万5,000円、同じこのサイズというのは5件分って御回答あったみたいですけど、これは、サイズですね、その貯留施設の大きさ、容量というのは、決まっているのかどうかっていうことと、それから、もし決まっていなければ、最大どれぐらいの補助率っていうか補助額なのかっていうのを教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 補助対象施設につきましては数種類あるんですけど、多いものは雨水タンク、それから、透水性舗装といったところになります。雨水タンクでいいますと、100リッター以上の貯留容量のものが補助対象で100リッター当たり1万5,000円、または、設置費用の3分の2で、上限は15万円となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ予算書105ページの田んぼダムのところ。95万4,000円ということで、昨年度の当初よりは減らして、実績に応じたのかなと思うんですが、この積算の根拠、お願いしたいんです。何か調整板、私、見せてもらったんですけど、木の焼き印、のぶながくんの焼き印された何か調整板が、もう木でできてたんですけど、その費用ですか。ちょっと95万4,000円の中身と、あと、令和8年度の、どのぐらい、何か所っていうのか筆数。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委員のおっしゃる堰板につきましては、委託のほうで、その上の委託料で作成しております。

この対策事業補助金というのは、市から個人に設置していただいた方に補助を出す費用でございます。95万4,000円は、20筆を想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の田んぼダムで20筆ということと、今年度までで、たしか補正のときに76件ほど進んでるというような説明ありましたが、これ、目標値が220ヘクタールってということで、今回のこの20筆と今年度の75件全部合わせてどのぐらいの広

さで、これ、できる予定なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） おっしゃるとおり最終目標は220ヘクタール、市の面積でいえば、10分の1ぐらいの面積になるんですけど、現在、6、7年度で実施したのは11万平方メートル。ちょっと分かりにくいんですけど、30年ぐらいかけて全部進めればという当初のシミュレーションのときには、そういった想定であります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 106ページ、下から2番目、空家等対策関連委託料なんですけど、この委託先と、あと、対策、空家等っていうことで、空き家以外にあるの、何を指すのかと、あと、対策関連は、どういったことをやってくのか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、御質問、3問いただいたのかなと思っておりますが、まず、等に関しましては、空き家等対策というのは、単に空き家かどうかちょっと不明なものも含めてということでございますので、そこでちょっと等という表現をさせていただいてるということでございます。

委託先は、通常のこういう測量等を行うコンサルタントを予定をしております。

中身、失礼しました。中身に関しましては、現地調査、約1,250件ほどの現地調査、あと、新しくマンションの管理実態調査も行うことになっております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 戻ってごめんなさい。田んぼダム、105ページの田んぼダムで、先ほどの御答弁で30年かけてっていうのは、初めて30という数字、聞いたんですが、間違いないですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 想定では30年ですが、今、220ヘクタールというと、平米に換算すると220万平米なんです。今、11万平米終わってるんで、約20分の1……。20分の1です。20分の1、終わってる形です。このペースで行けば20年で終わるんですけども、ペ

ースをちょっと下げておりますので、30年。当初の計画ちょっと出てないかもしれないですけど、30年ぐらいかけて地域全体をやろうということで目標を立ててやっておりますので、そういった計画でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの空家等対策関連委託料で現地調査とかマンションの調査ということなんですけど、結局、この委託料のアウトプットとしては、どういうものが出て、それをどのように生かしていくんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、空き家の抽出につきましては、例えば、給水台帳などによる抽出をすとか、課税台帳などによって建物を抽出すると。その中で、現地調査としましては、道路からとなりますが、いろいろ電気メーターやカーテンがあるか、雨戸が閉まっているか、開いてるか、あとは、草木の繁茂など、実態で住調査、あとは、建物の傾きとか老朽度具合で住調査ということで、まず、調査票を埋めていきます。その調査結果を基に、これは、翌年度、再来年度、令和9年に空き家の第2次空家等対策計画を策定していきますので、これのバックデータということになります。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 107ページの一番上の段の一番下が、また、これ、空家等対策推進事業ということで補助金、これは実際に空き家で、これと今の委託と、どういう関連があるのかなという。

あと、この事業、何件ぐらいたる予定なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 御質問のあった空き家の300万ですかね、予算としては、こちらに関しては、実際、除却するための補助金を出しておりまして、件数は6件でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書108ページの、二村山緑地整備事業のところの説明欄のところ、樹木剪定・草刈委託料ってあるんですね。これは、どこの、こういったところに、これは委託してるんでしょうか。

(いとうさんに任せたらの声あり)

(よろしいでしょうかの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、幾つか分かれてる……。

よろしいでしょうか。

幾つか分かれてるんですけど、1つはシルバーさんに委託をしています。ほかには、造園業者さん、造園業者の会社のほうに委託をしています。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの2つ下の公園施設維持管理工事費50万、これは、こういった工事を予定してるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 主に二村山緑地の中の散策路等の改修工事を予定をしています。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 105ページの下の方の雨水貯留施設の、先ほど、ちょっと説明があって、ちょっと聞き漏らしちゃったかもしれないんですが、昨年度、令和7年度と比べると増額してるんですけど、実績としてどれぐらいあって、これ、増額したのは、何か中身が変わるんですしたっけ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 件数でいきますと、令和5年度実績は1件、6年度は4件、7年度、5件だったんです。昨年度、予算を組むときには、令和5年度の実績1件で、1件だったので、12万の7年度予算は予算だったんですけど、6年度の実績を見ますと20万4,000円ほどございましたので、今年度の予算は、6年度の実績から21万という形……、20万5,000円にさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書108ページの公園事務事業の都市公園等指定管理者審査委員会委員報酬が、今、13万4,000円になってるんですが、昨年を見ると1万5,000円なんですね。この増額した理由を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 指定管理者選定委員会をあくまで行いう場合の報酬費をあらかじめ計上させていただいております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） まだ大分あります。審査に大きく影響しますか。

（もう少し、もう少しですの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） もう一つね。

（もう少しの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 108ページの公園の施設維持管理で、この中の樹木剪定と草刈り等委託料で、これ、1,000万近くあると。指定管理の契約の外だと思うんですけども、今回は、こういったものが契約外でやるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ちょっと契約外ということではないんですが、少し御説明をさせていただきます。

まずは、西大根及び仙人塚の市民緑地のいわゆる市民緑地管理2か所分、それと、樹木の伐採後の補植などを含めた樹木伐採補植というものと、あとは、指定管理に含まれておりません寺池、新しくできます寺池の公園、区画整理内の公園、あとは、柿ノ木の緩衝緑地、こちらが指定管理に入っておりませんので、こちらの公園管理、この3本立てで970万っていうことでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 108ページの先ほどの都市公園等の指定管理審査委員会の委員なんですけど、これの増額要因と、あと、人員の構成は、どうなってますか。

(要因は言ったよねの声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 言ったよね。

○こんどうのぶお委員 増額要因、言ってないよ。

(いや、いや、いや、開催するんだからの話でしょうの声あり)

(そう、そう、そう、言ったの声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) もういいわ。

中田課長。

○都市計画課長(中田勝次君) 人数の構成だけお話しをさせていただきます。する場合がありますが、委員長1名、委員2名を予定しております。

終わります。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の入替えのため、暫時休憩といたします。

午後1時28分休憩

午後1時32分再開

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、9款 消防費について説明を願います。

中野防災防犯対策課長、どうぞ。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) それでは、9款 消防費について、歳出から御説明いたします。

予算書の110ページをお願いいたします。

常備消防活動事業の説明欄の一番下、尾三消防組合負担金は、前年と比較し8,631万7,000円の増額となっております。主な要因としましては、尾三消防組合の歳出が約7億円増額となっているためです。

続きまして、111ページをお開きください。

ページ中程、消防施設設置事業、説明欄、防火水槽新設等工事費は、耐震性貯水槽を桜ヶ丘公園に設置するものです。

同じページの消防施設維持管理事業、説明欄5行目、消火栓維持管理負担金は、消火栓の維持管理をしています中部水道企業団への負担金になります。前年比と比べ1,705万3,000円の増加となっています。主な要因としては、水道管本管の布設がえに伴う立上り

消火栓と地下式消火栓の取替え工事によるものです。

続きまして、112ページをお願いいたします。

災害対策事務事業、説明欄、下から6行目、地震被害想定業務委託料は、南海トラフ巨大地震における豊明市の最大震度予想が震度7に引き上げられたことに伴い被害想定を見直すものです。

続きまして、歳入について御説明いたします。

26ページをお願いいたします。

14款6目 消防費国庫補助金、説明欄、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金は、ブロック塀撤去事業費等補助金の国庫補助金になります。

その下、大規模災害対策支援補助金は、地震被害想定業務委託料の補助になります。

続きまして、35ページをお願いいたします。

15款8目 消防費県補助金、説明欄、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金は、ブロック塀撤去事業費等補助金の県補助金になります。

続きまして、36ページをお願いいたします。

説明欄、一番上、南海トラフ地震等対策事業費補助金は、防火水槽新設等工事費の補助金になります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 予算書110ページの非常備消防活動事業の消防団長等報酬とありますが、等って何を指すんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 消防団長等ということで、消防団長のほか、副団長、分団長、班長等が含まれております。

あと、こちらのほうには、報償金と、あと、出勤報償の費用が入っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 112ページの下の方ですけども、地震被害想定業務委託料の件ですけ

ども、どういう業者に委託をして、毎月のようにどういう情報をいただくのか、詳しく教えていただけますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、地質調査のコンサルタント業者に委託を出す予定をしております。

調査内容としましては、資料ナンバーの2の13番のほうに書いてあります。見ていただけますでしょうか。

（見えないんですよの声あり）

（見えないの声あり）

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうに、資料ナンバー2の13のほうに、ハザード被害予測として、地震動予測、液状化危険度予測等あります。あと、リスク被害予測としまして、建築物の被害、ブロック塀の倒壊危険度、火災の出火件数、焼失棟数など、そういったものが調査内容として上がっております。

あと、防災対策の効果としまして、災害シナリオの作成と、こういったものを委託を出す予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の地震被害の想定業務委託ということで、資料ナンバー2の13ですけども、この調査内容を見ますと、この中でも、例えば、帰宅困難者の対策とか、災害のシナリオ作成とか、これ、どっちかという市が考えないといけないことかなと思うんですけども、これも全部、委託で出しちゃうってことなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 委託で出す予定をしております。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（今のもう一度の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、調査結果が出ると、地域防災計画とか、避難所のマニュアルとか、そういったことも影響が出るような気がするんですけども、そこも併せて改正してくってという考えですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうの調査結果を基に地域防災計画の変更が必要なところは変更をするという、見直しをするということで考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の112ページです。災害対策事業の部分でブロック塀撤去等事業……。

（等はないですの声あり）

○鈴木智和委員 等はいいです。すみません、等はないです。

ブロック塀撤去事業費等……。

（等があるの声あり）

○鈴木智和委員 等、ありました。

補助金が、昨年度の当初予算より、かなり減額になってるんですけど、その要因を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こらのほうの申請の件数が、前年度、少なくなっておりますので、予算のほうを少なくしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書110ページです。先ほど、常備消防活動事業の一番下の尾三消防組合負担金9億5,000万円のところでございます。先ほど、増額が、歳出が増えたということで、この部分も毎年増額してると。実施計画書のほうでいうと25ページ、一番下の段があって、2026年、2027年、2028年とだんだん上がってきております。これ、上がってきてるの、その歳出増えたのって、この尾三消防の何っていうんですかね、新設っていうか、何か建て替えか何か、その部分で増額してるのか、それとも、また、全く別なのか、ちょっとお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 尾三消防署の歳出のほうで、来年度、再来年度で長

久手消防署のほうの大規模改修を行います。そちらのほうの予算が大きくなるということもありますし、あと、それ以降も大規模改修がありますので、それに備えて、それに準備しまして基金のほうの積立てをしておりますので、そちらのほうで、年々負担金等が増加してるということになっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー1の⑦が尾三の負担金の内訳ということで、資料、ありがとうございます。ここの中で主な増加要因で、先ほど説明のあった長久手消防署の大規模改修っていうふうにあるんですけども、まず、この長久手消防の大規模改修がどのくらいの費用がかかってるかというのと、基金の積立て、今後の改修でということなんですけど、それは、どういったものが予定されてるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 長久手消防の大規模改修につきましては、8年、9年の2か年で約6億円の工事費というふうになっております。来年度は、そのうちの4億円ということです。

その後の予定としましては、令和9年、10年で日進消防署のほうの庁舎と、あと、指令室の工事がありまして、その後、令和10年、11年で尾三消防本部のほうの庁舎の建て替えが入っております。それ以降も計画のほうでは新規大規模改修のほうが入っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 負担金の内訳で、上のところの変動項目の救急件数も、過去3年件数ということで増えてきてるんですけど、これ、ほかの尾三に入ってる市町よりも豊明がちょっと増えてるっていうことなんじゃないかな。その理由とか背景が分かれば、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 救急件数の増加につきましては、5市町の中で、やはり豊明市が、増加のパーセントとして28%ぐらいが一番多いような形になっております。藤田医科大学がありますので、その病院間の輸送ということもありまして、あと、高齢化がありますので……。

(高齢化なら、ほかでもないのの声あり)

○防災防犯対策課長(中野忠之君) 回数が増えてるというふうに考えております。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 112ページの先ほどの資料2の13なんですけど、これでちょっと見てまして、例えば、がけの危険度予測だとかブロック塀の倒壊危険度とか、こういうの、実際、現場見ないと何か分からないような気がするんで、そういった現場見て調査もするっていうことになるんでしょうか。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) こちらのほうは、現場を全て見ることはできませんので、統計ですとか、あとは、地形の状況を見て調査するような形になると思います。

以上です。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 調査期間は、どのぐらいになるんでしょうか。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 中野課長。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) こちらのほうは、7月頃契約しまして、2月末、3月上旬頃に完成予定を考えております。

以上です。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところです、地震被害想定見直し。そうしますと、この見直しで、市の職員さんの関わりっていうのは、全くなしでコンサルのほうに委託するのかっていうことと、これは、その県下ほかの自治体も全部こういった形で、今回、見直すようなふうになってるんでしょうか。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 中野課長。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) 職員の関わり合いというのは、職員もその内容に対しての協議ですとか、あと、報告の中間報告というか、どのような進捗状況かというのを確認してくような形になっていくと思います。

今回、国が調査を出しました結果で、豊明市のほうが震度7になってるというところもありまして、豊明市のほうで、再度、調査委託が必要だというふうに考えております。そ

のため、ほかの市町村の場合、どこまで出されるのかは、ちょっと調査をしてないもので、お答えすることができません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

月岡委員。

○月岡修一委員 先ほどのページ、112ページのちょっと上のほうですけど、防災専門員の報酬の件ですけど、今、防災専門員の方は、何人見えますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 1名です。自衛隊のOBとなっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 この方は、市役所は、常時、毎日、登庁してみえるのか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 週5日、1日7.5時間の勤務となっております。

（ということのは声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 すみません。先ほど質問させていただきました地震想定、被害想定の情報というのは、当然ながら共有して持っていただくということですね。この専門の防災専門員の方と情報は共有されるということですよ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 一職員として情報共有はしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書112ページの上の先ほどのブロック塀撤去のところですけども、これ、たしか豊明市内に300か所ぐらいあって、毎年数件ほどしか、たしか実績がなかったと思うんですけど、さらに、また、令和8年度、減っています。今、どのぐらいこの危険箇所っていうのができてるかっていうことと、あと、こういった件数が減ってるんですけども、それに対しての何か対策は考えられてるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 現場の調査というのが通学路のところを調査をしておりまして、現在、以前お答えしたときが301か所ということでしたが、その後、また再度、再点検いたしまして、現在274か所、把握しております。こちらのほうは、通学路に面したブロック塀になります。こちらのほうを減らしてくということのを第一の目標として事業のほうを行ってます。ただ、昨年度も、ちょっと今年度も申請のほうが少ないということで、また講話ですとか、あと、地域の防災訓練などに出向いた際には、倒壊のおそれのあるブロック塀の危険性を啓発していこうというふうに考えております。

それと、あと、また再度、再点検を行う際には、その調査をしたところにチラシなどを配るような形で啓発も進めていこうと考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

堀内委員。

マイク使ってくださいよ。

○堀内ちほ委員 111ページの上から2番目の消防団活性化事業委託料の活性化事業って、どんな事業……。去年も持ってますけど、どんな事業ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、消防団の家族の慰安というのを目的に、ナガシマリゾートへ団員とその家族で慰安をしておるといようなものになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 これ、毎年……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイクでしゃべってね、マイクで。

○堀内ちほ委員 同じぐらいの人数なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 毎年行っております。同じような人数になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 111ページの立上り消火栓設置等補助金、これ、撤去費、去年でしたっけ、これが入っての金額でよかったでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、今年度、新たに撤去費のほうを見ております。そちらのほうは約200万円ほど見てあります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 112ページの災害対策事務事業の下のほうかな、気象情報委託料240万ってあるんですけど、これ、災害時だけに気象情報を使うんでしょうか。どういったものなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、気象情報、台風ですとか、あと、豪雨、雨ですとか、あと、地震とか発生した場合に情報をいただくような形になっておりまして、常時委託先のほうがその気象情報を見ておりますので、メールで何かあればメール配信も行っていたけるといような形で、それを基に職員のほうが出動するよう形になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算概要の16ページの23番の次世代高度情報通信ネットワーク整備工事ということで、これ、令和7年度もあつたかもしれないんですが、ちょっとこの説明と、8年度は、どういった整備をされるのか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、2か年で工事を行うという形になっておりまして、工事費のほうは2か年で約2,000万円ほどで、7年度が1,000万円で、8年度が400万円の金額を負担金としてお支払いするというような形になっております。

現在、3月から工事のほうが始まりまして、3月、今年度中に地上系のアンテナの撤去しまして、あと、光ケーブルを入線すると。4月以降は、衛星系のアンテナの調整ですとか、あと、器具の調整を行うというふうに聞いております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のは、予算書113ページの一番上のこの負担金の中に入っている

ということでもいいのかということと、結局、これ、整備した後は、どういうふうに活用されるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、113ページの負担金の中に工事費が含まれております。毎年払ってます負担金が約300万円で、今回、工事費で上乗せで400万円という形で、700万円ほど支払う予定をしております。

こちらの高度情報通信ネットワークというものは、県の防災行政無線という形で、県と市町村の行政通信システムとして機能しているもので、豊明市と県、県と県の関連事務所でしたり、あと、他県と通信を行うようなもので使っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の111ページです。消防施設維持管理事業の中の上から2行目の貯水槽清掃・点検委託事業159万5,000円、これ、8年度の新規だと思んですけども、対象となる貯水槽の施設数と点検の頻度、また、今回、新規計画となった理由を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、中央公園に設置してあります飲料水兼用貯水槽の100トンの清掃と点検と補修になっております。大体その10年ぐらいに一度、こちらの点検、清掃を行っておりまして、中の塗装でしたり、あと、点検溝のボルトだとかパッキンとか、そういったものを取り替える作業をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今と同じところの少し上、新しく防火水槽新設工事ということで桜ヶ丘公園、これは、何立米というか何トン水槽を設置ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 40トンの水槽になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の桜ヶ丘公園の防火水槽ですけども、なぜ今回はここなのかという背景と、これ、市内に、ほか必要な箇所というのは、もうないんですか。

(順番にやろうの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、防火水槽が約半径400メートルぐらいの区域で設置を、今、進めておりまして、ちょうどその区域のところにないということで、今回、そちらに設置する予定をしております。

市内のほうでは、今、141基、防火水槽がありまして、そのうち、耐震性の防火水槽が83基となっております。

今後、新たに設置するというのは、今のところ、計画はございません。これで最後という形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、ちょっと確認で、なので、先ほど言ったような400メートル区域内で、ないというところは、もうこれでなくなるということでいいのかということと、あと、もう一つ、災害時に、これ、生活用水としても使えるんですって。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 一応、人口密度の高いところというか家屋の多いところ、こちらのほうは最後になるよという形になっております。

飲料水兼用かという御質問は、飲料水兼用ではございませんので、防火水槽、防火用というふうで使う予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 飲料水じゃなくて生活水では活用ができる、可能なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 生活水としては。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 定期的にその水質検査をしておりますので、使っていただくことはできると思いますが、そういった用途にしか使えないっていうふうで考えていただければと思います。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 112ページの協力井戸なんですけど、これ、増えとる方向なのか、減とる方向なのか、あと、何基、今、あるんでしょうかっていうことで。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、現在56か所、登録のほうがあります。令和6年度のほうは59か所ですので、3か所減っておるといような現状です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

ここで、10分間休憩いたします。

午後1時56分休憩

午後2時6分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、10款 教育費について、順次説明を願います。

秋永学校教育課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） それでは、10款 教育費のうち、学校教育課所管分について、大きく増減額した事業及び新規に行う事業を中心に説明いたします。

歳出から説明しますので、予算書の114ページを御覧ください。

10款1項3目 下段、教育振興費は、前年度に比較し4,692万3,000円の増額で、主な要因は、会計年度任用職員の人件費の増額によるものです。

次に、教育振興費に新規事業が3つありますので、順に御説明いたします。

1つ目が、先ほど申し上げました114ページの一番下、教育振興事業の右側説明欄、地域学校協働活動推進事業等謝礼です。これは、学校と地域が協力して活動するための推進員の謝礼です。

116ページをお開きください。

2つ目が教育振興事務事業の右側説明欄、下から2段目、スマホ講演会講師謝礼です。これは、中学校の生徒がスマホとの上手な関わり方を考える機会として開催する講演会の講師料です。

117ページをお願いします。

3つ目が放課後育成事業の右側説明欄、下から4段目、早朝居場所づくり事業委託料です。これは、朝の小一の壁に対応するため、モデル事業を行うための委託料です。

118ページを御覧ください。

10款2項 小学校費、中段、1目 学校管理費は、前年度に比較し3億8,991万3,000円の減額で、主な要因は、GIGAスクール構想における学習者用端末の購入や電子黒板設置が完了し、ICT教育環境整備に係る費用を減額したためです。

120ページを御覧ください。

10款3項 中学校費、中段、1目 学校管理費は、前年度に比較し1億2,557万1,000円の減額で、主な要因は、小学校費と同様に、GIGAスクール構想における学習者用端末の購入など、ICT教育環境整備に係る費用を減額したためです。

次に、歳入について説明しますので、36ページを御覧ください。

15款2項9目 県補助金、教育費県補助金は、前年度に比較し2,578万5,000円の減額で、主な要因は、学習者用端末の購入事業が完了し、当該事業に係る補助金を計上していないためです。

以上で、学校教育課所管分の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田生涯学習課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 続きまして、生涯学習課所管の令和8年度の当初予算について、主に前年度と増減が大きかったものを説明をさせていただきます。

初めに、当初予算122ページをお開きください。

10款4項1目 公民館活動事業の増額です。これは、右の説明欄、下から2番目のところです。公民館講座委託料は、市民大学ひまわりに委託し講座を運営しておりますが、その講座の開設数の増加と人件費等の高騰により増額をしております。

続きまして、飛びまして、128ページをお開きください。

10款5項1目 スポーツ振興事業の上から2つ目の囲みです。部活動指導者謝礼につきまして、500万円の減額となっております。これは、令和8年9月から始まる休日の部活動地域連携に伴いまして、現在行っているモデル事業のスポーツクラブの終了に伴う減額となっております。

続きまして、同じ囲みのちょうどこのページの真ん中の辺りです。部活動運営事業委託料で、こちらの増額となります。こちらの増額は、令和7年度は、スポーツ事業費として計上されておったもの、先ほど説明したものですが、それが令和8年度中に部活動の地域連携が始まることにつきまして業者委託になりますので……。

（地域展開の声あり）

○生涯学習課長（山田隆貴君） 申し訳ありません、地域展開が始まることに伴いましてその委託料が加算され、増額となっております。

続きまして、129ページ、御覧ください。

5 項 2 目 体育施設維持管理事業の一番下の右の説明欄、一番下です、福祉体育館等営繕工事費の増額です。こちらにつきましては、勅使グラウンド北側の舗装の補修工事と駐車場の拡大工事をするために行うものです。

以上で、生涯学習課所管の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） それでは、図書館所管部分について御説明いたします。

予算書の123ページから125ページとなります。

令和7年度と比較し、約2,000万円の増額となっております。主なものとしまして、125ページを御覧ください、右側説明欄、閉架書庫改修工事費818万4,000円です。これは、老朽化した電導書庫の動力部分の改修工事を実施するものです。

また、1ページ戻っていただきまして、124ページ、右側説明欄、電算関係借上料325万1,000円は、12月議会でお認めいただいた債務負担行為の金額となっております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 矢野学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） それでは、学校給食センター所管分の主な事業について説明いたします。

まずは歳出から説明しますので、129ページを御覧ください。

129ページの下段左、3 目 学校給食費については、前年度比1,200万円程度の増となっております。主な要因としましては、人件費の単価上昇等及び物価高騰に伴う賄材料費の増加等によるものでございます。

また、130ページを御覧ください。

昨年度なかった事業としましては、右側最下段、4 給食センター整備事業の右側説明欄の手数料317万2,000円は、新給食センター稼働後の現中央調理場、栄調理場の取壊しに向けて、事前にアスベスト調査を実施するものです。

続きまして、歳入について説明をいたしますので、予算書の36ページを御覧ください。

主なものについて説明をいたします。

上段表、9 教育費県補助金の右側最下段、給食費負担軽減交付金1億9,093万3,000円は、国の政策に基づく小学校の給食費の無償化に向けた交付金となります。交付金で不足する分は市費で負担する形で小学校に関しては無償化とします。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

10款 教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

三浦副委員長。

○予算特別副委員長（三浦桂司議員） 2回目です。115ページ、定住外国人のプレクラス・プレスクール2,837万8,000円、これ、外国籍児童というのは増えていないのか、また、令和8年度、何か国語をお願いしているのか、分かればお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、プレクラス・プレスクール事業の日本語初期指導が必要な児童生徒は、減少傾向にあります。ただ、外国籍児童は増えている傾向にあります。

何か国語かというのは、4か国か5か国ぐらいの、それぐらいの国の方がいらっしゃるというところで、それに対応しておるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書の116ページ、当初の初めに開かれたスマホは脳を壊すの、これ、講師の謝礼が60万っていうことだったと思うんですけども、これを今度、各中学校で講演するということなので、60万掛ける3じゃないのかなと思うんですよね。この講師等謝礼、この上のやつは、これ、また別ですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、20万掛ける3校の60万ということになっておる。

（えの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） 20万円掛ける3校の60万円という。

（あ、そうかの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） はい。

（来年なんだよね、8年だでねの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） はい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどのプレプラス・プレスクールの説明の中で、これに参加して
る児童生徒は減ってるけども外国籍は増加の状況だと。その要因というか背景、分かりま
すか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 今は、その日本で育っている子が多かったりとか、その
直前、入学と同時に入ってくる子が少なくなっているというところで、ある程度の日
本語はできているという子が増加傾向にあるというところで、プレクラス・プレスクール
のところは減少傾向にあるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 同じページのところで、いじめ・不登校対策推進員、これ、200万円ほ
ど増額されてますが、何か新規事業を始めるんでしょうか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、スクールカウンセラーを1名増加するというと
ころでの増額分になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

月岡委員。

○月岡修一委員 130ページの給食センター整備事業の件ですけども、先ほど、手数料とい
うことで317万2,000円ですけど、これ、解体するための手数料っていうのは業者に払う工
事費とは違うんですか。誰に払う手数料なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

矢野センター所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） アスベストの含有の有無を調査するための、そ
の調査業者に払う調査費の手数料になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 114ページ、一番下の地域学校協働活動推進事業等謝礼なんですけども、これ、新しい取組だと思います。どのようなことで地域と学校が連携していくことになるのか、どこの学校がモデル校になるのかなど、ちょっと教えて……。小学校2校って聞いたんですが、どこの小学校になるのか、ちょっとお聞かせください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、対象となる学校は、三崎小学校と栄小学校を想定をしております。

内容としましては、地域の活動に生徒が参加する、あるいは、学校の例えばイベント等の行事に地域の方が参加するというような形で連携して活動していくというところのリーダー役というのは推進員ということで、この金額は、この事業を行うというものです。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 今の関連ですけども、対象校数、分かりました。

あと、活動回数は、どれぐらいになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 月に1回から2回を1年間やるということを、今、考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

服部委員。

○服部龍一委員 今のところの関連ですけど、その謝礼っていうのは、どういう形で、どなたに。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 地域学校協働活動推進員というのを各校に1人程度置きます。その方にお支払いをすると、1時間幾らでお支払いをするというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 115ページの真ん中辺りの不登校児童生徒保護者支援事業委託料、こちら、去年よりも減ってるんですけど、それはなぜですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらの事業では、不登校のお子さんを持つ保護者の方が見るためのポータルサイトというのを今年度つくっておりまして、そのポータルサイトが今年度完成しました。ですので、来年度は構築費ではなくて維持費というところになるので、そのポータルサイトの維持費というところで減額されるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 同じ……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、使ってくださいね。

○いとうひろし委員 115ページの上から7段目の特色ある学校づくり事業、これ、代表的なものを、2つ3つ、ちょっと教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、学校の特色を出すための活動費でございまして、例えば、体験活動に使用する教材費ですとか、野外活動のカウンセラーですとか、そういったものの費用も含まれております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ115ページですけども、説明欄の上から、1、2、3つ目の消耗品費というのが昨年度までになかったんですけども、これは何を購入する予定ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、地域学校協働活動推進員を置きますので、その方たちが活動するための消耗品を想定しております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 私、ちょっと待ってください、ここ、書き終わってから……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、近づけてくださいね。

○中堀りゅういち委員 113ページです。一番下の事務局人件費のところなんですけど、国、県からで約460万ということなんですけど、これ、ちょっと毎年大体700万ぐらいだったと思うんですけど、落ちた理由と、あと、これ、国、県からは、こういった名目の入金になったか、もしさっき言ってれば申し訳ないんですけど、いま一度、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

（これは事務経費の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 後からにしますか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 後ほど御回答します。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 後ほどお願いします。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 昨年……。

（ページ数の声あり）

○堀内ちほ委員 115ページになるのかな、昨年度には、生徒会提案事業費補助金30万円が、ごめんなさい、30万があったんですけど、去年の新規の事業であったと思うんですけど、今回、これ、どこかに移動されてますか。どこかに入ってますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 今回、その事業については、当初予算には計上しておりません。というのは、計上すると、必ず学校側さんのほうで出さなきゃいけないというような意識が働いてしまうので、それは、あれば、そういったものがあれば出していただくということで、もし翌年度出てきたときには補正予算等で対応したいというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 ちょっと、予算書124ページ、10款4項3目 図書館資料購入費1,500万円ということで、令和7年度は、当初予算で1,330万円で、9月議会で170万円の増額補正をしました。そういうことで1,500万円ということなんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 委員のおっしゃるとおりです。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 昨年度も御指摘したことでいうと、この半年、1年レベルでのその物価高騰のを見込んで冊数が減らないようにということでお話しもしたんですが、それでけるということなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 図書館としまして、例年どおりの冊数で購入予定としております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書の117ページ、下から4行目の早朝居場所づくり事業、これ、中央小学校で取りあえずモデル的に実施するということで……。

シルバー人材の方が、朝、見えてやられるんですよね。もう少し詳しく、その辺、ちょっと教えていただいていいでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この事業につきましては、来年度の1学期の段階でアンケートを取ってニーズの調査をします。ニーズの高いところでモデル事業を、ニーズの高い学校でモデル事業を行うというもので、内容としては、シルバーさんが、その登校前の児童を学校内の例えば体育館の中でお預かりすると、登校の時間になったらその児童を送ると、校内のほうに送るといふところの事業でございます。

以上でございます。

（関連での声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 すごい、これ、いい事業だと思うんですね。だから、すごく応援したいと思うんですけど、そのシルバーの人材の方は、何名ぐらい予定されてるんでしょうかとかと、あと、これ、平日オンリーですね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） シルバーの方は、現時点では2名程度を想定しておって、

これは、平日オンリーでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の早朝の居場所づくりのところですけども、どれぐらいの利用件数とかを想定されてるかって、何かありますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 視察をした自治体では、実際に来ていたのは数名ぐらいというところであります。ただ、その本市のほうでどれぐらいの人数のニーズがあるか、ちょっと分からないというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 たしか児童クラブのほうで、土曜日なんですけど、時間を早く開設し、変更されたかと思うんですけども、その実績って分かりますか。たしか7時とかに開いてっていうことがあったと思うんですけども、そういう早朝で来てる子がどのくらいいるかとかって分かりますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 申し訳ございません、今、ちょっとその数字は、持ち合わせておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 後ほどでもいいので、回答、お願いできますか。

（それが何につながるのかの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井教育部長。

○教育部長（浅井俊一君） すみません、ちょっとお時間がかかる可能性が、正直、ありますので、完全にそこを分けた状態で把握しているかどうか分かりませんので、もしも可能でしたら数字のほうを用意しますけれども、ちょっと可能でない場合がありますので、御承知おきください。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 御承知おきください。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 事前の予告分を。場所でいえば、施政方針の18ページですけど、今のお話の始業時間前児童預かりです。アンケートを取るそうですが、送る保護者が感染症にかかり、いつもと送迎の条件が変わる場合なんかも想定して、二次的な送迎車だったり二次連絡先なんかの登録データなんかを設けるかというようなアンケートなんかもしたりするという感じなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 具体的にどういうふうにするかというのは、まだ検討、これから検討していきますけれども、現時点では、送ってくる方は特に登録は必要なくて、それは、お母さんであれ、お父さんであれ、よいんですが、連絡先は、二次登録者までは登録していただくというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ早朝居場所づくり事業ですけど、これを検討、予算化するに当たって、例えば、今、ファミリー・サポート・センターなんかがやってる、その朝、そのお母さんとかが出勤してから、ファミリー・サポート・センターの方が行ってるとかってものの、その人数の調査とかってというのは、したんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そういったことは、調査はしておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、多分ですけど、全くニーズが分からないような状況で予算化をしているというふうに思うんですが、もしも、これ、何かニーズがなかったとしたら、廃案ということもあり得るっていうふうに考えていいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 委員、おっしゃるとおり……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） おっしゃるとおり、ニーズがちょっとよく分からないところがあります。本当に、今、集団登校とかしてる上で本当にあるのかどうかっていうのが、きっと潜在的にもあるかとは思いますが、そのあたりについて明確にちょっとあるというふうにお答えできないところがあるので、今回、モデル事業というくくりで実施

をするということです。そういうような御理解でお願いしたいと思います。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今のその早朝居場所づくりなんですけど……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイクのほう、しゃべってください。

○いとうひろし委員 居場所づくりなんですけど、これ、小一の壁とかいって、さっき説明がありましたけど、全学年対応なのかと、あと、事前申込みが必要ということでしたけども、当日、いきなり参加はできるんでしょうか。この2点、教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には小学校1年生、ないしは、2年生、低学年を想定をしておるんですけれども、ただ、兄弟でお預かりするということも想定はされます。例えば、それが5年生だったり、6年生だったりということと、何でしたっけ……。

（事前申込みの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） 事前申込みについては、それはしていただきます。ただ、登録をしていただいて、じゃ、この日は行く、この日は行かないというところまでの申請は不要かなというふうには現時点では考えておるところでございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 115ページ、教育振興補助金……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、近づけてもらいます。

○中堀りゅういち委員 申し訳ございません。度々すみません。

補助金のところなんですけれども、私立高等学校等就学助成金のところですが、こちら、たしか高校無料になったと思うんですが、この25万の補助の内容をお願いできますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こちらは、非課税世帯を対象に交付するものでありまして、それ、授業料以外の例えばPTA会費だとか、授業料以外の部分のお金も幾らかかかりますので、その分のお金ということで、1万円を交付すると、生徒1人1万円です。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゆういち委員 関連です。1人1万円で25人だと思うんですが、これは、現物じゃなくて、もうお金、1万円って言われてるっていうことは、1万円分じゃなくて、お金でお支払いという形でよろしかったでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりでございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ私立の高等学校の就学助成金ですけど……。

ですよね、今。

これが、だから、前回からその予算が4分の1ぐらいになってるっていうのは、これは高校の無償化に伴うものって考えていいんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） その影響もあるかと思いますが、申請実績がかなり少ないというところで、その実績に合わせた形で減額しておるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 また戻って、すみません。117ページの下、早朝居場所づくりのところです。1学期にアンケートを取るっていうのは、その小学校全校でやるかっていうことと、先ほどの質疑のやり取りで、ファミサポだとか児童クラブだとかっていうの出たんですが、例えば、その早朝保育を利用している人だとかの調査だとか、そのいろいろその事前に調べることはできるんですけど、それをせずに、今回、こうした形で出て、予算を出したのは、どういう理由ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 近隣の自治体でも、かなり現時点でやられてるモデル事業では実質少ないとは認識しておるんですけども、潜在的なニーズはあるのではないかとということも考えられます。あと、早朝保育の人数も少ないという認識は持っておりますけれども、その潜在的なニーズというのをどこまで掘り起こして、それをどこまで事業に反映させれるかというのは、アンケート結果によるものかというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 114ページ、事務局事務事業、その下から3番目の中小体育連盟負担金なんですけど、これは、こういった組織で、何に使われるものなのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、中小体育大会というものの、その大会に関する負担金でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと聞いてなかったんで、多分、今、61万6,000円のところ、やってるんだろーと思いますけど、これ、昨年度は上がってなかったんですよね。今年度、これ、新規で上がってきてるのは、どうしてですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和7年度は豊明会場が多かったというところで負担金が多かったんですけども、来年度は、豊明会場はほぼないというところで、負担金がちょっと多くなったというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そのページの上のこの学校巡回弁護士委託でスクールロイヤーの件なんですけど、具体的な相談件数だったりとか対応事例みたいなのは、あるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 相談件数でいうと、令和7年度で現時点で24件というふうになっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その具体的に弁護士の方が対応された件数ということで理解していいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 対応の方法には、定期的に巡回して回る相談と随時メールとかでやる相談があって、その両方の合計件数は24件というところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 114ページの一番下の教育振興事業ですか、これの一番上の小中学校英語指導助手の業務ですか、これは何名で、週何時間ぐらいあって、何年生の方の担当になるんでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、1日7時間で201日で1人の内容となっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の119ページです。小学校管理事業なんですけど、119ページは上から8段目の清掃等委託料の650万9,000円なんですけども、昨年の当初予算から見ると約15倍ほど跳ね上がってるんですけど、これは、外部委託する範囲の拡大なのか、また、それ以外なのかお聞かせください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、小学校の普通教室のエアコンの内部洗浄の委託の金額分が、上がっておるところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 対象の小学校は、どちらになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和7年度に沓掛小学校と大宮小学校の内部洗浄をやりましたので、それ以外の小学校が対象となります。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 119ページ、同じ、真ん中辺りでスクールバス委託料。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） なるべく、マイクをなるべく近づけてください。

○いとうひろし委員 スクールバス委託料、これが昨年度より250万ほど上がってると思うんですけども、上がった理由を教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、事業者を確認したところ、人件費がかなり大きく上がっているというところでの増額というふうになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 また、予告してたやつで、当初予算の概要の18ページ、86番、地域クラブ運営事業で、長いんですけど読みます。土曜日、日曜日の中学校の部活において、体育協会予選、すなわち中体連の競技会には中学校の部活のチームとしてエントリーすることから、教員以外の指導者が監督として登録ができないと思いますが、球技を中心とした団体競技では監督抜きには出場ができません。土日の中体連の競技会にも外部指導者が監督として登録しエントリーができるということが前提で、この4,618万円かっていうことなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 中体連の試合につきましては、外部指導員、外部監督についても出場ができるというような仕組みになっておりますので、今までと同じように子どもたちは試合に参加できるというふうで調整をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 116ページです。教育振興費で真ん中ら辺のところの受信料4万円なんですけれども、これ、私の記憶違いだったら許してください。今までなかったと思うんですが、何の受信料でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、フレンドひまわりのNHKの受信料で、テレビとパソコンの部分も、今回、かかるということで、その分が増し、計上しようというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 先ほどのスクールバス委託料119ページで……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、マイク。

○いとうひろし委員 119ページの人件費が上がったから250万円ぐらい上がったよということだった、説明だったんですけど、幾ら……。人件費の部分は、幾らが幾らになったんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、ほぼ人件費ですので、運転するだけですので、ですので、この分が上がったと、人件費として上がっているというところですよ。

（運転手は1人の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 その人件費は、何名分ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 2人分でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 じゃ、1人125万円、給与が上がったってということで理解でいいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 人件費の中には、当然、管理費も含まれますので、その給料がそのまま125万円上がったというものではございません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 予算書125ページの真ん中よりちょっと下ですね、歴史民俗資料室受付等委託料っていうのが、恐らく、これまでなかったかと思うんですが、これは何なんでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらですが、昨年度のたしか6月議会だったと思うんですけども、補正予算を組まさせていただきますして、シルバー人材センターの方を受付に入れましたので、当初予算には載ってなかったんですが、昨年からやっておるもので、今年も継続というものです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書の119ページ、説明欄の真ん中辺りの賃借料118万円、この賃借料というのは、こういったものでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、二村台小の職員がとめる駐車場が不足しておるものですから、それを借り上げるための賃借料でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の115ページの真ん中辺りのいじめ・不登校対策推進事業の委託料ということで、先ほど、スクールカウンセラーの増員ということでありましたけども、その増員の理由と、実際、こういった、そのいじめの相談件数とか対応件数っていうのが増加傾向にあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） なかなか、そのスクールカウンセラーさんに対するニーズもかなり多くなってきております。それが不登校の人数とそのまま比例するわけではありませんが、そういったニーズに対応するためにスクールカウンセラーの分を1人

増加しとるというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、そのいじめとかそういったことの相談件数が増えてるのかどうかっていうことと、じゃ、そのスクールカウンセラーの方は、どこの学校に配置されるってというのは決まってるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、不登校の、じゃ、人数を、今、申し上げますと、2月時点ですけれども、小学生が73人で、前年度に比べて11人ほど増えております。中学生は106人で、前年度と同じ人数となっております。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書の120ページの最上段の説明欄の要保護・準要保護の援助費、これが小学校のほうだと3,000万で、次のページの121ページの最下段、中学校のほうだと3,350万で、その下の特別支援教育の奨励費が、中学校のほうは、こっちの要保護のほうが小学校よりも350万ほど高いんですけど、特別その支援の奨励費は、小学校よりも少ない。小学校のほうがやっぱり要保護が少ないのに奨励費が高いというのは、これは、どういう理由なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 小学校のほうは、増額の要因としては、新入学用品が増加したというところが、まずございます。それに対して、中学校のほうでは、その対象と……。ごめんなさいね。

すみません、後ほど整理してお答えします。すみません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 後ほど、お願いします。

ほかにございませんか。

関連、林委員。

○林 ゆきひろ委員 別ですけど、ちょっと、先ほど、回答が、多分、途中だったと思うんですけど、ちょっと委員長も最後まで回答させてほしいんですけど、急がずに。いじめ・不登校対策で、先ほど、不登校の人数は答えていただいたんですけど、いじめのそうい

った相談の件数と、あと、そのスクールカウンセラーの方が、どこの学校に配置される予定なのかをお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 相談件数は、現時点で338件です。

スクールカウンセラーをどこの学校に配置するかというのは、まだちょっと流動的で、明確にお答えすることができません。

以上でございます。

（確認の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のいじめの件数は、増加してるっていうふうでいいですか。338件っていうのは、昨年と比べて。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、ちょっと昨年度の数字を、ちょっと持ち合わせていませんので、後ほどお答えします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 116ページの……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） マイク、近づけてください。

○堀内ちほ委員 ごめんなさい。

116ページの教育振興事業の真ん中辺、定住外国人日本語教育推進事業業務、こちらのほうが300万ほど昨年より上がってると思うんですけども、これの理由と、何か国語ぐらいを教えてらっしゃるのか教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 増加の理由は、2名増員をしておるところでございます。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 ということは、報酬っていうことですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 分かりますか。

答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 人件費でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

郷右近委員。

（まだ関連があるの声あり）

○郷右近 修委員 え……。

（何か国語の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連。

（関連です、さっきの関連で何か国語をの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） じゃ、ちょっと待ってね。

どうぞ、堀内委員。

○堀内ちほ委員 何か国語を教えるんです。ごめんなさい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 質疑してください。

○堀内ちほ委員 何か国語の子どもを。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今、止まってる、さっきの要保護・準要保護の話って、いいかな。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 回答。

○郷右近 修委員 いや、別、内容は別なんですけど、これの話なんですけど。終わって
からほうがいいすか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） はい。

（じゃ、後回しの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 御心配、ありがとうございます。

ほかに。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 予算書の119ページの小学校管理事務事業ですけども、下から4行目の
管理用備品購入費400万、新規で上がってるんですけども、購入予定の備品内容と、対象と
なる小学校は、どちらでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この管理用備品購入費の400万円は、新規ではありません
けれども、大きく減額しているのは、学習者用端末の購入費分が昨年度あったのは、それ

が、来年度はなかったというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書を、ちょっと待ってください、これ、ページだった……。123ページです。公民館維持管理事業です。真ん中ら辺の南部公民館管理委託料313万、あと、一番下の南部公民館施設管理負担金281万、これ、多分、建物の共益費か何かが引かれてると思うんですけど、どちら側から負担されているのか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、上の分が三百……。

（313万4,000円の南部公民館管理委託料で、どちらかだと私は思ってるんですが、それだけちょっと教えてください。お願いしますの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらですが、すみません、下の281万5,000円につきましては、施設の管理負担金ということで共有スペースの部分、そのこの部分の皆さんで所有者の方で分担してる部分が281万5,000円になります。

ちょっと上の分、すみません、後ほど、ちょっとお答えをいたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう、関連。

○いとうひろし委員 関連で、今のところ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 じゃ、ちょっと図書館のほう。予算書の125ページ、閉架書庫改修工事費のことで聞きたいんですが、これ、実計にも上がってるんですけど、これは、先ほど、電力部分の改修とあったんですけど、すぐさまやらないとまずいような状況なんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） この閉架書庫につきましては、1980年、昭和55年に導入したままとなっておりまして、今でも時々ちょっと止まっている状況ですので、動力部分の工事を早急に行いたいと思っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の閉架書庫の改修なんですけど、実際に、その借りる市民の方、利用者の方は、何か変更はあるんですか、それ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 閉架書庫の工事期間は、特別整理期間を予定しておりまして、その間に行く予定ですので、利用者の方に、この工事による不便をおかけする予定は、ございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにござい……。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、中堀委員の先ほどの質問の上の答え、南部公民館管理委託料につきましては、南部公民館、夕方から夜間にかけてシルバー人材センターさんに委託しておりますので、その委託料が313万4,000円となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 124ページの図書館維持管理事業ですか、下から4つ目なんですけど、これ、返却ポスト設置使用料って、こういったものになるんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） こちらの費用につきましては、南部公民館の1階にありますエレベーターホールに設置してあります返却ボックスを置かせていただいているんですけども、そこのホールの使用料となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 図書館の予算書125ページの閉架書庫の下の非常通報装置の取替工事っていうのは、どのような工事になるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） こちらは、消防への非常通報を行う機械の取替えとなります。
経年劣化によるもので、設置は2013年7月となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 戻ります、114ページの一番下、地域学校協働活動推進員の謝礼についてなんですけれども、これ、地域と学校が、そういう地域活動に生徒が参加とか説明があったんですが、これ、今までもそういうのはされてきてると思うんですが、この推進員の方を置く必要性と、どういった経緯でこういう配置が出てきたかということ、あと、三崎小も予定っておっしゃったんですが、コミュニティ・スクールとの関係は、どんなふう
に捉えたらいいでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、コミュニティ・スクールとの関係性ですけれども、コミュニティ・スクールは、学校の運営方針を中心に協議をして、それを具体化するのが地域学校協働活動というふうな考え方が分かりやすいかなというふうに思っております。
ですので、今回、運営方針を協議するだけではなくて、それを具現化する必要性というところから、今回、こういった推進員を設けるというものでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 予算書の124ページ、図書館のことですけれども、図書館資料購入費が多少上がってますが、これは、資料の値段が高騰してるというものの金額。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 関連、関連。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 あと、司書の業務等っていうのは、業務委託のトータルの金額なのか、司書に払う……。その、いいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 司書につきましては会計年度職員を雇用しておりまして、そちらの方にお支払いするお給料となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 同じ124ページ、図書館維持管理事業で、一番下から五、六番目ですかね、電算関係借上料325万円です。こちらのほうなんですけど、昨年度より多分何倍となく上がっていると思うんですが、理由をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） こちらの借上料ですが、令和7年度は契約終了で、10月で契約が終了しておりますので、予算が4月から10月分までとなっております。その後は無償譲渡という形です。

今回は、それに、借上料が、新しく今年度、令和8年度の11月から借上料が発生するんですけども、そちらの借上料に、システムの構築費、更新費用、I C 関連機器、サーバーなどが入っておりますので、値段が高くなっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 今、システムの構築料というふうに、多分、答弁があったと思いますけど、何か新しいシステムを構築するんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） システムの構築を新しくする形になります。失礼しました、図書館システムの更新となります。失礼いたしました。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

関連。

（同じようなの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じく、図書館124ページの図書館維持管理事業の一番上の消耗品費っていうのが、恐らく、前回、なかったんじゃないかなと思いますけど、これは何でしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） こちらは、システムが更新することに伴いまして、今まで使っておりましたリライトカードが廃止になります。代わりにミラーカードというものを購入しますので、その予算となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 もう一度、ちょっとリライトカードとミラーカードですか、ちょっと詳しくお願いできますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） リライトカードといいますのは、今、図書館の貸出しカードとして利用しておりまして、機械に差し込むことで、熱でそこにいろいろ貸出し日とかが記載されるものになります。そのカードを作っている会社が、もう既に国内に1、2社しかないものですから、この後、継続した供給が見込めないということで、ミラーカードというものにします。そのミラーカードというのは、番号だけを打つバーコードですね、バーコードだけが打ってある形のものです、それを何て言っていたっけ、読み取り機って何て言った。ぴってやるやつ。

（バーコードリーダーの声あり）

○図書館長（水野美樹君） バーコードリーダーで番号を読み取って本が貸し出せるというものになっております。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ということは、今のそのリライトのカードだったら、自分が何借りてるとか、いつが返却とかっていうのが多分分かると思うんですけど、今度、そのミラーカードになると、分からなくなるみたいなイメージですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） カード自体では確認ができませんので、代わりにレシートとかを打てる形で考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の図書館活動事業で、先ほどあった司書業務等のところで会計年

度さんなんですけど、司書の資格を持ってる会計年度さんが何名で、その司書の資格持っていない方が何名いるかっていうことと、あと、正規の職員で司書の方というのは何名いるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 会計年度任用職員で司書の資格を持っている者は11名となります。司書の資格を持っていない者は1名です。それから、正規の正職で持っている者は2名となります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 予算書の126ページ、文化振興事業で、文化協会補助金122万とかあるんですが、どんなような内容でしょうか、教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 文化協会の補助金ですが、こちらは、文化会館を拠点に活動してる文化協会さんに補助している補助金というふうになっております。内容は、市民の皆さんが、どなたでもお楽しみいただける緑の文化祭、秋の文化祭などの実施のほうに充てられておるといふふうに報告を受けております。

以上です。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 文化協会の補助金っていう、これ、何か団体数とかってありますか。これ、1つなんですか。団体、関係団体あれば、何団体あるかお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 文化協会としては1つなんですけど、その中に、書道、絵画等々あるんですが、ちょっと数が10ぐらいいはあったと思いますので、それぞれの部会に対して文化協会さんのほうで配分をされて使われておるといふふうに聞いております。団体としては、豊明市に1つです。文化協会というものは1つです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 125ページの文化財保護事業です、真ん中辺から下で、埋蔵文化財

包蔵地調査委託料、どこの場所になるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらの場所ですが、試掘等が必要になった場合の予算取りということで、現在については特にそういったものは発生しておりませんので、予算の執行もございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 多分、125ページの同じとこだと思うんですけども、来年度、湿地サミットが、たしか豊明市に来ると思うんですが、そこら辺の予算計上は、どういうふうになってますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 来年度、8月に湿地サミットが行われます。ただ、この湿地サミットの予算というのは、12月議会で、たしか歳入のほうで寄附のほうがございまして、そちらのほうの寄附金を先行して充てさせていただきました。それと、大狭間湿地の観察橋等は整備させていただきましたので、そちらにつきましては、今年度、特に消耗品程度しかございませんので、予算措置はしておらないという状況です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書115ページに戻りますけども、先ほど、不登校の人数、小学校は増えて、中学校は変わらないってということで、今現在、校内フリースクールを実施しているかと思うんですけども、この校内フリースクールに配置されてる方の、まず、人件費がどこに入ってるのかということと、来年度、たしか小学校でも検討してるというような話あったんですけど、来年度は、どこの小学校で実施する予定なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

藤井教育長。

○教育長（藤井和久君） 小学校の校内フリースクールに関しては、今年もそうなんですけども、学校から要望があれば人を派遣するという形にしています。なので、中学校は、毎日毎日一定程度、5人とか6人必ず来る子がいるので、人は立てますけども、小学校は、

火曜日と水曜日とか、ちょっと細かくいろいろ分かれてるので、学校から要望あった時点で人を送るっていう形を取ってまして、令和8年もそのような形を取ります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 予算書128ページです。スポーツ振興事業ですけれども、このうちのどこかだと思いうので教えてほしいんですが、アジア競技大会の聖火リレー事業で予算ついてたと思いうんです、十何万か、幾らぐらいか。これは、どの中に入るのか教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、ちょっと、後ほど、お答えします。お答えできる内容だと思いますので、少しお時間をください。すみません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 後ほどお願いします。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの質問で、もう一回、校内フリースクールのその人件費がどこの予算で入っているのか、あと、今、先ほど、教育長の答弁から、小学校は、いろいろ要望があって、派遣というか行くっていうような形で分かりましたけど、これ、予算としては、何人分で、組んであるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 混乱してますね。大丈夫ですか。

藤井教育長。

○教育長（藤井和久君） 別件の回答で、先ほど、いとう委員から、小学校と中学校で何で金額が違うのって話があったと思いうんですけれども、これ、ほぼ実態、実数に応じて配ってますので、あと、中学校は、当然、給食代とか修学旅行費とか教材費も高いので、全般的にやはり高い傾向にあると。特別支援のほうも、その実態の数字に合わせて支給してますので、たまたまこの数字になったというだけで、何か小学校だから多い、中学校だから少ないっていうわけではないです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 先ほどの中堀委員のアジパラの消耗品10万円なんですけれども、申し訳ありません、3事業のほうの保健体育総務事務事業のほう、ページでいう

と、129ページの一番上の消耗品が昨年より10万円増してありますので、こちらに含まれておるというふうになっております。

(あれの消耗品って、このアジパラのの声あり)

○生涯学習課長(山田隆貴君) そうですね。で、15から10万です。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 質問、質疑ですか。

(大丈夫です。ありがとうございますの声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) いいです。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 いとう委員への答弁がありましたんで、じゃ、予算書120ページ、10款2項3目 要保護・準要保護の小学校のことについて、令和7年度当初予算が2,900万円でした。今回の当初予算では、この3,000万円という金額です。増額100万円なんですけど、こういった算出という状況なのかについて説明をいただきたいです。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長(秋永亘正君) 増額の理由につきましては、新入学用品費がかなり上がっておるところでの増額というふうになっております。

ごめんなさい。先ほど……。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかにございますか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 まだまだ続いているようなので。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) しゃべってた、ごめんなさい。はい、続けてください。申し訳ない。

○学校教育課長(秋永亘正君) すみません。先ほど、林委員からの校内フリースクールの人件費がどこかというところが、115ページの下から2行目の適応指導業務というところで、教育支援センターの指導員を2人増やしておるところもあって、その方たちと……。

ごめんなさい。校内フリースクールは、また別で、それぞれ3人、そこについております。

以上でございます。すみません。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 郷右近委員。

○郷右近 修委員 先ほどの答弁で新入学に関わる費用の増額ということでしたが、新入学に限らず、その全体として増額ということなのか、新入学に関わる部分だけなのかとい

うことや、あとは、その何か物価の上昇を踏まえて、その新入学に関わる金額が影響を受けてるのかについて伺いたいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には、新入学の部分が大きく変わっているというところで、例えば、5万7,060円だったのが6万4,300円に増額されるというところでの対応になります。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 ということは、大幅に、その一言で言ってしまうと、対象になるような貧困家庭及び児童が増えたということではないということなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 人数は、とりわけ大きく増加するということは想定はしておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） そろそろまた1時間たちますが、まだありますか、質疑は。

当局のほうは、答えてないやつというのは、どうですか。この10分ぐらいで、答え、出ますか。

（出してもらわなあかんの声あり）

（休憩中にの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 分かりました。

それじゃ、ここで、10分間休憩といたします。

午後 3 時 7 分 休憩

午後 3 時 1 7 分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほど、回答が保留になっていた部分について御回答差し上げます。

まず、113ページの事務局人件費の中で中堀委員の国県支出金が減っている理由ですが、これも、内容としては、外国人児童生徒の日本語教育支援事業費が460万3,000円になっていて、今までは、それにプラス、医療的ケア児の支援に対する補助金があったんで

すけれども、それが3年を経過して終了したので、残った定住外国人の日本語教育支援事業費が国県補助金ということになります。

次に、2つ目として、117ページの林委員の御質問の中で、朝の見守りの事業の中で、児童クラブの早朝の人数はどれぐらいかというところですが、これは、登録人数として405人おるというところでございます。

もう一点、先ほどの相談件数、不登校児童に係る相談件数のところですが、これについてはスクールカウンセラーに対する相談件数で、私がお答えしたのはフレンドひまわりへの相談件数としてちょっとお答えしてしまったので、訂正させていただきます。スクールカウンセラーの相談件数として、令和6年度として717件でございます。令和7年度については、現在、集計中でございますけれども、現場の先生からは、こういった相談が非常に増えているので増員してほしいというところから、今回、増加しておるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに質疑ありますか。

武谷委員。

○武谷としお委員 ごめんなさい、今の回答で、確認なんですけれども、医療的ケア児の3年で終了って、これは、もうそこで打ち切りということなんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そういった医療的ケア児も含めた支援というのは、現在も特別支援ですけれども、そういった事業は継続はしておるんですけれども、補助金のほうは終了したというところでございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 すみません、じゃ、今後は、市費で負担するということでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 市費で行っていくというところでございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の122ページの公民館講座委託料570万7,000円で、最初に御説明いただきました。このうち、ひまわり市民大学では幾らになりますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 市民大学ひまわりの分につきましては、525万3,000円に、あと、困窮世帯の方に、子どもたちに指導する分も委託料に含まれておりますが、それがプラス30万円というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 122、その上のとこ、社会教育活動事業です。その一番下の文化系ジュニアクラブ補助金というので資料があるんですけど、これ、クラブが6つかな、今、コードデザインクラブが令和7年度で終了ということで、これ、185万の補助金なんですけど、これ、何というんかな、割り振りって、あるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらですが、まだ人数が確定をしておらんもんですから今の割り振りの額というのは決まっておられませんけれども、185万円、主には指導者の方に対する謝金の分になりますけれども、それを申込みをいただいた子どもたちの人数で案分を掛けまして、補助金のほうを割り振っておるという状態になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書115ページの説明欄のところ、現職教育研修事業委託料140万2,000円のところ、これに対する質疑ですけど、これは、内容としては、どんな研修になるんでしょう。

あとは、何名ぐらい、年間で研修を受ける予定でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 研修の内容につきましては、階層別研修が主なものになりまして、初任者研修ですとか、あるいは、非常勤職員の研修ですとか、そういったものが主な内容になります。

ただ、人数については、ちょっと把握をしておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書115の教育振興補助事業で、来年度からのふるさと応援奨学金が廃止になってると思うんですけども、もうその廃止にした理由と、結構実績が減ってきてるというか、ほとんどなかったのかもしれないんですけども、そもそもこういった要件の方に、これを出すような内容だったんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、募集を停止した背景については、国の支援が充実してきているということ、あと、募集が、ほぼ令和7年度もゼロ人だったということで、ニーズがかなり減少しているというところから、募集の停止をしておるところでございます。

こういった方というところですけども、例えば、これは、豊明市に在住をしていると、10年で返済するんですけども、在住することによって、その返済を免除できるというような制度でございまして、そういったことを希望する学生さんというところを対象としておるというところでした。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績がなかなかなくということなんですけども、ちょっとPR方法とか、どういうふうにされていたのか、それから、いろいろ大学、そういった支援があるといってもなかなか厳しいというようなお話も聞くんですけども、例えば、そういった要件だったりとか、内容を見直すとか、そういった検討というのは、されたんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） PRとしては、ホームページと広報なんですけども、内容についての見直しというところは、なかなか至っていないというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じふるさと応援奨学金のことでお伺いするんですけど、これ、もう、先ほどの話で令和7年度も実績ゼロということは、多分決算にも上がってこないだろうと思いますのでここでお聞きするんですが、この事業は、何年間ぐらいやって、何人ぐらいの方が御利用されたのかって、分かりますか。決算で聞けば聞くんですけど、多分、

項目が上がってこないと思うので。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっと後ほど御回答させていただきます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 ここの辺ですか、生徒会提案事業費の補助金300万というのは、これもなくなったと思うんですけど、これは、どうしてでしょうか。

聞いたか、ごめんなさい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっと先ほども御回答させていただきましたけれども、当初予算に上げていると、それを、各学校は、出さなきゃいけないという意識が働いてしまうので、必要に応じてそういった提案が出れば補正予算で対応するということでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書116ページの教育振興事務事業の産業医報酬が増えてるというのは、これ、報酬の単価が上がったのか、そういう相談件数とかが増えてるのか、どういう状況なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、今まで栄小学校には配置されていなかったのもので、児童生徒数……。ごめんなさい、職員の多い学校に配置するということで、栄小学校を令和8年度から追加するということでの増額でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは、例えば、教員とか職員の方のメンタル不調とか、そういうので利用したりとか相談したりっていう、そういうふうでいいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その件で、そういった相談が増えているとかどういう状況か。ちょっと何か増えてるような話を聞くんですけども、どういう状況か分かります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっと把握はしておりません。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ116ページの今度下のほう、下から2つ目のスマホ講演会講師の謝礼ですけども、これ、恐らく、3中学校に講師を派遣して講演をしていただくということなんですが、講師の方は、これ、決まっていたの予算計上ですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 想定としては、前回、文化会館で行っていただいた方を想定をしておるところでございます。

以上でございます。

（関連の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 想定か、想定だと、ちょっと質疑しにくいんですけど、これ、60万上がってるっていうことは、1回につき20万円だと思います。仮に前回の方だったとすると、たしか職位が助教だったと思います。大学、上から行くと、教授があつて、准教授があつて、講師があつて、助教。助教って一番下なんですけど、これで1回20万円っていうのは、ちょっと高くないですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） かなり遠方にお住まいです。ですので、飛行機代等もかかりますので、その金額も含めた形でを想定をしておるところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 この先ほどの謝礼金1人20万円なんですけれども、これって、それは、そもそも項目か何かで決まってるから20万なんですよね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

(条件ないってことですかの声あり)

○学校教育課長(秋永亘正君) これは、特に決まっております。

以上でございます。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じスマホの講師の関係ですけど、これは、3日間に分けてやるという想定なわけですか。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 秋永課長。

○学校教育課長(秋永亘正君) 3日間に分けてでもやれるという想定です。

以上でございます。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 小串副市長。

○副市長(小串真美君) 今のスマホの講師の件ですけれども、今、想定しているっていうことで東北大学の榊助教授に恐らくはお願いしてくnderろうと。

(教授じゃないでしょう、助教の声あり)

○副市長(小串真美君) 助教授、はい。

(助教授じゃないでしょうの声あり)

○副市長(小串真美君) 助教、はい、はい、すみません。

これ、以前もどっかで説明したと思うんですけども、東北大学側で榊先生を出すときに金額が決まっていたと思うんです。もういろんなところで講演されて非常に忙しい方です。そこで、あと、交通費と時間帯によっては宿泊費が必要になりますので、20万程度はかかるのかなと思っております。

終わります。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ほかがございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連で、これは対象は中学校生徒のみなのか、何か保護者だとか、あと、学年も、これ、全校生徒なのか、要は、来年度8年度でがばっと講演会を3中学校でやって、もうすばっとやめるっていうような感じですか。

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 秋永課長。

○学校教育課長(秋永亘正君) まだ明確には決まっておりますけれども、それは学校の裁量によって、いろいろ考え方がございます。ただ、我々の思いとしては、生徒さんに全員に聞いていただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

(関連での声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 再度、本当にすみません。先ほどの20万が決まってる決まってないの話なんですけど、1人のその講演者に対して、これ、教育委員会か何かの内規は、本当になんないってということで、よろしかったですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） まず、旅費条例みたいなところはありますけど、それにはまず当たらないような内容で、今回、要は、謝礼として実費弁償するような形になると思います。例えば、生涯学習みたいなところだと、ある程度、金額を決めて、これで幾らでやってねっていう形で決めてるところもあったりするんですけども、今回の部分については、特にその謝金で出す部分で実費弁償としてやっぱり払わなきゃいけない部分では出てきますので、そういう意味で、こういう形の金額の計上をしてるという形で理解ください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 予算書117ページの上の段の説明欄の派遣職員負担金1,225万円、これは、どんな役割があるのか、それから、どこへ派遣、派遣先を教えてください。

あと、もう一つ、人数も教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、もう一度、場所をお願いします。

○浅井たかお委員 117ページです。予算書117ページの上の段、教育振興費のところ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、こちらの分は、指導主事の、派遣指導主事の負担金でございまして、その分が1,225万というふうになっております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、もう少し詳しく説明します、ごめんなさいね。愛知県の職員を派遣していただくというところでの負担金というところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算116ページで、ちょっと先ほど、もしかしたら説明あったかもしれないんですが、その真ん中の教育振興事務事業の真ん中辺りにある定住外国人の日本語教育推進事業の、これ、会計年度の方ですけど、先ほど、プレクラス・プレスクールのほうで、その日本語が分かるような子が多くなってきてっていうことで減ってるということなんですけど、ここの方は増えてるんですけど、その理由は何なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） プレクラス・プレスクール事業は、あくまでも日本語の初期指導です。ですので、その初期指導だけではなかなか学習にはなかなかついていくことが難しいというところで、初期指導が終わった子たちのフォローというところで、こういった方は必要だと、より多くの人数が必要だというところでの増員というところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、その初期指導までは必要ないけども、だけど、やっぱり日本語がなかなか不自由っていう子は結構増えてるっていう、増加傾向があるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そうですね、学習が理解できるようになるまでには、それなりの時間がかかります。そういった児童生徒は、増加傾向にあるというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほどの派遣主事っていう県職員を派遣してもらってということを説明していただいたとこなんですけど、この方は1名だと思うんですけど、どんな役割をされ、日常的にどんな職務をされるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学校支援室の職員でございまして、今、後ろにいらっしゃる先生もそうなんですけれども、学校との連絡調整であったりとか、そういったことを主な職務としております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 126ページの一番上、市史編集業務218万ですか、これは、どういった方が、どういった回数、あと、内容は何をやってるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 市史編集業務につきましては、お二人の会計年度さんの人件費というふうになっております。

主な業務としましては、分庁舎の2階にあります市史編さん室の中にあります市史の整理、あと、寄贈品等の登録とか、そういったことを行っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

ほかに。

浅井委員。

○浅井たかお委員 117ページ、予算書117ページの、下の欄の真ん中辺の保険料、保険料が、これ、前は78万4,000円だったのが151万4,000円になっているんですが、この理由はどんなものでしょう。どこの保険でしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、放課後子ども教室に入る子は、みんな保険に入っていたくんですけれども、それをすぐに事業者さんにお支払いするので、今までは掲載してなかったんですけれども、今回から歳出としてここに計上して、歳入の雑入としても、その保険料を計上するという形に示したということで、現実としては変わっていないというところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書117ページの一番下の栄児童クラブの備品購入費なんですけれども、これ、新規ですけど、何を購入して、なぜ、これは上がってるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、栄児童クラブの登録者数は、来年かなり増えます。そういったことに対応するために、ランドセルロッカーであったりとか、シューズボックス

スであつたりとか、書庫、そういったものを購入するための費用でございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、資料ナンバー４の⑥の３、ようやく、２款で質問できなかったところですけども、これ、２階部分の部屋数が、かなり増えてるんですが、これは、児童クラブの占有というか児童クラブが使う形になるのか、どういうふうに運用されるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） こういったものを、まず、設置する場所としては、今、栄の放課後子ども教室として使っている部屋に設置をします。それは、長期休業期間については、より人数が増えるということもあって、ここの放課後子ども教室で使ってる部屋も活用するということを考えているので、そこにこういった備品を設置するということを考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの４の６の３のところでちょっとお聞きしたくて、パーティションの設置をしていると思うんですね。２階の部分がかなり増えてるので、そのあたりは。これ、児童クラブだけで使う……。どういうふうな運用を考えてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 失礼いたしました。パーティションの設置の意味としては、今、児童クラブで使っている部屋が１階と３階にあるんですけども、セキュリティの意味、例えば、職員室に行けてしまわないようにパーティションをつくるとか、あとは、その家庭科準備室の中に包丁とかそういった危険なものもあるので、そういったところに入れないようにするとかというところで、セキュリティの意味と危険防止という意味でパーティションは設置をするというふうに考えております。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、このパーティションだと、まず、北館のほうに行けてしまうんですかね。そうすると、その１階の放課後子ども教室も使つてというそういうふうな形

で運用するんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ふだんのときには、ふだんというか平日のときには、放課後子ども教室は、当然、放課後子ども教室で使っているので使えないんですけれども、長期休業期間については、この部屋も放課後子ども教室で使っている部屋も活用するといふところでございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 結局、定員数、登録人数は、何人から何人に増やすんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 定員は増やしませんけれども、登録人数は、今、令和7年度は172人が令和8年度で現時点で203名になる予定です。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 127ページ、一番上、土地等借上料1,302万円、これ、場所は、どこになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらにつきましては、文化会館費の中にありますので、文化会館の敷地と駐車場になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 広さは、どんだけになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 申し訳ありません、ちょっと、今、資料の持ち合わせがございません。申し訳ありません。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほど保留しておりました入学支援金の今までの実績ですけれども、平成28年度から19名というところになります。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの土地の借上げの下のところですけど、文化会館の営繕工事費300万、これは何を直す予定とかあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 文化会館の営繕工事費につきましては、こちらにつきましては、緊急工事というふうに割当てがされております。劣化もちょっと進んでおりますので、昨年よりも増額となっております。

あと、先ほどの借地の件ですけれども、平米数だけは分かりましたので、駐車場敷地の分は、ちょっと区分が分からないんですけども、全体で7,878平米を借地というふうに借りております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の128ページの真ん中辺りのプール開放委託料で52万4,000円っていう同額になっておりますけれども、これ、使うお子さんが限られてるかなというの、肌感覚であるんですが、これ、どのぐらいの利用者がいて、来年度同額ということですが、この事業のその効果とか分析とか、令和8年度、どういった見通しというのか、この事業自体の見直しをされて、今回、こういう計上されてるわけですけども、どういうふうにされてますでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらのプール開放委託料ですが、従来、学校のプール開放が行われていたり、昔は改善センターでありましたけど、今、それがありませんので、市内の豊明団地にあるスポーツクラブのほうでプールの開放のほうを行っていただいております。

日にちにつきましては5日間で、午前午後、人数が50人ずつだったと思われれます。50人ずつで1日100人で、500人ですが、実際の利用率としては、当市で300をちょっと割り込むぐらいの感じです。

ただ、子どもだけでなく、大人も水泳のほうを楽しむ場所となっておりますので、令和

8年度は継続という形で予算取りをさせていただきました。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書118ページの一番上の放課後児童健全育成事業の補助金が、これ、民間の学童保育かなと思うんですけども、増額されてるんですけども、多分、箇所数の何か変更があったのかってことと増額の理由、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 補助基準額がそもそも増額をしているというところがございまして、全体的に増加になったと。

対象となる事業者の数は、変更ありません。

以上でございます。現時点で。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 補助基準額の変更っていうのは、どうしてそういうふうになったのかっていうのと、あと、実際利用してる子どもも増えてるんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 補助基準額という、国の基準額が上がっているということと、人数というよりも、例えば、開所日数加算であるとか様々な加算要素があるので、その加算要素のそれぞれが上がっているというところもあって、かなり増額してるというところがございます。

以上でございます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、先ほど、文化会館の土地の件でして、駐車場と会館用地で7,878とお答えしましたが、駐車場のみで7,878、会館のほうの建物下が1,459平米ということでした。申し訳ありませんでした。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書119ページの真ん中の特別教室のエアコン設置工事費で3,392万ということで資料がありまして、ナンバー2の⑥、今回、豊小、大宮小、三崎小、館小ということで全部で22台設置するんですけども、これで特別教室は大体設置できてるんでしょうか。設置率とか分かればお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 率は、ちょっと分からないですけども、この今、ここに掲げている対象校については、おおむね設置が終わるというようなイメージです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

（はいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、ここにはない学校は、また今後するという考えですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 今後、設置したいというふうに考えております。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井たかお委員。

○浅井たかお委員 すみません、117ページ、先ほど御説明いただいた保険料のところ、151万4,000円のところなんですけど、先ほど御説明では、これまで載せてなかったっていうことで、子どもに掛けてる、放課後クラブの子どもに掛けてる保険っていうことだったんですけど、これまでもずっと保険掛けていて、今回ここに載せるっていったのは、ほかのところに載せていたんですかね、その金額は。どういうことでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 予算書には計上しておりませんでした。それはなぜかというと、すぐに事業者さんのほうにその保険料を支払うので……。

（さっき言ったじゃんの声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） それを計上していなかったんですが、今回は歳入にも歳出にもその保険料を掲載したというところでございます。

以上でございます。

（分かりましたの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の129ページの勅使グラウンドの駐車場改修工事のことを聞きたいんですけども、資料ナンバー1の⑧、ありがとうございました。この資料の説明をちょっとお願いしたいんですけど、何台ぐらい、これでとめれるようになるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） まず、こちらの駐車場の場所ですが、グラウンドのバッ

クネット裏の辺りの駐車場、ちょっと舗装の傷んだ駐車場があると思います。場所は、まず、そことなります。

現状の駐車場所、ちょっと線が見にくいですが、約26台ほど駐車できるようになっております。まず、その部分の舗装のやり替え工事を行います。線引きのほうも、きちんとさせていただきます。それ、プラス、この図面の右のとんがってるほうですね、「電」って書いてある四角の横の部分ですが、ここの部分にも、まだ駐車場の設置ができますので、こちらに、およそ6台分の駐車場の新設を行いまして、合計で32台の駐車場を確保しようというふうに、といった内容の工事となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ありがとうございます。

それが約1,500万円弱で、残りが塗装工事っていうのを聞いたんですが、これ、どこの塗装工事でしたっけ。

（塗装工事の声あり）

○ふじえ真理子委員 違うかな、福祉体育館等営繕工事費の中に入ってるのかなとちょっと思ったんですが、違ったか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、もし聞き違いだったら申し訳ないです、舗装、塗装ではなくて舗装工事ということで、アスファルト舗装をするやり替え工事になっておりますので、今、ちょっと下が割れてしまったりとかして、もこもこしてますので、そのアスファルト舗装を行う工事というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 それで1,900万ほどですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） そちらで、おおよそ1,496万ほどとなっております、残りにつきましては、体育施設、体育館を中心とした緊急工事費というふうに予算組みしてあります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで、そもそも今回1,500万ほどかけて駐車場を改修する理由。

あと、足りないとかそういう声は、あったんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 駐車場のほうは、利用者の方から、私も何度も現地に行っておりますけれども、大分傷みが激しいです。本当に割れてしまってるような状態になってます。

利用者の方からの声につきまして、大会等を行いますと、やはり駐車スペースが少ないといった声を聞いておりますので、今回、整備をさせていただくものとなります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところですが、夜間は施錠されるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちら、指定管理者の入った施設となっておりますので、夜間は、チェーンで施錠させていただきます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 127ページの陶芸の館管理事業、陶芸の館管理委託料ですか、93万9,000円と、これの委託先、あと、どういったものを使うのか、あと、利用状況、よろしくをお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） まず、委託先につきましては、シルバー人材センターというふうになっております。こちらにつきましては、毎日開館しておるわけではなくて、開館日に予約をしていただいた日に対してシルバー人材センターの方に行って施錠、鍵を開けてもらおうと、あと、火の確認をしてもらおうといったのが主な業務内容となっております。

利用者数につきましては、令和6年度中が1,172人、令和7年度は、2月末までですが777人というふうになっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書130ページの給食センター整備のところ、このモニタリング支援業務委託が出てます。新給食センターの関係だと思うんですけども、この687万5,000円ってというのは、令和8年度で、こういった業務を委託されるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

矢野センター長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 令和8年度に関しましては工事に入りますので、そういった工事の進捗管理であったり、あとは、定例会であったりそういったところへの参加、あとは、もし事業者と協議が生じた場合に弁護士を立てていただいて御意見をいただくというような支援をいただきます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて10款 教育費の質疑を終わります。

ここで、暫時休憩いたします。

午後3時52分休憩

午後3時56分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、11款 災害復旧費について説明を願います。

外山土木課長。

○土木課長（外山紀元君） それでは、11款 災害復旧費について説明いたします。

予算書131ページをお開きください。

2段目の11款1項1目 農業土木災害復旧費は、農業土木災害復旧工事費として5万円を計上しています。

その下の段、2項1目 道路河川災害復旧費は、道路及び河川災害復旧工事費として5万円計上しています。

続きまして、歳入について御説明いたします。

26ページをお開きください。

14款2項4目 農林水産業費国庫補助金として、右側説明欄2行目のとおり、農業土木災害復旧費補助金は、事業費の3分の2の3万3,000円を計上しています。

同じページの５目 土木費国庫補助金、説明欄の公共土木施設災害復旧費補助金は、事業費の３分の２の３万3,000円を計上しています。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

11款 災害復旧費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて11款 災害復旧費の質疑を終わります。

続いて、12款から14款までについて説明を願います。

浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） それでは、12款から説明をさせていただきます。

131ページをお願いいたします。

最下段の12款 公債費は、元金でプラス1,155万8,000円、利子でプラス671万6,000円となっております。

それでは、次のページをお願いいたします。

下段の13款 基金費でございます。13款 諸支出金は、基金への積立てでございます。財政調整基金積立事業から減債基金積立事業までは、利子のみを計上しております。

133ページをお願いいたします。

14款 予備費は、3,000万円を計上しております。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

12款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書131、132で、臨財債の元金の返済部分と利子が幾らなのか、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 元金が、まず、7億9,115万3,452円です。利子は、1,582万6,422円でございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて12款から14款までの質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのため、暫時休憩いたします。

午後3時58分休憩

午後4時1分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

一般会計の各款別の質疑が終了しましたので、総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の134ページの給与費明細書ですけれども、基本的なことを聞いて、ごめんなさいね、そのその他の特別職の方が、比較のところでマイナス370で、約3,000万ほど減額になっておるんですが、このその他の特別職っていうのは、どういった方か、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

川島市民生活部長。

○市民生活部長（川島康孝君） ちょっと細かい……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

(すみませんの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 失礼しました、統計調査員です。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結……。

(うちも挙げておったの声あり)

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 挙げとった、本当に。

一色委員。

○一色美智子委員 財政調整基金について、ちょっとお聞きいたします。令和8年度の当初予算の後の基金について、市の考え方をちょっとお聞かせください。さきの総務委員会で、標準財政規模の10%という発言がありました。これって、いろいろな団体の考え方が

あると思いますが、少な過ぎるように思いますが、市の見解はどのようなのですか、お聞かせください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御質問ありがとうございます。財政調整基金の10%という御質問が、たしか総務委員会で委員からあった件かと思いますが、確かに若干というか、かなり少な過ぎるかなというふうには思います。本年度も、令和7年度ですね、すみません、令和7年度も基金の繰入れは22億円ほど繰り入れて運営をしております。標準財政規模の10%っていうのは15億なので、15億の財政調整基金とか、そもそも利潤を繰り入れた運営が今年度もできなかったということになりますので、そういった財政調整基金が、今の額あったので、本年度も滞りなく運営できたというふうに考えておりますので、そういった点では、委員が御指摘のように、また、総務委員会の賛成討論などでも御意見いただいたような基金運営の考え方をしていくのが適切だというふうに考えております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書の136かな、技能労務職の方が4名減って、結構、退職されてるのかなと思うんですけども、これ、どのような職種の方が、減ってるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 清掃事務所ですとか、あと、今だと給食センターの調理員さんとかになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 何か広い話になるんですけど、人口動態としては6万8,000から6万7,000ぐらいで、総数はあんまり変わってない割には、外国籍の住民の方は3,000人そこから、もう4,500人とかそれぐらいまで、構成しているまちの性質がずっと変わり続けているみたいなことなんですけど、その上で令和8年度の予算に、例えば、それは年齢層が変わることとかにも関わりますけど、何か予算のレベルで何かポイントになった点があれば何かコメントしてほしいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これまでもですが、今回の予算についても変化していく豊明市に対応した予算が組まれているというふうに考えております。これまでも区画整理などを行ってきたのは、これからの豊明に必要なこと、こどもまんなかと掲げているのは、これからの豊明に必要なこと、そういった形で随時合わせながら実施をしておりますので、令和8年度も総合計画初年度の豊明市が目指すべき予算を組んでいると考えております。終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 目的基金のことをちょっとお聞きしたいんですけども、今回も、例えば、教育基金の中で増額した児童クラブの委託料に充てていたりとか、福祉基金も児童館の指定管理に充てていたりとか、こうしたその恒常的な経費に充当をすることが本来の基金の目的に合致してるという認識なのか、そのために、そういった恒常的な経費に充てるために今まで積み立ててきたという認識なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほど、一色委員からの御質問にもお答えをしましたが、基金は非常に今の局面では重要度が高まっているというふうに考えております。財政調整基金も、10%だと、愛知県でも、ほぼ下から3番目ぐらいになるような少なさですので、そういった対応は適切ではないというふうに思いますし、今、林委員は、基金の使い道ということでしたが、福祉基金も教育基金も基金条例の記載事項にのっとって充当をしておりますので、このような形で運営をしておりますし、もし林委員おっしゃるような形で運営をするのが、あたかも適切じゃないということで充当しなければ、その部分の財源が不足をして、場合によっては、その部分のサービスを見合わせるということになりますので、本市といたしましては、そういうことがないように、基金を使って必要なサービスを実施していくという考えでございます。そのために、こういった基金もございますし、前からお伝えをしておりますように、長寿命化対策及び扶助費の増加に対応してまいりますので、基金は非常に重要ですよということを令和3年の全員協議会のほうでも御報告をしたとおりでいうところでございます。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の回答で、例えば、令和7年度は3月補正で福祉基金が5億積み立てられて、今回の予算で見ると4億の充当があるということで、非常に財調の使い方と非常に似てきていると思うんですけど、そういう財調のような考え方で、この目的基金も運用されてるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 財政調整基金は、災害時のためですとか、設置が義務づけられております。福祉基金については、福祉の増進のために使用することができるということになっておりますので、あくまでもその目的のために実施をしておりますので、財政調整基金と同じではございませんし、扶助費が大変増加しているということは、この予算特別委員会の3款のところでもお伝えしたとおりですので、その福祉の増進をサービスを切り捨てるということをしないように我々としては基金を活用して実施しております。

終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の134ページ、先ほどの給与明細書のところの下のところ、住居手当、いつもあんまり変わらないことはないんですけども、今回、300万増えてるっていうのは、その市外よりも、その市内に住まわれている職員さんが増えてるっていう理解でいいんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 具体的に人数をちょっと数えていないので、はい、そうですとはちょっと言いにくいんですけども、300万ほど上がっているっていうところは、人も増えてるでしょうし、何ですかね、家賃のほうも上がってきて、半額っていうところでももちろん上限は決められているんですけども、上限以上に払うことはできませんが、上限以下だった方々が上限に近づいてきたような支払いをするっていうこともあるのかなっていうふうに思っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、技能労務職の方が減ってるっていうところで、人件費のところですけども、ただ、正規職員はかなり増えてるんですけども、特にどういった業務で増えて配置してるっていう、そういう考えはあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 技能労務職以外の一般の職員がってということですね。全体を見て、やはり、例えば、産休でお休みされてる職員であったり、復職してきても、働きやすいようにということで短時間勤務の職員が非常に増えてきております。そのために、頭数だけいても業務が回らないってということ、ありますので、そういったところにやはり人を充てていくってということで、全体の人数としては、ちょっと増えているっていう感じになるかと思います。なので、そういった職員の多いところ、保育士、女性職員が多いところだったり、男性職員も近年は育児休業とかも取る方もどんどん増えてきておりますので、そういった年代の方がいるところに人を充ててるって言ったほうが、どこの課っていうよりは、そういった年代の方が多くいるところに人が多く配置されているかなっていうふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 6款のときに農業委員会のことでちょっと触れたら総括でって言われたので、ちょっと違うかも分かんないんですが聞きます。農業委員会事業ってということで、予算書で95ページで982万円余、上がってるんですけども、いろんな、何だったっけ、コスト中施策評価書を見ていくと、その農地バンクとかを充実させて遊休農地の有効活用を目指すってことがうたってあるわけですけども、令和7年度、そのタブレット端末利用で日々のそういう遊休農地のパトロールして早期発見して有効活用の事例と、この令和8年度、遊休農地を減らすための具体策っていうのは、どういうふうに考えておられるか、何か目標とか立てていらっしゃるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

星子経済建設部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 遊休農地の対策といたしましては、引き続き農業委員ですとか最適化委員の協力の下、継続して現地をパトロールということで対応していくというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 特に令和8年度の目標、数値的な目標だとかっていうのは立ててないんでしょうか。新しいことは特になんないってことですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 特にございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結します。

ここで、理事者側の入替えのため、暫時休憩といたします。

午後4時14分休憩

午後4時17分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

特別会計及び企業会計について、説明及び質疑を行います。

議案第3号の国民健康保険特別会計について説明願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、令和8年度国民健康保険特別会計予算について御説明申し上げます。

1ページを御覧ください。

令和8年度国民健康保険特別会計の予算総額は56億2,330万円で、前年度と比較して1億2,260万円、2.1%の減額となっております。総額の減の主な理由につきましては、被保険者数の減が進んだことによるものです。

それでは、歳出から主なものを説明いたしますので、15ページをお願いします。

1款 総務費、一般管理費の右側事業欄、国民健康保険人件費でございます。前年度より951万2,000円増額の6,937万1,000円を計上いたしました。

続きまして、16ページでございます。

下の段、同じく総務費の賦課徴収費、賦課徴収事業でございます。前年度より464万5,000円増額の2,165万1,000円を計上いたしました。これは、主に子ども・子育て支援金制度に関連する電算関係委託料の増によるものです。

続きまして、17ページをお願いします。

下の段、2款 保険給付費です。19ページまで続きます2款につきましては、総額で前年度比9,089万4,000円減の37億5,619万5,000円を計上いたしました。減額の要因としては、

1項 療養諸費のうち、療養給付事業、療養事業、18ページの2項 高額療養費のうち、

高額療養事業につきましては、前年度と比較して、それぞれ1人当たり額は増加しているものの、被保険者数の減により総額として減額計上となったことによるものです。

続きまして、19ページをお願いします。

最下段、3款 国民健康保険事業費納付金です。これは、県へ納付する国民健康保険事業費納付金で、20ページ、21ページと続きますが、3款総額で前年度比4,622万3,000円減の16億7,530万4,000円でございます。新たに子ども・子育て支援金分納付金が追加されることなどから、被保険者1人当たり額が3,600円程度増額となりましたが、被保険者数の減により、総額として減となっているものです。

21ページを御覧ください。

下の段、4款 保健事業費の特定健康診査等事業費は、前年度比247万8,000円増の5,937万9,000円でございます。会計年度任用職員の報酬、電算関係委託料等の増によるものでございます。

続きまして、債務負担行為でございます。

5ページを御覧ください。

自治体情報システム標準化対応として、2,468万9,000円を限度額として計上しております。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、9ページをお願いします。

1款 国民健康保険税の令和8年度予算額は、新たな制度となります子ども・子育て支援金分も含んだ税率等改正を予定いたしまして、被保険者9,400人分の保険料とし、前年度比2.6%、3,101万6,000円増額の12億3,687万円を見込みました。

続きまして、10ページを御覧ください。

3款 県支出金の総額は、前年度比2.8%、1億975万4,000円減額の38億2,431万6,000円を見込みました。これは、主に、中段の保険給付費等交付金の普通交付金の減額によるものです。普通交付金は、市が払う保険給付に対して交付されるものでございます。

続きまして、11ページ、12ページをお願いします。

5款 繰入金の総額は、前年度比7.4%、4,388万6,000円減額の5億5,226万6,000円を見込みます。そのうち、一般会計繰入金につきましては、前年度比12.3%、7,388万6,000円減額の5億2,226万6,000円を見込みます。この減額の主な要因につきましては、右側のその他一般会計繰入金を前年度比40.8%、8,686万8,000円減額の1億2,622万9,000円と見込んだことによるものです。

中段、基金繰入金について、3,000万円と計上いたしました。7年度3月補正で計上させていただきました基金積立金を保険税負担の軽減に充てるために見込んだものでござい

す。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第3号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書ページが12ページ、5款1項1目 被保険者が減っているんですけど、1人当たりの保険税は、結果として増えるということです。一般会計繰入金のその他一般会計繰入金は1億2,000万円ということなんですけど、それだと少ないんじゃないかと思うんですが、どうですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 御質問の内容につきましては、被保険者と税率改定、それから、赤字の関係についての御質問だと思いますので、そのことについて回答させていただきます。

そもそも令和8年度の赤字につきましては、その他一般会計の中に5,000万円程度、それから、基金からの繰入れとして3,000万円程度、合計で8,000万円程度と見込んでおります。赤字につきましては、納付金に対する入の不足によるものでございます。その際の歳入につきましては、保険税額と、それから、県や国からの補助金、それから、赤字とみなされない繰入れによるものですので、それとの差が赤字となってまいります。

被保険者数が令和8年度につきましては減少と見込んでおりますが、税率改定の見直しで、税の総額としては増と見込んでおります。

一方、納付金については、総額として減少してきていますので、赤字繰入れが減る形となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 同じところでございます。先だってこの部分、繰入金で、昨年度より金額が上がったということで聞いたんですが、これ、法定外繰入れ……。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

（いい、いい。まだ途中……。の声あり）

○中堀りゅういち委員 法定外繰入れの部分、いろいろ説明欄で御説明は聞いたんですが、

法定外繰入れ、一番下の部分の説明欄の部分で、ちょっとよく聞き取れなかったので、この部分で充当されてるのかどうか、これ、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） その他一般会計繰入金につきまして、赤字とみなされる、いわゆる補填目的とされるものが、令和8年度につきましては4,961万9,000円と計上しております。それ以外、赤字に当たらないものとして7,600円程度を見込んでおりまして、そちらのほうは令和7年度と変わっておりません。ですので、令和7年度の際には、補填目的が1億3,600万円程度と見込んでおりましたので、その差の部分が赤字が解消された部分でございますし、令和8年度につきましては、その4,661万円程度と、3,000万円基金から繰り入れる部分が赤字となります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと単純な質問なんですけど、例えば、予算書21ページの上の子ども・子育て支援金の納付分というの、今回から新しく出てきて、3,600万納付すると。9ページの歳入見ると、2,200万の、これ、現年度の徴収分と。この差額は、赤字繰入れになるってことなんですか。ちょっとその辺、説明をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 先ほどからの御説明とかぶる部分があるのですが、税額イコール納付金ではなくて、税にさらに補助金等のインセンティブ補助金も含むのですが、そういったもの、それから、補填目的とみなされない歳入とも、いろんなものを充てた上で、さらに残る部分が赤字となります。ですので、委員のお尋ねになられた、その子ども・子育てに関する部分も、そうした差が出る部分でございます。

以上です。

（ちょっと確認、ごめんなさいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、例えば、子ども・子育て支援金部分だけで見た場合の赤字繰入れがどれぐらいかっていうのは、分からないですかね。それは難しいですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 具体的にその積算は難しいのですが、ですが、今年度、ある程度、令和8年度につきましては、標準保険料率に近い形で子ども・子育て分を充てておりますので、その分では、子ども・子育てに関連する部分は少ないのかと見込んでおります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書18ページ、2款2項1目 療養給付費は、令和8年度当初予算のほうで1億円減額していますが、高額療養費は、令和7年度当初予算よりも1,600万円増額しています。被保険者の減少と全体に占める高齢者の割合などは、どうなっていて、この見込みの額になっているのか、国県からばらばらに動いていくこれらのパラメーターに対する計算式みたいなものは、示されてるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 御質問の内容が3つぐらいあったかと思いますが、順番に答えさせていただきます。

まず、被保険者数の減少と高齢者の占める割合でございますが、被保険者数は9,400と見込んでおり、高齢者、前期高齢者につきましては3,120と見込んでおります。こちらのほうは全体の33.2%で、令和7年度より若干減る形になっておりますが、団塊の世代がある程度ボリュームのある状態で抜けておりますので、その部分、前期高齢者の割合が若干減った形となっております。

療養給付費と高額療養費の見込額の積算についてでございますが、それぞれ、ともに1人当たりの医療費をある程度見込みます。そちらのほうは、診療報酬改定のことですとか、愛知県とか国の動向などを見ながら見込むものでございますが、それに保険者の負担率を掛けて、さらに、そこに被保険者数を掛けて積算しております。

近年、保険者の負担率が上がっておりまして、その背景としては、少し前は高齢化によるものだったんですが、今は高額な治療の影響などで、いわゆる高額療養費制度は頭切りをしてその上を払うものになりますので、高額な治療などによる影響がそこに出ているものでございます。

3つ目です。何らかの計算式が示されているものかというところでございますが、この出し方は、豊明市の独自の出し方でございますが、先ほど申し上げましたように医療費の出し方については国県のデータを見ながらでございますし、過年からの豊明市の特性なども

踏まえた上での算出方法となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書18ページの一番下、出産育児一時金が1,650万であるんですけど、利用実績がどのくらいあるのかというと、来年度も、このくらいあるというふうに見込んでいるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 令和8年度、33件と見込んでおりますが、大体実績を踏まえた見込みとしており、今後もその予定をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、19ページのほうの下から2つ目の傷病手当金が今回ゼロになってるんですが、これは、やっぱり利用が今までなかったということなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 傷病手当金につきましては、コロナの際に設けたものでございます。コロナの5類の移行により遡及期間も終了したことで、ゼロとしたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 17ページの保険給付費の一番下、審査支払委託料1,100万、これ、何の審査になるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは、レセプト等の審査によるものです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 16ページの下の方の電算関係委託料が、かなり増額されてるんですけど

も、これは、今回、どういったことをされるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

（16ページ。ちょっと待ってくださいの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 電算関係委託料、子ども・子育て支援金に関する制度対応システムの改修500万円程度を含んでおります。令和7年度につきましては、そのシステムのプログラムをつくる目的で補正予算を上げさせていただきましたが、令和8年度につきましては、基幹システムとの組立てということで上げさせていただいているものです。以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 21ページの特定健診ですけど、一番下なんですけど、未受診者対策委託料です。これ、受診率って、どのぐらいなのでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 特定健診の受診率につきましては、大体44%程度となっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 44%ということですね。

何か対策とか立てているのでしょうか、そういった受診率を上げる。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 先ほど委員が御質問になられた未受診者対策委託料がまさにそれでございます。未受診者の方に対して、その傾向に応じて受診勧奨するためのものです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この今の未受診者対策っていうところなんですけども、これ、どこに委託されてるのかっていうことと、これは市ではできない業務なんですか。なぜ委託になってるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは国保連のほうに委託をしております、市ではできない理由といたしますか、国保連のほうで特定健診等のデータを本市だけではなく全県的、県下全域を取りまとめる形をしておりますので、そうした対象者分析というのがより効率的にできるということで委託をしているものです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 ちょっと勉強不足で申し訳ないんですけど、13ページの第三者納付金って、これは、何なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 第三者納付金につきましては、交通事故など、第三者によって傷害を受けた一般被保険者の医療費のうち、国保負担分を損害賠償権を行使して第三者から納付いただくものになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書21ページ、4款1項1目 特定健診の事務事業か、もしくは、健康診査委託料かだと思うんですけど、去年初めて集団健診へ行っただけですけど、会場が何か混み合ってた、もうちょっと回数とか条件増えたらいいなと自分の体験として思ったんですが、令和8年度のこの費用の中で、今、お話ししたような回数が増えたり、あと、男女に分かれて特定の日がちがもともと指定されるような格好だったと思うんで、それが、何ていうのかな、緩和というか充実するっていう予定はあるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 特定健診の委託料につきましては、この内訳としましては、医療機関方式によるものが、保健指導も、これ、含んでおりますので、健診だけでいいと2,900万円程度が医療機関方式で、集団方式につきましては890万円程度となっております。やはりいろんな個人、いろいろ働く方の忙しさですとか、あと、個人的に、人になるべく自分の時間に合わせてというような形で医療機関で受ける希望の方が増えて

おりますので、集団方式については、だんだん会場の見直しを進めていく方針としております。

先ほどおっしゃられた男女比につきましては、がん検診等と一緒にやることによって補助金のほうがポイントがもらえるみたいなのところがございますので、そういったことも考慮した上で、会場、回数等を決めております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書10ページの真ん中の保険者努力支援分のところなんですけれども、これが減少している理由は、どのように考えているか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 努力支援分の減少につきましては、3月補正でも同様に500万円程度減をさせていただいております。そのときにも申し上げましたが、いろいろメニューですとかポイントの分配具合が変わったことによるものですが、本市で、今、この補助金で一番ポイントが減ってきているのは、安定経営赤字繰入れに関するところでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の特別調整交付金分というのがあるんですけど、これは、どういった交付金になるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらのほうは、県に交付された国の特別調整交付金のうち、市町村分に当たるものと、あと、国のほうの制度改正に合わせて10分の10交付されるようなものとなっております。

令和8年度につきましては、先ほど御説明いたしました子ども・子育て支援金等のシステム改修費等も10分の10として入っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 22ページです。一時借入金利子償還事業ですけど、一時借入金利子27万7,000円なんですけど、一時借入れの、これ、何を借りたのかだけ、お願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） こちらにつきましては、国保特会が歳計現金が不足した場合に、地方公共団体の金融機構から借り入れて、それを年度前に償還するものとして挙げております。ですので、この27万7,000円というのは、借入金に対しての利子でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 初めに、当初予算の説明のところでちょっと一部読み間違いをしたかもしれませんので、確認をさせていただきたいと思います。

11ページ、12ページのところの説明で、私、先ほど、そのうち、一般会計繰入金につきましては、前年度比12.3%、7,388万6,000円減額の5億2,226と言ったかもしれませんが、正しくは、5,226万6,000円でございます。

以上です。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第3号の質疑を終わります。

続いて、議案第4号、土地取得特別会計について説明願います。

田木総務課長。

○総務課長（田木 勇君） それでは、議案第4号 令和8年度豊明市土地取得特別会計予算について説明いたします。

予算書の1ページを御覧ください。

令和8年度の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,040万円で、昨年度より620万円の増額です。

歳出から説明をいたしますので、8ページを御覧ください。

上段の1款1項1目 土地取得事業では、当会計の所有する土地を維持管理するための測量、杭の復元や草刈りなどをする費用として、測量設計等委託料に28万4,000円を計上しております。

下段の2款1項1目 土地開発基金繰出事業では、預金利子を基金に積み立てる予算として1,011万6,000円を計上しております。

続きまして、歳入を説明いたしますので、7ページを御覧ください。

1 款 繰越金、1 項 1 目 1 節 繰越金は、前年度と同額の1,000円です。

その下、2 款 諸収入、1 款 1 項 1 目 1 節 土地開発基金借入金は、当会計の所有する土地を維持管理するための費用として、基金から28万3,000円借入れするものです。

下段の2 項 1 目 1 節 預金利子は1,011万6,000円で、前年度と比較して612万3,000円の増額です。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第4号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 8ページの測量設計の委託料ですけども、ちょっと維持管理っていうことだったんですけど、これ、中身は、どういったことになりますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 土地取得特別会計で所有している土地について、どこをやるかはまだ決まっていないんですが、杭の復元であったりとか、場合によっては、雑草等、草刈りが必要な場合に執行させていただく予算となります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっとどっかで聞いたかもしれないんですけど、改めて、今、この土地取得会計の中で取得している土地の広さであったりとか、あと、取得してる目的って、どういうふうなのがありました。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 現在、土地取得特別会計で所有している土地については、面積合計でいいますと、7,819.60平米になります。

目的として主なものは、事業の代替地というものになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 目的の事業の代替という、具体的な何か事業が何かあるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 都市計画道路との街路用地の代替地として所有しているようなものがメインになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第4号の質疑を終わります。

続いて、議案第5号、墓園事業特別会計について説明願います。

松本環境課長。

○環境課長（松本裕介君） それでは、令和8年度墓園事業特別会計予算について御説明いたします。

当初予算書3ページを御覧ください。

墓園事業特別会計の予算総額は2,370万円で、前年度比2.1%、50万円の増額です。

それでは、歳出から主な事業について御説明いたします。

9ページを御覧ください。

1款 総務費、1目 一般管理費、墓園維持管理事業714万6,000円の主なものは、指定管理料です。

墓園管理基金積立て事業は、積立金76万1,000円で、墓園の管理、運営に要する費用に充てるための積立てです。

一般管理事務事業は603万2,000円で、主なものは永代使用料の還付金です。

続きまして、歳入を御説明いたします。

7ページを御覧ください。

1款 事業収入のうち、主な事業である墓園の永代使用料760万2,000円は、実績から見込んでおります。

3款 繰入金1,259万円は、墓園管理基金からの繰入金で、歳入歳出の不足分を手当てするものです。

次のページを御覧ください。

4款 繰越金350万5,000円は、前年度の収支から見込みまして、150万5,000円の増額としております。

以上で墓園事業特別会計予算の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第5号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 7ページのところで一番下の繰入金、基金繰入金で1,259万ということで、基金残高は、どうなるのでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 基金残高に関しましては、令和7年度末時点で1億1,250万5,000円を想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。

○環境課長（松本裕介君） はい。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 概要の20ページのナンバー96、勅使墓園駐車場に防犯カメラを設置するってということですが、これ、何台分かということと、設置する理由と。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 1台分を想定しております。

設置する理由としては、墓園の駐車場に出入りする車を映す防犯対策です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 何か事件があったんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 事件はありませんが、今は、カメラがないので、いろんなことの抑止のために防犯対策をしたいということになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 7ページの永代使用料ですけど、これ、何基分で積算されてます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 18基分で積算をしております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 かなり積算減ってきて、実際に応じてということなんですけども、それによって基金もどんどん取り崩すような状況なんですけども、これ、対策は何か考えられてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 対策というか起債の償還が令和8年度で終了いたします。そうしますと、大きな歳出という部分がなくなってまいります。ただ手をこまねているわけではございませんので、永代使用料の増加のためのPR、お墓、実は市外のショッピングセンターにもチラシのほう、置かせていただいておりますので、いろんなPRをさせていただいて購入される方を増やしていきたい。墓園の中のサービスについても充実させていきたいというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の9ページの営繕工事費の内訳なんですけれども、これ、手おけ棚の設置を検討というのを、前、読んだんですが、設置するんだったら、どこを考えてるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、既に1台分、今月中に設置をさせていただきます。それは、区画でいうと、もともとある区画なので、衛生大から入ってすぐ左側の区画で、トイレ側の手前の部分を、今、想定してて、それを充実させていきたいという部分と、営繕工事費に関しましては、先ほどの防犯カメラ設置工事費が含まれております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第5号の質疑を終わります。

続いて、議案第6号、介護保険特別会計について説明をお願いします。

今枝長寿課長。

○長寿課長（今枝 翼君） それでは、令和8年度介護保険特別会計予算について御説明させていただきます。

議案第6号、8ページを御覧ください。

表の一番下、令和8年度予算の総額は59億5,820万円で、前年度と比較して2億4,680万円の増額となっています。

初めに、歳出の主なものについて御説明します。

1 款 総務費は、2 億394万3,000円、前年度より2,283万8,000円の増額です。主な要因は、17ページ、右側説明欄の下から8 項目めの電算関係委託料と18ページ一番上、契約精算金との合計で1,721万1,000円の増額及び20ページ、上の表の右側説明欄の一番下、介護保険事業計画等策定業務委託料485万1,000円の増額によるものでございます。これらは、12月議会にて債務負担行為をお認めいただいた自治体情報システム標準化対応業務事業及び第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託事業に係る費用に加え、介護保険制度改正に伴うシステム改修に係る費用となります。

先ほど御説明した契約精算金ですが、これは、標準化移行に伴い、現在使用している介護保険事務支援システムに係るハードウェア等の賃貸借契約を中途解約することから、5年の契約期間のうち、残り1年間の賃借料分に相当する金額を違約金として支払うための費用でございます。

なお、本支出については、国の補助金が10分の10充当されます。

次に、20ページ、下の表からが2 款 保険給付費です。全体として高齢化の状況から、前年度より2 億2,960万1,000円、約4.3%の増額とし、合計55億896万6,000円を計上しております。

次に、26ページをお願いします。

真ん中の表、3 款1 項2 目の右側説明欄、介護予防ケアマネジメント委託料709万5,000円は、地域包括支援センターの体制強化のための費用を国の制度改正に伴い、本費目から支出するものでございます。

続いて、27ページ、上の表、3 款2 項1 目 一般介護予防事業の右側説明欄の下から3 項目め、介護予防事業備品購入費406万3,000円は、現在老人福祉センターで実施しているらくらすの送迎用車両を更新するためのものでございます。

続いて、歳入の主なものを御説明しますので、7 ページをお願いします。

1 款 介護保険料は、65歳以上の被保険者が納める保険料で、前年度とほぼ同額の12億8,176万8,000円を見込んでおります。

3 款 国庫支出金は10億7,717万円、4 款 支払基金交付金は、40歳以上65歳未満の方の保険料に当たるもので、15億2,287万6,000円、5 款 県支出金は8 億2,647万6,000円と、いずれも介護給付費等の支出増の影響によるものでございます。

7 款 繰入金は、給付等に対する制度上の市費負担分や、事務費、基金繰入金等に係るもので、12億4,969万円、前年度比1 億244万円の増額としており、うち、介護保険準備基金繰入金は、2 億9,446万4,000円となっています。

続いて、5 ページをお願いいたします。

第2表 債務負担行為について御説明します。

介護認定調査システム導入事業は、令和9年度のシステム導入に向けて、契約準備行為等を進めるものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第6号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書のページは、8ページの歳出で、給付費、保険の給付費は増額しているんだけど、1ページ戻った7ページの介護保険料、納めるほうの金額は、ほとんど同額ということです。加入者の増減とかも含めて、どう考えればいいかについて答弁していただきたいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 加入者の人数については、若干減少、本当に微減で、ただ、金額としては、ほぼ同額というふうになっております。

保険給付費の伸びと加入者の数なんですけれども、令和6年度、7年度、8年度で、基本的には3年度の合計で、合計の見込額を基に歳入は組みます。ただ、保険料も実は3年分、上昇基調で見込んでおります。その3年の最終年が令和8年度になります。したがって、保険料は、大体ほぼ3年一緒のペースでもあるものに対して、保険給付は、6年より7年、7年より8年が伸びておると、そういった状況でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 その上で、もともと予測というか立てていたものについて、この金額の給付の伸びが、おおむね考えてたとおりかなという感じなのか、その辺について伺いたいですね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） おおむね見込みのとおりで推移しておるというふうに捉えておるんですが、若干、保険給付費が思ったより伸びてないかなという印象ではございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 予算書20ページ、今の保険給付費のところで、いろいろ介護サービスの給付費で伸びが出てるんですけども、その中でも、やはりこの居宅介護サービスだったりとか、21ページの居宅の福祉用具とか、居宅関係の伸びが思ったより伸びてないような気がするんですね。これはどういうふうに分けられてるのかちょっとお尋ねしたいんですけども、そういった介護サービス、何ですかね、訪問介護が足りないとか、そういうような状況はないかどうか、どのように考えてますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 委員おっしゃるとおり、全体の伸びは約4%で、実は施設がそれ以上伸びている。逆に、居宅サービスは、それほど伸びて……、2%程度だったと積算をさせていただいております。そちらの受け止めなんですけれども、基本的には、サービスの供給不足というよりは、やはり介護度が重度の方が多くて、施設サービスを使う方が増えておるといふふうに捉えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 10ページが一番下、保険者機能強化推進交付金というものがあるんです。これは、1,000万か、これ、こういったもので、どういう条件で来るものなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） いわゆるインセンティブ交付金と呼ばれるものでして、市町村の介護予防の状況等によって金額が決まってくる国庫の交付金になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 最初、26ページの真ん中の介護予防ケアマネジメント委託料、これ、新規だと思うんですけど、こういった内容の委託なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） こちらは、今、実際に介護予防ケアマネジメント費というのから説明させていただくと、こちらは介護給付につながるもの……。ごめんなさい、総合事業ですね、介護給付ではなくて総合事業につながるもので、介護予防ケアマネジメント費というのをこちらの節から支出をしております。その中には、保険サービスの対象者ではなくて総合事業の対象者という形で、総合事業のサービスにつながらずに、例えば、外出を支援すれば、その方の介護状態は保たれるだろうと、そういったアセスメントがされた場合には、そういった形で、例えば、地域のサロンとか通いの場につなぐと、そういった機能がございます。そちらのものに対して評価を、金銭評価というか評価をさせていただくような形になります。そういった現在やっている動きに対して金額をつけさせていただいておるというところになってございます。そちらは、繰り返しになるんですけども、国の要綱の改正により、こちらの費目でも支出ができるようになったことから、今回、新規に計上させていただいたということでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところなんですけれども、これを、その委託をするというような感じになろうかと思えますけれども、これ、委託先は、包括とかそういうことなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） おっしゃるとおり、3包括、全てに対して人件費のところに充てさせていただくということを想定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 18ページの一番上の説明欄のところ、契約精算金373万1,000円、これについて御説明ください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 分かりました。

○浅井たかお委員 これについて、どういったものか教えてください。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） こちらは、介護保険事務支援システム標準化移行に伴いまして、こちらが、現在、ハードウェア等を借りておる契約が期間満了前に契約が終了するも

のですから、違約金として払うものです。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 17ページの下の電算関係が増額してる、これは何の電算関係でしたっけ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 電算関係委託料につきましては、通常のものが、若干、やはり増えている、件数が増えたりだとか、基本的には人件費単価になるものですから、そういったものが増えているものに加えて、今回、保険料のところで、条例改正をさせていただいた内容ですとか、令和8年6月に報酬改定を国のほうで予定しております。そういったものに対応するための予算として計上させていただいたものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、通常のもので、今までの1,300万ぐらいでっていうふうですか。内訳は、どういうふうになってますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ごめんなさい、お待たせしました。内訳ですね、介護保険システム保守ですね、システム保守と電算関係を合わせて、大体、1,500万程度になります。ごめんなさい、そちらと、制度改正対応が400万強ですね、あと、標準化対応の外づけシステムというところで、これ、債務負担をお認めいただいたものが、このうち、700万円入っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第6号の質疑を終わります。

続いて、議案第7号、後期高齢者医療特別会計について説明願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、令和8年度後期高齢者医療特別会計予算に

つきまして御説明申し上げます。

1 ページを御覧ください。

令和 8 年度後期高齢者医療特別会計の予算総額は、16億7,910万円で、前年度と比較し 2 億3,090万円の増額でございます。

それでは、歳出から主なものを説明いたしますので、10ページをお願いします。

下の段、1 款 総務費、徴収費で前年度比130万円増の935万2,000円は、徴収事業の電算関係委託料等の増額によるものです。

続きまして、11ページを御覧ください。

中段、2 款 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。これは、愛知県後期高齢者医療広域連合に対し、被保険者から徴収した保険料と一般会計から繰り入れる低所得者の保険料軽減分とを併せて納付金として納めるものでございます。令和 8 年度は16億4,811万1,000円と、前年度比 2 億2,758万6,000円の増額となっております。これは、被保険者の増加と子ども・子育て支援金制度の開始等により、保険料収納額の増額が見込まれることによるものです。

続きまして、歳入の御説明をいたしますので、7 ページをお願いします。

上段、1 款 後期高齢者医療保険料は、被保険者 1 万1,450人分の保険料で、前年度比17.4 %、2 億1,272万1,000円増の14億3,809万1,000円を見込みました。

下の段、3 款 繰入金につきましては、事務費及び低所得者の保険料軽減分を市が負担するもので、前年度より1,636万9,000円増額の 2 億3,656万2,000円を見込んでおります。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） いいですか。説明は終わりました。

議案第 7 号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 11ページの先ほどの後期高齢者医療の広域連合への負担金の 2 億増のところで、今、子ども・子育て支援分が増えるというような話がありましたけど、これは、実際に、その徴収保険料の中で、もう子ども・子育て支援金の分の徴収というのが加味された状態なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 加味された状態です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 ちょっと待つて。

予算書7ページ、歳入の1款1項1と2だ、特別徴収と普通徴収で、普通徴収の金額もそうだけど、その伸び方の割合が大きいように思うんですけど、まず、普通徴収は、特別徴収じゃないんだから、自力で、その発行された紙の割賦なんかを使って払い込む人ってということですよ。まず、確認です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） おっしゃるとおりです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 というと、単純に見ると、より加入者全体の中での貧しい人が増えてるみたいな感覚になるんですが、そういう見込みっていうのは、何かどうなんですかね、正しいですかね。何か違うのかな。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、特別徴収から自動で普通徴収に切り替わる条件について、ちょっと御説明をさせていただきたいと思うのですが、介護保険、基本的には特別徴収というのは介護保険優先で、さらに年金額が2分の1残るようにというのが条件となっております。近年、保険料のほうが上がってきておりますので、そちらのほうに切り替える方も一定程度出ているのかなというふうには予測しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 ちなみに、この、さっき自分でも言ったんですけど、普通徴収だと、これ、収納は、今……。

これ、一般質問になるのか……。

収納は、コンビニとかではできず、役所の自力なんでしたっけか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） コンビニ徴収につきましては、標準化に移行した後、進めていく予定としております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 全体の、これは昨年の、別な資料だったかな……。もし自分が分かっ
てなかったら申し訳ないです。令和7年度のところでは、当初予算に加入者の数字も一緒
に書いてあったもんだから、どこを見ればいいんでしたっけ。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 当初予算の概要のほうを御覧ください。

当初予算の概要で、先日、修正を入れさせていただきましたが、10ページに被保険者数
と特別徴収、普通徴収の人数を載せさせていただいております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 最初、10ページの電算関係の委託料の増というのは、7ページの歳
入の子ども・子育て支援金制度の整備というふうな理解でいいです。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 電算関係委託料の増につきましては、そのうちの99万
円につきましては、子ども・子育て支援制度でございます。それ以外につきましては、そ
れぞれ単価等の増によるものでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第7号の質疑を終わります。

続いて、議案第8号、水上太陽光発電事業特別会計について説明願います。

松本環境課長。

○環境課長（松本裕介君） 令和8年度水上太陽光発電事業特別会計予算について御説明
いたします。

予算書の3ページを御覧ください。

令和8年度予算総額は7,340万円で、前年度比1,050万円の増額です。

それでは、歳出から御説明いたします。

9ページを御覧ください。

1款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費のうち、一般管理事務事業は2,671
万3,000円で、前年度比524万4,000円の増額です。主なものは、保守管理委託料1,240万8,000

円です。

太陽光発電管理基金積立事業は300万円で、前年度比200万5,000円の増額です。

10ページを御覧ください。

3款 公債費、公債費元金償還事業ですが、これは建設当初に起債したもので、2,829万4,000円です。

4款 一般会計繰出事業ですが、これは一般会計への繰出金で、395万1,000円を見込んでおります。

続きまして、歳入を御説明いたします。

7ページを御覧ください。

1款 事業収入は、電力会社へ売電する収入として、ほぼ前年度同額の5,939万7,000円と見込んでおります。

3款 繰越金は、1,400万円と見込んでおります。

以上で水上太陽光発電事業特別会計予算の説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第8号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 予算書9ページ、2款1項、1目の太陽光発電建設事業の営繕工事費、総選挙のときさ、現場行ったらさ、何か東郷から何かせり出してきてんじゃん。あれでふだんのメンテナンスとか営繕工事費のやりやすさとかで金額に影響とかって出るのかな。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 東郷町からせり出したほうからだと、豊明市側から行けまさんのので、その影響はございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 上のとこの保険料がかなり上がってるのは、保険の内容が何か大きく変わるんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、保険の内容は令和7年度と同様であるんですけど

も、令和6年度は盗難事件がありまして、盗難のついている保険に令和7年度に入ったと。ですので、令和8年度も盗難の補償のある保険に入りたいと思いますので、金額としては、当初として見ると増額になっておるということになります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、7ページの上の売電収入が少し増えてるんですけども、今まで結構減少傾向だったんですけど、これは、発電量は上がる見込みなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 売電予測としては、令和5から令和7の平均で見えております。ただ、パネルの交換であるとかもろもろやっておりますので、逆に食い止めたいなというふうに考えております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっとすみません、聞き取りづらかったですけど、上がってくっという、売電量が増えてくという見込みっていうことでよかったですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 増えてくというか、予算で見ると微増ということになりますけれども、実際には、当然、パネルは劣化していきますので、その劣化のほうを食い止めていくという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 9ページのこの保守管理、太陽光発電保守管理委託料1,200万円余、今、劣化してくパネルを取り替えるというのは、そういうこの保守管理委託の中に入ってるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 劣化しているかどうかを見ていただくという分が保守管理に

入っております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 その下の草刈委託料で、たまたま通ったときに、結構ぼうぼうってなってるのを今年かな、見たんですけれども、草。これは、保守管理業者が、どのぐらいの頻度で現地を訪れるか分からないんですが、それを見て、草を刈ってよって言って、草刈委託料を業者に依頼する形なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、保守管理業者は、パネルの上の草というか、伸びた草を保守管理のほうで刈ってます。この草刈委託料については、階段であるとか、カラーコーンが建物を囲ってあるんですけど、その周りの草刈りを想定しておりまして、こちら、保守点検の会社と連携して発注するという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第8号の質疑を終わります。

続いて、議案第9号の下水道事業会計について説明を願います。

青山下水道課長。

○下水道課長（青山康徳君） 議案第9号 令和8年度豊明市下水道事業会計予算について御説明いたします。

予算書の1ページを御覧ください。

第2条の2、年間総排水量597万6,800立方メートルで、前年度とおおむね同水準を予定しています。

第3条は、収益的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入の第1款 下水道事業収益は12億4,510万6,000円、前年度比6,286万3,000円の減です。

支出の第1款 下水道事業費用は12億4,510万6,000円、前年度比1,286万3,000円の減です。

第4条は、資本的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入の第1款 資本的収入は1億7,467万6,000円、前年度比1億4,394万2,000円の減です。

ページを1ページお進みください。

支出の第1款 資本的支出は、5億1,669万4,000円、前年度比1億4,193万7,000円の減です。

第5条は、企業債について定めるもので、限度額は、当該年度に実施する工事、負担金の起債予定額合計で6,720万円と定めています。

第6条は、一時借入金の限度額を1億円と定めるものです。

第8条は、議会の議決を得なければ流用することができない経費について、職員給与費とするものです。

第9条は、一般会計からの繰入金である他会計補助金を8,856万9,000円とするものです。

以上で説明を終わります。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 説明は終わりました。

議案第9号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、確認ですけれども、2点。1点目は、都市計画税は、今回は一般会計からは入っていないというふうの理解でよいかということ。

それから、今回、一般会計からの出資金が入っていないんですけれども、その理由をお願いします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 今年度も都市計画税については、引き続き充当の予定がございます。

2点目の出資金についてですけれども、企業債元金の償還が進んでおりまして、返済が進んでおるため、出資金のほうは、今回、予算計上ないという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 都市計画税の充当あるってということなんですけれども、たしか下水道料金を引き上げて、その分、都市計画税を充てないというような話だったかなと思うんですけれど、今回は下水道料金上げて都市計画税も充当するっていう、そういう会計になっていますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 都市計画税の充当額については、減少はしているんですけれども、全くなくなっているっていう会計ではなっておりません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 それで、当初予算の概要20ページの、これ、何番だ、100だ。全県域污水適正処理構想計画事業、読めた、国の方針の変更と法改定によって、ついこの間だけど、下水道の在り方が大分変わると思うんですけど、昨年末までに分かっている状況や方針に基づいて計画を見直しのためというこの当初予算の提案だから、予算額なんかもそういう金額だっていう考えでいいですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） こちらの予算につきましては、2つの計画変更業務を予定しておりまして、まず、1点目が令和7年度に全県域污水处理構想の見直しを行っております。それに伴う下水道事業の基本計画の変更業務、2点目は、浸水被害対策の雨水貯留施設を事業計画に位置づけるための変更業務の2点を予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 資料の5の2ですか、下水道総合地震対策事業ですね、その1番目の污水管渠耐震詳細設計業務ということで、沓掛町地内ということなんです。これ、具体的に場所と、長さは、どのぐらいなのでしょう。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 場所につきましては、下高根、上高根、小所を予定しております。対象としましては、マンホール15基の予定です。

以上です。

（長さはの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 長さは、どんだけなんですかね。

（今回につきましてはの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康德君） マンホール、15基を予定しております。管渠ではなく、マンホールが対象となります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー5の③、資料、ありがとうございます。

先ほどの計画の計画事業見直しとちょっと関連するかもしれませんが、この浸水被害の対策の、今回、これ、計画変更の業務で上がってるんですけども、もともと、たしか吉池団地とか中央公園、それから、大久伝公園や井ノ花の公園に、そういった貯留施設というかを準備して、そういった浸水対策をするという計画だったと思うんですけど、それが、これは変更になるってことなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 計画自体が大きく変更になるということはございませんでして、今年度、吉池団地地区の雨水対策の基礎調査を行っております。おおむね必要な対策っていうのは決まっておりますので、令和8年度につきましては、その内容を事業計画に位置づけをしていくということを予定しております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、ちょっと結構前から治水対策計画の中で吉池公園に造るというような計画があったんですけど、それはどうなってるんですか。今回の予算には上がってなさそうなんですけども、どのような計画なんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 先ほどと同様になりますけれども、吉池団地地区の雨水対策の必要な施設であったりだとか工法を検討しました。その内容が固まりましたので、その内容を来年度、令和8年度は事業計画に位置づけまして、計画を推進していくという形になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 事業計画に組み込むということも分かるんですけど、実際に、早く、すごい雨量があると浸水するから、そこに必要だという計画だったと思うんですね。結構

前からそういったことが挙げられてたんですけども、実際のこの工事を進めるのは、どういう考えなんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 事業計画に来年度位置づけをしまして、さらに、その後、詳細設計、工事っていう形に入っていくという予定でございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 予算書の7ページかな、歳出の流域下水道管理負担金、これ、毎年同じようにあるんですが、3億4,000万ほど。この負担金のその積算の根拠を知りたいんですが、お願い……。

資料、私……。

（資料じゃないの声あり）

○ふじえ真理子委員 私がやってるの。出てる。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 何番になるの。

○ふじえ真理子委員 出たね。ごめんなさい。資料請求で、ありがとうございました。

じゃ、あと、質問、変えていいですか。今年度の補正でPPPを調査の東郷町と一緒にやるのがあったんですが、この新しい新年度当初予算に、その関係っていうのは、どっか、出てるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康德君） 令和8年度につきましては、予算計上ございません。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの5の①の一番上、これ、恐らく東郷町との共同による点検だと思うんですけども、予算書でいうと21ページの上の上から3行目ですかね、に広域・共同化の負担金収入で700万入ってます。700万入ってきていて、負担の金額が、これ、1,540万ということで、これ、豊明のほうが多いような契約なんですかね。以前は、何か、700万と700万で、1,400万というふうだったと思うんですけども、どういう契約で、どういう内容になってますか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） そうですね、令和８年度1,540万を見込んでおりまして、これ、豊明、東郷両方合わせた金額になります。豊明のほうで840万、東郷のほうで、およそ700万という形の内訳になります。点検の箇所数によって内訳のほうは金額が変わってきますので、そういった積算になっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、昨年度の負担金、豊明の負担金が700万なんですけども、これ、増額の理由は何ですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 点検の数の違いでございます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、昨年度と今年度と点検箇所っていうのは違ってくるんですか。どのように変わるんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 昨年度と点検箇所は変わってきます。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 だから、どういうふうに変わってるんですか。昨年がどうで、7年度はどこで、8年度は、どこなんですか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 答えられますか。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 令和８年度につきましては、二村台、新田町、三崎町、沓掛地内を予定しておりまして、7年度につきましては、新田の雨水幹線、高鴨雨水幹線ほか、唐竹汚水幹線等、7年度と8年度は、それぞれ調査する場所が変わっております。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 資料の1の14の管渠と築造工事費の一番上なんですけど、マンホ

ールポンプ制御盤というのが前後町地内なんです。これ、場所って、どこになるんですかね。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 前後町の仙人塚地内になります。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー 1 の13の先ほどの境川流域下水の負担金のところで、積算で636万立米ってあるんですけども、これ、予算書の 1 ページを見ると、実際の排水量が597万なんですけど、この差は何なんでしょうか。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） あくまで予算の積算と計画しているものと少し異なるというところは、流入量につきましては、皆様の生活実態等の影響によって変わってきます。不確実性がございますので、そのあたりを年間総排水量、予算のほうは見込んだ形で差額が出ておるという状況です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて議案第 9 号の質疑を終わります。

以上で各議案の質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、討論は一括して行っていただきます。

本会議でも当然討論ができ、重複することにもなりますので、できれば簡潔にお願いします。

なお、各会派の取りまとめも必要と思いますので、暫時休憩といたします。

午後 5 時 2 7 分休憩

午後 5 時 3 8 分再開

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

討論のある方は挙手願います。

青木委員。

○青木けんじ委員 会派、清和を代表して討論させていただきます。

議案第 2 号 令和 8 年度豊明市一般会計予算並びに議案第 3 号から 8 号までの特別会計

予算及び第9号 令和8年度豊明市下水道事業会計予算について、賛成とさせていただきます。

詳しくは、本会議場で会派の誰かが述べさせていただきます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

一色委員。

○一色美智子委員 議案第2号から9号、令和8年度豊明市一般会計、各特別会計、事業会計予算について、賛成といたします。

詳しくは、本会議場で討論をさせていただきます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 市民派、代表して私のほうから、議案第4号と議案第8号については、賛成、議案第2号 令和8年度豊明市一般会計予算について、これについては、基金の運用の悪さ、財政運営ができていない、市民に寄り添っていません。そういった目標、計画がやれていません。効果検証ができていないということで、反対です。

議案第3号 令和8年度豊明市国民健康保険特別会計予算について、子ども・子育て支援の徴収があります。また、保険料の値上げということで、反対です。

議案第5号 令和8年度豊明市墓園事業特別会計予算について、指定管理の効果が出ていません。その対策さえ、されていません。基金も減っています。以上で、反対です。

第6号 令和8年度豊明市介護保険特別会計の予算について、基金の積み過ぎ、サービスができていません。反対です。

議案第7号 令和8年度豊明市後期高齢者医療特別会計予算について、これも第3号と同様で、子ども・子育て徴収で値上げ、反対であります。

議案第9号 令和8年度豊明市下水道事業会計予算について、これも値上げをしております。また、減耗分が処理が全くできていない。相変わらず都市計画税を充てています。反対です。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 会派、未来クラブを代表して、議案第2号 令和8年度豊明市一般会計予算、議案3号から第8号の特別会計予算及び第9号の事業会計予算、全てに賛成をいたします。

詳しくは、本会議場で述べさせていただきます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 議案第2号から第9号、令和8年度豊明市一般会計、各特別会計、事業会計予算について、反対するところが見つからないので、賛成いたします。

詳しくは、本会議場で討論させていただきます。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 議案3号の国保、それから、議案6号の介護保険特別会計、それから、議案7号の後期高齢者医療特別会計と議案9号の下水道について、反対ですが、その他の予算については、賛成です。

詳細な討論は、本会議で行います。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 清水委員。

○清水義昭委員 議案第2号から第9号までの令和8年度予算について、全て賛成をします。

詳しいことは、本会議のほうで討論させていただく予定です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 議案第2号、一般会計、第3号、国保、第5号の墓園事業、第7号、後期高齢者医療、最後、9号の下水道事業会計については、反対、それ以外は賛成です。

本会議で詳しく討論します。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 続いて、月岡委員。

○月岡修一委員 議案第2号、令和8年度豊明市一般会計予算から議案第9号 令和8年度豊明市下水道事業会計予算について、全てにおいて賛成の立場でありますので、詳しくは、本会議場で討論させていただきます。

（誰がやるんだろうねの声あり）

○月岡修一委員 誰がやるんだろう。

以上です。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 三浦副委員長。

○予算特別副委員長（三浦桂司議員） 私も2号の一般会計、3号から8号までの特会と9号の下水道事業会計、市民生活を営むには欠かせない予算ですので、賛成いたします。

○予算特別委員長（毛受明宏議員） ほかに大丈夫ですか。

（進行の声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） これにて討論を終結し、採決に入ります。

採決については、議案番号順に行います。

初めに、議案第2号について採決を行います。

議案第2号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 賛成多数であります。よって、議案第2号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第3号について採決を行います。

議案第3号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 賛成多数であります。よって、議案第3号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第4号について採決を行います。

議案第4号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第4号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第5号について採決を行います。

議案第5号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 賛成多数であります。よって、議案第5号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第6号について採決を行います。

議案第6号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 賛成多数であります。よって、議案第6号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第7号について採決を行います。

議案第7号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○予算特別委員長（毛受明宏議員） 賛成多数であります。よって、議案第7号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第8号について採決を行います。

議案第8号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 御異議なしと認めます。よって、議案第8号は全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第9号について採決を行います。

議案第9号は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) 賛成多数であります。よって、議案第9号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書について私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○予算特別委員長(毛受明宏議員) ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出させていただきます。

長時間御苦勞さまでした。これにて予算特別委員会を閉会いたします。

午後5時47分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会

委員長